# 第 20 回アシテジ世界大会 / 2020 国際子どもと舞台芸術・未来フェスティバル 報告書



## 2020 国際子どもと舞台芸術・未来フェスティバル (第 20 回アシテジ世界大会 / 愛称:未来フェス) ビジョン 『誰一人取り残さない』社会の実現のために

主催

国際児童青少年舞台芸術協会(アシテジ)日本センター 一般社団法人 TYA Japan 〈日本児童青少年舞台芸術協会〉 NPO 法人 子どもと文化全国フォーラム

## <u>子ども、文化。 それが私たちの未来</u> All our Futures:Children and Culture

今ほど文化の力が必要とされる時代はない。

ひと、もの、情報の移動が地球規模で加速し、社会は急速に変化している。 デジタル技術の著しい進展は私たちの暮らしや生き方を変貌させ、バイオ技術や人工知能は「人間とは何か」という根本的な問いを投げかけるまでになった。

貧困や格差、移民や難民、環境破壊や気候変動などの問題が国境を越えて広がる 一方、世界は分断の時代に向かおうとしている。その影響を最も受けるのは子どもたち であり、私たちの未来だ。

日本では人口減少が始まり、世界のどの国も経験したことのない超高齢社会に突入 した。そのうねりはやがて欧米やアジア諸国にも及び、全世界が高齢社会に直面する 日は遠くない。若者の死因の多くが自殺だという深刻な現実も直視する必要がある。

私たちは未知なる未来とどのように向き合えば良いのか。子どもたちにどんな未来を 託せるのだろうか。その"未知なる未来"へと向けた旅は、これからも続くのだ。

2020年、オリンピック・パラリンピック競技大会の開催される東京、日本で、文化、とりわけ舞台芸術の力を頼りにそれを探求、実践するため、私たちは第 20 回アシテジ世界大会「ASSITEJ2020」と国際児童青少年舞台芸術フェスティバルを開催する。参加する 100 か国以上がそれぞれの立場から、子どもと文化を取り巻く環境の変化や課題を共有し、それを克服する確かなステップを共に踏む「旅の始まり」である。

もはや経済だけで豊かな社会を築くことができないことに誰もが気づいている。私たちは古来より芸術を通して人間の本質を見つめ、未来を描き、文化と知恵を蓄積、継承してきた。

子どもと文化の出会い。それは私たちの未来である。

## 2020 国際子どもと舞台芸術・未来フェスティバル

私たちは、アシテジ(ASSITEJ)参加世界 100 ヶ国以上のナショナルセンター、ネットワーク、個人会員とともに、下記の将来像(ビジョン)、使命(ミッション)、価値(ヴァリュー)、目標(ゴール)を掲げて、2020 国際子どもと舞台芸術・未来 フェスティバル(第20回アシテジ世界大会)を開催する。

### 将来像(ビジョン)

▶子どもや若者の文化的な生活や芸術への参加機会に格差がなく、差別や排除のない、「誰一人取り残さない」(SDGs より)社会を実現する。

### 使命(ミッション)

- ▶世界中のあらゆる文化的背景を持つ子どもや若者の「文化的な生活に参加する 権利」を擁護し、文化・芸術活動、レクリエーション、余暇活動の体験機会を 創出する。
- ▶子どもや若者が遊びや文化活動、とりわけ舞台芸術の経験を通じて、文化の 多様性に触れ、社会の規範や倫理を学ぶとともに、創造性や寛容性を培う。

### 価値(ヴァリュー)

- ▶舞台芸術を介して他者の尊厳を知り、自由な表現を尊重する。
- ▶「未知なる未来」に対する恐れと勇気を持って向き合い、未来へ向かうための対話 と創造への参加を提唱する。
- ▶子ども、若者、大人がともに過去の文化を守り、未来の文化を切り拓く。

### 目標(ゴール)

- ▶子どもや若者が、良質で多様な舞台芸術と出会い、鑑賞や創造に参加するための 開かれた機会を創出する。
- ▶あらゆる差別や排除をすることなく、すべての子どもや若者が舞台芸術と出会い、 鑑賞や創造に参加するための機会を生み出す人材を育成する。
- ▶子どもや若者のための舞台芸術表現に関わる機関、団体、個人のネットワークをより拡充し、関係を深化させる。
- ▶子どもや若者のための文化・芸術に関わる施策や事業の調査研究及び評価検証を 行い、持続可能な環境を整備する。
- ▶文化的な生活及び芸術に自由に参加する権利(国際連合「子どもの権利条約」第 31条)を中央政府や地方政府の法令や計画に反映させていく。

## 第 20 回アシテジ世界大会 / 2020 国際子どもと舞台芸術・未来フェスティバル 報告書

## 目次

2020 国	際子	ども	58	_舞	台	芸	術	•	未	来	フ	I.	ス	テ	イ.	バ	ル	Ľ	`シ	"∃	ン	,	•	•	•	•	•	•	1
はじめに	· •	•	•		•	•	•	٠	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	5
開催概要	· •	•	•		•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	7
アシテジ	世界	大	会を	を終	ミえ	2	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	9
オンライ	ン式	の	報台	<b>늘</b> •	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	18
対面式の	報告	į	•		•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	34
広報報告	· ·	•	•		•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	55
提携事業	• •	•	•		•	•	•	•	•	•	•	•	•		•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	59
ガイドブ	゙゙ック	掲	載 ·		•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	60
特別冊子	掲載	•	•		•	•		•	•	•		•	•		•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	97
アシテジ	世界	大	会 /	∕ <b>∄</b>	末	そフ	I	ス	の	レ	ガ	シ	_	Γ	Z	۳	も	あ	-	ح	Α	СT	ΓΙΟ	٩C	10	) <del>-</del>	引		135
<b>√=#</b>	,																												127

## はじめに

### アシテジ名誉会長 イヴェット・ハーディー

2017年、ケープタウンにおいて、第20回アシテジ世界大会を日本で開催することが決定した時、ここまでの道のりがこんなにも困難で、この重要なイベントを開催する世界が一変してしまうとは、誰も知る由もありませんでした。

アジアでは3回目、19年ぶりとなるアシテジ世界大会/未来フェスティバルの準備のため、アシテジ日本センターが信じられないほどの努力をしてくださいました。アシテジ世界理事会、アシテジ日本センター理事会、世界大会運営委員会は、非常に多くの事前準備をし、準備進度の確認のために様々な場所で話し合いを重ね、アシテジの会長でもある私が日本で参加したミーティングも含めて、大会パートナー、そしてサポーターである地方自治体の行政官や要人、アーティスティックリーダーなどにこのプロジェクトを提案しました。

大会前最後のアシテジ世界理事会ミーティングはイタリアで2020年3月を予定しており、最後のひと押しとなるはずでした。ただ、皆様がご存知の通り、新型コロナウイルス感染拡大によりイタリアが国境を封鎖したのです。アシテジ世界理事会ミーティングは、ドイツ・フランクフルトに変更され、その一週間でイベントを延期するという苦渋の決断を余儀なくされました。資金提供者の要請も重なり、当時の会計年度末までに資金を使う必要があったため、結果として可能な限り一番遅い日程である2021年3月まで延期をしました。この時点では、対面イベントは可能であり、また日本での第20回アシテジ世界大会・未来フェスティバルで皆様にお会いできると期待をし、そして信じていたのです。

しかしながら、実際は思うように事は進みませんでした。 2021年1月、大会のために日本へ入国できる外国人はおらず、また日本で上演できる海外の舞台はなく、日本国外からの参加は全てオンラインになることも明らかになりました。その一方で、日本での新型コロナ対策により動員数が少人数であれば公演は可能で、結果として、2カ月を経て「ハイブリッド型大会」(オンライン・対面)に作りかえまし た。これはアシテジの歴史では初めてですが、きっと最後ではないと信じています。

多方面からの素晴らしい努力と、アシテジ世界理事会ならびに事務局長、アシテジ日本センター、アシテジ南アフリカならびに主要なパートナー、南アフリカ・ナショナル・アーツ・フェスティバル、パフォーミング・ダイアログの密接なご協力のおかげで、制限はあるものの、全員が参加できるイベントとして成功させることができました。

オンラインで開催するこのようなアシテジイベントは初め てです。 アシテジ世界理事会が議会関連を担当し、アシテ ジ日本センター理事会が現場の運営と開会式や閉会式な ど、重要なイベントを担当しました。南アフリカ・ナショナ ル・アーツ・フェスティバルが専用ウェブサイトで上演・会話・ ワークショップが開催できるプロジェクトの技術的要件や オーダーメイドのウェブインフラを作りました。このウェブ サイトはイベントのためだけ作られたのではなく、アシテジ が今後もイベント開催やアーカイブされた資料の共有のた めに使える持続的・継続的な資料 (www.assitejonline. org) になるために作られました。イギリスのパフォーミン グ・ダイアログは、DX が確実にうまく運営ができるよう連 絡・マーケティング・コミュニケーションを含む出資者・出 席者の支援を提供しました。また、大会 / フェスティバル の SNS も活用し、出演者やアーティストとのポッドキャスト など、いつでもアクセスできる仲介ツールを作成しました。 アシテジ南アフリカが現地の財務管理と、いくつかのライ ブセッションの開催、スポンサーによる無料チケットの配 布システムの担当・支援をしていました。これで過去と比 べてより簡単にアシテジ世界大会に参加できるようになり、 世界中からの初めて参加する方々の声をうれしく思います。

11日間のオンラインイベント終了までに、イベントプラットフォームに75ヵ国から登録したユーザーが1,169名、そのうちオールアクセスパスポートを使ってプログラム全体に積極的に参加できた代表者が906名となりました。参加費を支払う余裕がある人が他者が使えるチケットを提供

する連帯基金で 144 名がこのプログラムに参加できました。85 ヵ国からの 1,393 名の代表者が参加した 2017 年の大会と同等の人数でした。なお、この数字には、日本の現地参加者の人数が含まれておりません。

しかも、異なる時間帯にリアルタイムで参加できるという、 実質的に 24 時間継続して行われたオンラインイベントとなり、最大 190 件のイベントへの参加が可能になりました。 参加者がセッションや上演を見られなかったとしても、フェスティバルが終わってから 10 日間まではアクセスは可能とし、イベントの参加しやすさを増やすために、ログインしている場所によって参加費を柔軟に変えられるようにもしました。また、いつでもいくつかの SNS プラットフォームでサポートにアクセスできるよう、ライブ・チャット様式の「ヘルプ」機能もありました。 多くのイベントは、同時通訳で英語・日本語・ロシア語・フランス語・スペイン語で提供されました。

ちなみに、この初めてのハイブリッド型の大会での一番 思い出に残こっていることは、フォーマル・カジュアル問わず、親密な交流ができるような様々な場があった事かも知れません。危機や隔離のあるこの時期において、お互いに顔を合わせてお会いするのを楽しみにしていた代表者の皆様が、舞台を観た経験を共有できる機会があり、閉会式では五つの大陸にまたがる自宅で皆が踊っていました。

今回の第20回アシテジ世界大会では、「アシテジ・マニフェスト」が公式に採用され、協会の今後の3年間の実施案にも組み込まれました。コロナ禍で生まれたこの重要な文章は、こういう時だからこそ出演者の皆様が子供や若者のための芸術を重視するという呼びかけをより拡大するためにも、世界中のさまざまな状況において昌道目的で使用されています。

これにより、共同制作者の皆様が誇りうる本当に重要なイベントとなりました。この短い時間で今回のイベントがハイブリッド型で開催できたのも、一重にほとんどがボラン

ティアである様々なパートナー様からの素晴らしい努力の 賜物です。そして、20 ヵ国・ロシアの 50 地域から提出された 452 件のプロジェクトのうち、第20回アシテジ世界大会が「デジタル: オフラインからオンラインへのイベント 最優秀部門: 文化オンライン国際賞」を受賞されたことは本当に嬉しいものでした。

アシテジ会長 (2011 年から 2021 年まで) として、アシ テジの歴史に残るとても重要な瞬間にそれも主宰として携 わることができたことを光栄に思います。今回のイベントは、私たちの組織にさらなる発展をもたらすだけでなく、大きな可能性を秘めています。

アシテジ日本センターがイベントを主催し、あらゆる困難を乗り越え、変革的かつ革新的な方法で子どもや若者の芸術を世界に広めるという目的を達成してくださったことに深く感謝致します。



## 開催概要

### 開催までの経緯

## 日本で初めて開催するアシテジ世界大会

2017年南アフリカ・ケープタウンで開催された第19回アシテジ世界大会 (CRADLE OF CREATIVITY) にて、第20回大会を日本で初めての開催することが正式に決定しました。東京オリンピック・パラリンピック開催年の、子どもの文化プログラムの一翼を担う事業として、国内の子どもに関わる様々な団体及び個人が結集した実行委員会体制の元、準備を進めておりました。

## 新型コロナウイルスの感染拡大により延期

当初は、オリパラ開催前の2020年5月、東京都内複数会場にて開催する予定でしたが、新型コロナウイルスの世界的なパンデミックにより、止むを得ず実施を延期することとなりました。

## アシテジ世界大会初のハイブリッド型での開催

その後も一向にウイルスは収束せず、開催が危ぶまれるほどでしたが、「必ず開催する」という強い思いから、アシテジインターナショナルと連携しながら開催の方法を模索し、2021年3月に対面式とオンライン式のハイブリッド型にて開催することを決定しました。

## 東京、長野2ヶ所で実施

対面式プログラムの実施について、当初予定していた都内の会場では、多数のプログラムを行うに充分な空きが無く、急遽追加の会場を探したところ、茅野市民館を中心とした、長野県茅野市・諏訪市の会場が受け入れを快諾してくださり、前半を東京、後半を長野で実施することでまとまりました。また、開催直前まで海外からの入国を準備・調整しましたが、それは叶わず、対面式プログラムは国内のみ実施ということになりました。

しかし、大変短い準備期間の中で、協議と試行錯誤を重ねた結果、第 20 回アシテジ世界大会/2020 国際子どもと舞台芸術・未来フェスティバルは、無事、成功裏に終えることができました。

## 1. 全日程

#### 1 対面式プログラム

令和3年3月20日(土)~31日(水)

東京会場: 3月20日~28日 ※豊島区、足立区ほか

長野会場: 3月25日~31日 ※茅野市・諏訪市・下諏訪町

### 2 オンライン式プログラム

令和3年3月22日(月)~3月31日(水) ※令和3年4月11日まで閲覧可能

## 2. 対面式プログラム実施会場と日程

地域/ 開催日程	会場名
東京都北区・新宿区 20 日~28 日	王子小劇場 (北区)、R's アートコート (新宿区)
東京都豊島区 22日~28日	としま区民センター、シアターグリーン
東京都足立区 22日~28日	ギャラクシティ西新井文化ホール
長野県茅野市 25日~31日	茅野市民館
長野県下諏訪町・諏訪市 25日~31日	下諏訪総合文化センター、諏訪市文化センター

## 3. 事業実績

プログラム参加人数(延べ)

①対面式プログラム: 合計 5,223 名

東京都 2,116 名 (内豊島区 1,461 名、足立区ほか 655 名)、長野県 3,107 名

- ②オンライン式プログラム:合計 1,259 名 (アクセスパスの発行数)
- ③豊島区独自プログラム:合計 598 名
- ・オンライン上映招待 138名
- ・子どもスキップ上映会 460名

【合計】7,080名

### 4. 運営

- 主 催:第20回アシテジ世界大会・東京実行委員会
- 後 援:文部科学省/厚生労働省/外務省/東京都教育委員会/朝日新聞社/長野県/長野県教育委員会/茅野市/諏訪市/ 岡谷市/富士見町/下諏訪町/原村/茅野市教育委員会/諏訪市教育委員会/岡谷市教育委員会/富士見町教育委員会/ 下諏訪町教育委員会/原村教育委員会
- 協 賛: 豊島区
- 特別協力:足立区
- 広告協賛:パナソニック株式会社
- 助 成: 令和2年度日本博主催・共催型プロジェクト/
  - 文化庁文化芸術振興費補助金(国際芸術交流支援事業)独立行政法人日本芸術文化振興会/ 芸術文化振興基金助成事業/公益財団法人東京都歴史文化財団アーツカウンシル東京/公益社団法人セゾン文化財団
- 提 携:茅野市民館指定管理者株式会社地域文化創造
- 協 力: 長野サポートチーム

### <実行委員会構成団体>

- (一社) アシテジ日本センター/(一社) TYAJapan / (公社) 日本児童青少年演劇協会/日本児童・青少年演劇劇団協同組合/
- (NPO) 日本青少年音楽芸能協会/(一社)全国専門人形劇団協議会/全国児童·青少年演劇協議会/
- (NPO) 子どもと文化全国フォーラム
- ※発足以降、参加の実行委員会
- 子どもと舞台芸術大博覧会実行委委員会/(公社)日本芸能実演家団体協議会/(公社)日本劇団協議会/(公社)落語芸術協会/
- (一社)現代舞踊協会/(公社)日本オーケストラ連盟/(公社)能楽協会/(公社)日本舞踊協会/(公社)日本三曲協会/
- (一社) 長唄協会/(一社) 日本演劇教育連盟/(NPO) 国際人形劇連盟日本センター/株式会社地域文化創造(2020/12/7 現在)

**<長野サポートチーム>** NPO 法人すわ子ども文化ステーション/ NPO 法人サポート C / 長野県子ども劇場おやこ劇場協議会/ 北信越子ども劇場おやこ劇場連絡会

【担当事務局】 第20回アシテジ世界大会・東京実行委員会事務局

## アシテジ世界大会を終えて

# 2020アシテジ世界大会 「次代につながる新しい一歩を踏み出そう」

### 第20回アシテジ世界大会・東京大会実行委員会 実行委員長 森田 勝也

前(一社)国際児童青少年舞台芸術協会(アシテジ)日本センター理事長

コロナ禍の中どうなることかと不安ななかであったが、何とか12日間の日程をこなし、それなりの体裁を整え、無事に終えることができたのは何よりと関係者一同胸をなでおろしていることと思う。これもひとえに芸術監督の下山久氏と事務局長の森本真也子氏、そしてそれを支えた事務局のメンバーの力であることは間違いないし、その長丁場のご苦労を想うと感謝の気持ちでいっぱいである。勿論、その裏には劇団関係者の皆さんをはじめ、多くの方々の支援と協力があったことも忘れてはならないことと思っている。

特にコロナウイルス感染症による世界大会の延期によって、それまでの準備がほぼ無になり、ゼロからの出発になったことは事務レベルも含めて大変な作業であった。メイン会場も池袋と長野と二会場に分けざるを得なくなり、さらに開催ギリギリになって、海外からの来日は無理となった

ために、オンラインへの公演と切り替えざるを得なくなった。その経験も乏しく、それこそ手探り状態での準備となった。そんな二重三重の苦難の壁を乗り越えて何とか閉会式までたどり着けたのは今にして思えば奇跡に近いものだったと思う。

この取り組みを通して、コロナ禍の所為ばかりではく、子どもたちを取り巻く多くの文化芸術環境の現実の課題が見えてきたことも確かだ。次世代に何が残り、残すべきものは何なのかを再度考えなおし、行動していくことが重要であり、ここからまた新しい一歩が始まるのだと思う。世界大会の取り組みを通して、多くの子どもたちが演劇に触れ、演劇活動ができる豊かな文化環境を創っていくことが私たち大人の責任であり役割であることを再確認しあえたことが、今回の取り組みを通しての何よりの成果だったと思っている。



## 世界の仲間たちとともに

## 第20回アシテジ世界大会・東京大会実行委員会 総合プロデューサー・芸術監督 下山 久

アシテジ日本センター理事

2002年、アジアではじめてのアシテジ世界大会が韓国、ソウル市で開催された。

それから 18 年、アジアで2回目、日本ではじめてのアシ テジ世界大会が 2020 年オリンピック・パラリンピックの 開催される東京で、子どもの権利条約を遂行すべく、国際 的な祭典として 5 月に準備された。

五大陸から選ばれた18名のアドバイザーたちの協力で選定した30の招待作品(海外25、国内5)、世界中から集まった100の自主参加作品(海外40、国内60)による国際舞台芸術フェスティバル、100ヵ国以上の代表が参加する国際会議、異文化交流カンファレス、海外からは約3,000人の児童青少年舞台芸術関係者のつどいが予定された。開催は東京にとどまらず、公立文化施設や地域のみなさんの協力を得て全国での公演を企画した。それを支える1,000のプラットホーム等日本各地で準備を進めていたが2020年、世界中を襲った新型コロナウイルス感染症により海外劇団や海外参加者は一人も入国できなかった。世界中の児童青少年演劇に関わる仲間たちと何度もオンラインで会議を行い、10カ月遅れて2021年3月に東京と長野で対面式とオンラインのハイブリッドでの開催となった。

世界的な新型コロナウイルスの蔓延による、パンデミックの影響を子どもたちは大きく受けている。子どもたちの想像力や創造力、豊かな心、生きる力は他者との出会いやコミュニケーションから生まれる。

新型コロナウイルスは子どもたちから大切な出会いを奪い、友達とのソーシャルディスタンスが要求され、外出が規制される。常にマスク着用を求められ、次第に会話も減り外の世界との分断、閉塞感や孤独感は多くのストレスをもたらしている。

我が国に於いては、青少年の死亡原因の第一位が自殺である。2020年はコロナ禍で青少年の自殺者は前年比25%増と過去最高を記録した。

2019年に決議した第20回アシテジ世界大会日本開催のミッションは、以下である。

【貧困や格差、移民や難民、環境破壊や気候変動などの問題が国境を越えて広がる一方、世界は分断の時代に向か

おうとしている。その影響をもっとも受けるのは、子どもたちであり私たちの未来だ。私たちは未知なる未来とどのように向き合えばよいのか、子どもたちにどんな未来を託せるのだろうか。(中略)もはや経済だけで豊かな社会を築けないことに誰もが気づいている。私たちは古来より芸術をとおして、人間の本質を見つめ、未来を描き、文化と知恵を蓄積、継承してきた。子どもと文化の出会い。それは、私たちの未来である。】

コロナ禍でますます格差や分断が広がっている。アシテジ世界大会日本開催のミッションをアシテジマニフェストとともに児童青少年のための舞台芸術に関わる世界の多くの人たちと共有し、未来にむけて歩を進めたい。

じっとしてはいられない世界の仲間たちとともに、子どもたちのために、大人たちのために、舞台芸術をとおして「生きる力」を育んでいきたい。



## コロナ禍の長い長いトンネルは続いている

### 国内招待作品/ロバの音楽座代表 松本 雅隆

「(前略) 私たちは、本来この大会の主役であるべき子どもたち、若い世代が、文化的な楽しみを奪われ、人とのつながりを絶たれ、静かに耐えている状況を憂いています。このようなときにこそ、社会に、子どもたちに、文化芸術の力が必要です。(後略)」(2020年3月)第20回アシテジ世界大会を延期するにあたりアシテジインターナショナル会長イベットハーディーさんからのコメント。ちょうど同じくして2021年の夏に延期になったオリンピックとは違って、この集まりにはお金の匂いや、権力の匂いが全くしない子どもたちの未来を思う文化の柔らかい香りがした。

僕たちはこのコメントに大きな勇気を得た。

コロナにより芸術文化活動は計り知れないダメージを受け、公演活動は止まってしまった。しかし音楽への衝動は止めることが出来ず、この風向きを逆手に取り、創造的な時間に活用する良きチャンスと捉えた。

経済的な危機感はひとまずどこかに置いて。

メンバーは毎日毎日集まり、リモートも自宅自粛もせず 稽古を重ねた。結成当時の未熟な時代を振り返り、今の自 分たちが失ったエネルギッシュに挑む時代のことを思い出 した。それから中学時代の音楽クラブさながら、何度も何 度もダメ出しを重ね、改めて慣れているはずの楽曲の理想 のハーモニーを追い求めた。まだ足を踏み入れていない古 楽器のヒミツも深く深く探った。

イベット ハーディーさんのコメントから一年が過ぎ、2021年3月20日より舞台芸術・未来フェスティバルは開催された。ロバの音楽座は招待作品として「楽器の国へようこそ」の上演を果たした。今回は世界のアーティストとの交流は残念ながら叶わず、海外の招待作品はすべて配信となった。パンデミックの最中、世界の演劇人や音楽仲間達は互いを気遣い、激励し合い、これほどまでに世界を感じられたことは無かった。この複雑な状況下で始まった舞台芸術・未来フェスティバルは小規模となったが、子どもたちに沢山の笑顔を届けられたに違いない。これらのことは100年後の後生に語り継がれる誇り高き出来事だと信じている。

未だコロナ禍の長い長いトンネルは続いている。あらゆるアーティストはマスクの息苦しさをも楽しみ、不自由な長い長いトンネルの中から聴こえてくる地球の音に耳をすます。それら一つ一つの音に心ときめかせ、表現感覚を研ぎ澄まし、新しい時代 (ルネサンス) のステージを指差し、子どもたちのために奮闘する。



©2021 ROBA Music Theatre

## 日本をビデオで旅する

## 海外招待作品/Spectabilis Cie サミュエル・ダボビル

この美しいイベントに参加し、日本を「ビデオで」旅することができてとても嬉しかったです。 実際に対面での発表ができなかったこと、とても残念でした。

多くのフランス人のように、私たちチームの何人かが日本の「ファン」です。

しかし、これらの国際交流の複雑な状況下で、作品の普及と一般の人々との交流を維持す ることができたこととても感謝です。

「つみきのいえ」はもともと日本の作品であることが私たちにとってさらに重要でした。 幸いなことに、観客からの質問と作品について温かいフィードバックは素晴らしく、残りの ツアーに多くのエネルギーを与えてくれました。この作品に対する私たちのビジョンと認識を 共有できたこと、大変充実しています。

ライブパフォーマンスには、距離や境界線をなくし、貴重な体験を共有する素晴らしい能 力があります。そして、児童演劇には、大人も子ども、全員を喜ばせる力があります。ですので、 この美しいイベントを主催してくれたすべての関係者に感謝します。近いうちに日本でお会い できたらと願っています。そして、すべての日本人の観客にフランスから感謝を送ります。



## コロナ禍のアシテジオンライン世界大会で鑑賞して

### 第20回アシテジ世界大会・東京大会実行委員会 スーパーバイザー 酒井 誠

2017年5月に南アフリカのケープタウンで開催された「ASSITEJ世界大会」に初めて参加した時、世界中から集まった優れた作品鑑賞と民主的な会議に参加しその規模の大きさと南ア政府の国を上げてのあらゆる面での助成に驚きました。世界中から招かれた20作品を鑑賞できましたが、一本一本の作品の力強さとその魅力に感じ入りました。最終日の閉会式で「次回開催は東京へ」と宣言され、まるで自分の事のように感動を覚えたのを記憶しています。

2020年東京オリンピックの前哨戦の5月開催予定の「第20回 ASSITEJ世界大会・2020国際子ども舞台芸術未来フェスティバル」はコロナ禍で一時は中止の噂も流れました。が、しかし関係者の努力で2021年3月に延期され東京と長野でオンライン開催されました。開催に際しての大きな問題点は、海外からの参加作品がコロナ禍で出入国不可能でオンライン開催を交渉し、国から助成金を予定通りに確保する年度内(2020年4月~2021年3月)開催をしなければならないと聞いていましたが、海外25作品、日本作品5作品を招待作品として選定され、自主参加100作品が上演されました。

私は 2006 年度から各種助成金の審査等を、2011 年度から 2017 年度まで日本芸術文化振興会の演劇 PD として担当し、年間 250 ~ 300 本ほどの演劇を鑑賞して来ていましたが、舞台芸術に映像を使うということに違和感を持っていましたし、最近多くなった映像の入った作品に批判的な考えを持っていました。2020 年 4 月頃からコロナ禍で公演が中止、延期になり多くの劇団が活動を中止、延期せざるを得なくなり、オンライン演劇が行われるようになりました。そのような状況にもかわらず映像観劇は拒否していました。

それが「ASSITEJ東京世界大会」でオンライン映像を鑑賞する事になり、初めて鑑賞してごく自然に鑑賞を楽しむことができて、私の先入観はどこかへ消えてしまいました。

特に気になったのはノンバーバル作品のイタリア:コンパー ニア・ロディージオの「ピッコリ」です。丸い舞台に風が吹 き、二人の男女が現れマキを運ぶ、何回も運ぶ。マキに火 を焚くと煌々たる光が舞台に。二人は踊る。雪がふる。二 人は踊る。一イタリアの童話から取り上げた作品で、森が 舞台でどこかにたどりつく旅の話でした。終演後のオンラ イントークで語る二人のディレクター兼役者の男女が「イタ リアでは劇場は閉鎖され、学校は休校し、舞台人の活動の 場は全くない」との言葉に驚きと同情を持ちました。また、 ブラジル:ゴンパ・プロジェクトの「赤ずきんちゃん」は四 角いパイプが家になったりテーブルになったりして、美しい 照明の中で語部が一人語りで、お母さんと赤ずきんちゃん、 そしてオオカミとお婆さんが豊かな動きで表現して観客の 想像力を促します。赤ずきんちゃんが、おばあさんをオオ カミに紹介し、オオカミはおばあさんを食べてしまい、最 後に赤ずきんちゃんも食べてしまうという恐ろしい児童劇 でした。オンライントークで「ブラジルでは外へ出ると危険 が多く、子どもたちに劇場で怖さ恐れを体験される目的で 創った芝居です」と回答があり、これは臨場感がありまし た。他にも鑑賞しましたが、世界の児童演劇のセリフの無 いノンバーバル演劇はその表現力によって観客とのコミュ ニケーションが成立すると実感しましたし、創る側が理念 を持ちそれをミッションする姿勢が見られ観客に媚びない 作品創造を常に心がけていることを強く感じました。キリ スト教文化圏のなせることでしょう。以上のようにオンライ ン演劇でも素晴らしい作品に出合い我国の児童青少年演 劇へも多くの影響を与えたと思います。また、創造団体も オンライン上演を行いながら公演活動を続けている現状か ら本来の生の舞台上演が少しずつ可能になりましたが、世 界がコロナ禍から脱皮し普通の生活に戻ることを切に願っ ています。

## 新しいプラットフォーム、始めてますか?!

### 東京藝術大学国際芸術創造研究科 熊倉 純子

「アシテジ世界大会」の開催おめでとうございます! そして「こどもあーと ACTION」のスタート、素晴らしいです。 ところで、ネットワークにご参加のみなさん、新しいプラットフォーム始めてますか?

子どもと文化全国フォーラム関係で何度かお招きいただき、「プラットフォーム」を力説させていただいた熊倉です。 みなさんの新たな門出を祝して、またまたプラットフォームのお話を、ほんの一言させてください。

アートは、劇場や美術館で静かに鑑賞しても素晴らしいものです。でも、アートには対話を引き出し、不思議なコミュニケーションの磁場になる力もあるのです。まずは、ごくごく小さな場面を想像しましょう。アートを前にして、大人は「なにこれ」と心の中でつぶやくかもしれませんが、子どもは「なになに、これ〜」としばしば声に出して言ってくれます。子どもの想像力を邪魔しないように「なんだろうね?」とあえて大人の答えを言わない親御さんもいるでしょう。そうすると、どんどん言葉が広がっていくかもしれません。この屈託のない「なになに、これ〜」が対話の第一歩、種になります。そう、プラットフォームは沈黙の場ではなく、声に出して対話をする場所なのです。

次に、もう少し場面を広げて想像してみましょう。子どもたちの「なになに~」をきっかけとした夢が膨らむ会話が咲き乱れる場を、地域のいろいろな大人たちとの対話を通じて作ってみませんか?子どもの笑顔や真剣なまなざしは、すべての大人の心を開きます。なぞなぞのようなアートの「これはなんだろう?」という疑問は、子どもたちに手を引いてもらえば、頭の固い大人たちをも普段使わない想像力を駆使する謎解きの時間に導くことができるかもしれません。「アート×子どもたち」を契機として、人びとを結び、かきまぜる力が生まれてくる――この、「まぜまぜ」が生まれてくれば、地域のプラットフォームの誕生です。親御さん仲間だけでなく、またアート好きの仲間だけでなく、行政、商店、まちの大学生たち、お年寄り、いろいろな人をまぜまぜしましょう。

最後に、もっと視野を広げて、遠くの仲間たちとのネットワークの重要性について考えましょう。みなさんすでにご存じのように、ボランティアベースの活動において人びとの関係はとてもデリケートです。さらに対話の場であるプラットフォームには、さまざまな人が乗っかってきます。内部のメンバーも外部の協力者(?)も、それぞれ好き勝手なことを言います。関係が停滞すると水が濁るので、面倒くさくてもいつもかきまぜ続けなければなりません。とても神経を使います。「ああ、もう面倒くさい! なんで私がこんなことやってなきゃならいのかしら。みんな勝手なことばかり言うだけ言って…」。そんな時、助けになるのが遠くの仲間たちとのネットワークです。

プログラムの手法やターゲットの違い、協力者の構成、 行政との関係など、同業他者の活動を知ることは大きな刺 激になります。できれば、ここでも対話の場を設けて、ま ずは愚痴の言い合いも大事です。まぜまぜの苦労を分かち あえば、明日に向けて元気が出ます。

さらに、互いにもう少し突っ込んだ話し合いをしたり、 資金源や予算、ターゲットやボランティアの構成など、データを交換しつつ互いを鏡とする評価、ピアレビュー(同業 他者による評価手法)もお勧めです。

こうしてまぜまぜの輪が広がっていけば、私たちひとりひとりの力は小さくとも、ちょっとずつ未来を変えていけることができるのではないか。私はそう信じています。



## アシテジ世界大会はどういう意味を持ったか

### 東京大学名誉教授 汐見 稔幸

私は長く、人をどう育てたらいいのかということで教育学を勉強してきたのですが、今は大変興味深い時代を迎えていると思っています。世界中の国々が、学校だけじゃなくて家庭や社会での教育を、20世紀バージョンから21世紀バージョンに大きく変えようという努力を必死になってやっています。

21 世紀の中ごろには日本あるいは地球を中心になって担う子どもたちを私たちは今育てているわけですが、その21 世紀中ごろの社会というのは一体どんな社会なのか。

一つは地球規模の環境問題にも現れているように、答えのない問題だらけの社会だということです。それを解決する力は次の世代だとしたら、次の世代は私たちより賢い人間ではなくてはならないわけです。つまり今私たち問題を大きくした世代が、より賢い人間をどう育てていくのかということを、必死になって考えていかなければならない時代なのです。

もう一つは、人工知能の社会です。考えることができる コンピューターを、あらゆるところに組み込んでいく社会で す。何でも機械があればやるような時代になれば、人間が 生きていてよかったと思えるようになるためには、逆に人 間は手作りでいろんなことができるということを、喜びと するように育てていかなければいけません。そのためにも、 小さい時から子どもたちに色んなものを自分たちで工夫し て作っていく、それを上手に人に分かるように表現していく。 そういうことができる人間をどう育てるかいうことになって いくわけです。そういう教育にまた切り替えていかなけれ ばいけません。

私たちは、問題だらけの社会、人工知能がすべての世界に組み込まれたような社会のなかで、人間の生きがいとは何かを考えていかなければいけません。

そこで私は3つのことを提案します。人間はいくら社会が変わり、文化が変わったとしてもずっと大事と言われてきたものは変わりません。

それはまず、人と人の関係を温かく豊かに作るというこ とです。

人と人の関係を温かく、豊かに作っていくということが、 これからの社会では最も大事なことの一つになるというこ とです。多様な価値観が共存する社会になった今、想像力と共感能力をあわせ持った能力=エンパシーをどう育てていくのか。そのためには演劇教育というのがものすごく大事になってくると私は思っています。そして感じたことを相手に伝わるようにどう表現したらいいのかという表現能力。小さい時から色々工夫しながら通じたということを喜びあっていくような、そういう教育に切り替えていかなければいけません。だからそういう意味でも今、多様性、表現、文化、エンパシーといった言葉がキーワードになっていきます。

二つ目は、手作りの世界を豊かにしてきたということです。

文化というのはカルチャーと言いますが、もともとの意味は土を耕す事っていう意味です。土を耕すことがなぜ私たちが使っている文化の意味になるのか。それは何のために土を耕すのかということ、それは価値ある実りを実現するためです。人間の社会を進めてきたのは、実はそのカルチャーの豊かさなのです。子どもたちにもういちど手作りの世界の豊かさというものを多様な形で体験させてあげることが大切になるのです。

三つ目は、一生懸命考えたら何とかなるということです。 学校での学びも、個別化と協働化が大事になってきます。 学びを子どもにもっと委ねていき、そして分かったことをみ んなで議論し合いながら協働していくという新しいタイプ の学校を作りたいという人たちが全国にたくさん生まれて きています。

これからは教育が大きく変わって感性が大事になる。演劇や音楽などそういった分野が大事になってくるし、皆さんが今やっておられるようなことが、学校のカリキュラムの中でできるようなそういう学校を作ることがこれから可能になっていくということを確信持っていただきたい。それが時代の流れなのです。

今回日本で開催されたアシテジ世界大会が、そうした新 しい公教育作りの大事なきっかけになることを私は願って います。そして、これからの皆さんの活躍に期待いたします。

## 前を向く 振り返る そのための言葉

### ニッセイ基礎研究所 芸術文化プロジェクト室 主任研究員 大澤 寅雄

私は文化政策やアートマネジメントの研究者として、第20回アシテジ世界大会のビジョンの策定に協力させていただきました。主催者の執行部のみなさんと意見を交換しながら、「子ども、文化。それが私たちの未来」と題した文章や、アシテジ世界大会が目指す将来像、使命、価値、目標について、言葉にする作業をお手伝いしました。

文化政策の研究という仕事では、日頃から、法律、条例、計画などの文章に触れています。その一方で、私は自分が住むまちの文化の実践者の一人でもあり、様々な表現の創作や表現や制作をする友人も数多くいて、表現の現場も身近にあります。ですから「政策」と「現場」では使う言葉の種類が同じではないことも、よくわかります。現場から見ると、政策で使われる言葉は、何だか頭でっかちのような、高い所から見下ろされているような印象を持つかもしれないなあと思うこともしばしばあります。

ところで、「特別冊子 アシテジ世界大会/未来フェスを語る」には、第20回のアシテジのビジョンだけでなく、1985年の「佐渡宣言」が掲載されていました。「21世紀をまぢかに控えて佐渡ヶ島で考えたこと」と題したこの宣言では、当時の子どもたちに、何を伝え、どのような将来を創るのか、その決意が書かれています。同時に、佐渡ヶ島で開催された「第1回全日本子どものための舞台芸術大祭典」に参加された皆さんの熱気が伝わります。この佐渡宣言を振り返り、36年前の決意や熱気を原動力にした活動は、今もなお続いています。しかし現在の社会に目を向けると、子どもたちを取り巻く環境は、より一層、深刻さを増していると言えるでしょう。

もちろん子どもたちに舞台芸術を届けている表現の現場では、こうしたビジョンや宣言について常に考えているわけではなく、日々、子どもたちと向き合い、子どもたちのための芝居を作ったり、そのための稽古や準備をしたりしています。なぜその仕事を、その生き方を選択したのかと聞けば、おそらく多くの人は、「子どもの笑顔が見たい、輝く瞳が見たい」と答えるのではないでしょうか。目の前の子どもの表情が笑顔になるために、瞳が輝くために、自らの人生を投じて生きてきた方も少なくないでしょう。

私は、そうした現場の思いと政策の言葉をつなげたいと

思っています。例えば、私たちが見たい「子どもの笑顔や輝く瞳」にしても、普段は表情が乏しく、瞳に陰りがあるとしたら、その背景にどんな悩みや苦しみがあり、その要因は何なのか。子どもから失われた笑顔や瞳の輝きを取り戻すために、その瞳に映る未来の希望がどういう姿なのか。それを「私たちの言葉」にする作業が、現場と政策をつなげるはずだと信じています。

言葉にする作業は、自分や自分たちの姿を鏡に映すようなもので、普段から考えていることも、あるいは、ただぼんやりと思っていたことも、他者に伝え、他者と共有し、仲間を増やしていくために言葉を編みます。この言葉に嘘はないだろうか。この言葉で届くだろうか。自問し、自答し、議論し、対話して、自分や自分たちの姿が見えてきます。そうすることで、この先を歩くために前を向き、通ってきた道を確かめるために振り返るのです。

これからも、言葉にする作業は続きます。前を向き、振り返るために。



## アシテジ世界大会の意味

### 第20回アシテジ世界大会・東京大会実行委員会 事務局長 森本 真也子

NPO 法人子どもと文化全国フォーラム理事長

NPO 法人子どもと文化全国フォーラムでは、2018年 11月、「子どもの文化は 2020 年から~文化芸術の可能性 とは~」と題した講演会とパネルディスカッションを開催し ました。それは、2020年東京オリンピック・パラリンピッ クの文化プログラムを実施し、子どもたちが文化活動にふ れる機会を広げるための「子どもの文化のレガシー」をつ くれないかと考えていたからです。ニッセイ基礎研究所芸 術文化プロジェクト室長の吉本光宏さんから聞いたロンド ンの文化プログラムは実に魅力的でした。日本全国で、人々 の生活している地域から様々な文化が発信され、街に文化 の風が起こり、笑顔が広がる後継が目に浮かぶようでした。 また、吉本さんの提案する市民参加プロジェクト「鳴り響 け 1000 万台のピアノ」 「日本縦断 BON DANCE」など、 自分たちの町や自分たちの地域の未来のためにやると考え る文化プログラムは、子どもの生活圏で活動してきた私た ちの手の届く活動かもしれないとワクワクしたのを覚えて います。

こうした背景をうけて、アシテジ世界大会の実行委員会に参加することを決めました。事業のミッションを明らかにするために、文化や子どもに関する専門の実践家や研究者などのお話しを聞き、今日本の子どもたちに必要なことは何で、この事業をなぜやるのか、どういうビジョンを描き向かっていくのかを言語化することから始めました。世界の子どもや文化の状況を知ることも含め、2ヶ月近くかけて「子ども文化それが私たちの未来」と題するミッションステートメントを作ったことは、その後の事業展開をぶれずに進めた大切なポイントだったと思っています。

日本の子どもたちの貧困からくる文化体験の格差、誰一人取り残さない社会の実現を目指すことを真ん中に据えてやるべきことを考えようと、日本の子ども文化環境の歴史を学び、実態を知り、何をしていけばいいのかを考えるという時間を積み重ねて行きました。小さな地域の小さな活動から事を起こし発信していく事が、小学校区にひとつでもあれば、子どもたちの環境はすこしでも良くなるのでは・・・。そう考えたのが「1000のプラットフォーム」の構想でした。

コロナウイルスの感染拡大による開催の延期、そして最終的には海外のカンパニーの参加は一つも出来ずに終わった大会となったことで、大きなうねりにすることは出来ませんでした。けれども、子どもとアートを考えるプラットフォームを広げる第1歩として「こどもあーと ACTION」が動き出せたことはレガシーの一つではないかと自負しています。

コロナ禍の子どもたちの生活は、とても息苦しく心も体も大きく傷ついています。その子どもたちの変化をしっかりと受け止めることが何より重要です。10代の死因のトップが自殺という世界の人たちに驚愕される現実、コロナ禍で更に増加したこの事実を、もっと真摯に受け止めたいと思うのです。

すべての子どもたちが文化活動にアクセスでき、自己発見・他者理解を通し自立した市民として育つ社会に向けて、自分にできる一歩から始めましょう。子どもの顔が見える地域のプラットフォームから発信しましょう。誰一人取り残さない社会を目指して!



## オンライン式の報告

ダイアローグ報告書

## 「第 20 回 ASSITEJ 世界大会 国際子どもと舞台芸術・未来フェスティバル」 オンラインイベントに関する統計的概要



作成: クリス・ブロワ=ブルック (共同プロデューサー)、パフォーミング・ダイアローグ



## 目次

広報用サマリー・	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	19
イントロダクショ	ン	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	20
イベントの数・・	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	22
代表者の数・・・	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	24
ユーザーの国別権	成	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	26
ストリーミング/	´チ!	ァ	ッ	<b> </b>	売	IJ.	上	げ	•	•	•	•	•	27

### ダイアローグ報告書

## 広報用サマリー

「第 20 回 ASSITEJ 世界大会国際子どもと舞台芸術・未来 フェスティバル」は、ASSITEJ のイベントとして初めてオン ラインで開催されました。

11日間の会期中、イベントのプラットフォームを利用した登録ユニークユーザー数は 1169人で、このうち、906人の代表者が完全アクセス・パスを使用してさまざまなイベントに積極的に参加しました。オーストラリア、アルゼンチン、カナダ、中国、メキシコ、モンゴル、ナイジェリア、ノルウェー、南アフリカ、スウェーデンなどを含む 75 カ国のユーザーからアクセスがあり、数多くの参加者をオンライン・イベントに迎えることができました。

イベントの総数は 190 件で、このうち「オンデマンド公演」が 31 件、「専門家交流プログラム」が 151 件、総会ミーティングが 5 件、式典が 3 件でした。110 件のセッションが ZOOM を介して開催され、その所要時間の合計は 9 日

間 15 時間 5 分におよびました。また、このうち大半は、開催後も録画を閲覧することができました。主催者の ZOOM アカウントには、11 日間の会期中1万 1,000 回以上のログインがありました (ZOOM 関連のこれらのデータには、パートナー主催によるフリンジ公演の数値は含まれていません)。これに加えて、89 件、41 時間 30 分の録画済み動画が代表者と観客に公開されました。

代表者や観客たちは、ステイホーム中の時間を利用してこのようなコンテンツを楽しんだようで、録画済みの動画だけでも、代表者たちによる閲覧時間の合計は 96.5 日を超えました。さらに、動画だけではなく、合計 8 時間 10 分のオリジナルコンテンツを提供するポッドキャストも配信されました。

### イントロダクション

本報告書は、イベント全体の概観を理解することを目的に作成されており、イベントの概要を示す数値のみ記載されている。 したがってここには、プログラム、売上報告、動画ストリーミング・プラットフォーム等から得られた、以下のような簡単なデータのみを掲載している。

- イベントの数
- ●代表者の数
- 国別のデータ
- ●ストリーミング
- チケット売り上げ

ここに掲載されたデータに関する詳細な検証や相互参照は実施されておらず、データは加工されていない状態で提示している。

本報告書は、以下のデータは含まない。 したがって、イベントへの参加状況をユーザーグループ (特に各国の ASSITEJ センター) 別に検証し将来的なデジタル戦略に反映するという目的にはそぐわない。

- フェイスブックの広告データ (フェイスブック広告からチケット購入へのコンバージョン率を示すデータ)
- Google AdWords のデータ (Google の広告からチケット購入へのコンバージョン率を示すデータ)
- Google アナリティクスのデータ (Assitejonline.org ウェブサイトのトラフィック。デバイスのタイプや地理的データ、日付時刻データを含む)
- Mailchimp のデータ (メーリングリストのユーザーが、マーケティングとニュースレターにどのように反応したかを検証するデータ)
- コントリビューター調査のデータ (ユーザー体験を検証するデータ)
- 参加者調査のデータ (ユーザー体験を検証するデータ)
- ZOOM に関するより詳細なデータ (ライブでのイベント・セッションの利用状況を検証するデータ)
- 動画ストリーミング・プラットフォーム 「Cloudflare」 に関するより詳細なデータ (録画コンテンツをユーザーがどのように 活用したか検証するデータ)
- チケット販売プラットフォーム 「WooCommerce」 に関するより詳細なデータ (購入者の属性、時間、購入プロセスなどを 検証するデータ)

以上のようなデータ比較を行うことで、将来的な戦略に生かすための知見が得られると考えられる。そのために検証すべき事項の例として、以下が挙げられる。

- オンライン広告キャンペーンにおいて効果があったのはどの要素か?
  オンライン広告では、主に4つの説明戦略が用いられた。そのうちもっとも効果があったのはどの戦略か? キーワードの効果を対象ユーザーの属性グループ別に見た場合、効果がもっとも大きかったキーワードと小さかったキーワードは何か?属性グループ別に見た場合、オンライン広告へのエンゲージメントは広告タイプによってどのような違いがあったか?
- 大会参加者のうち、TYA 関係者でない一般の人の数は? その人たちは、大会に関する情報をどのようにして得たか? 実際に参加したのはどのセッションか?
- ウェブサイトにアクセスはしたが、チケットを購入しなかったのはどのような層の人たちか? その理由は? 価格、インターネットへのアクセス、あるは別の理由か?
- ●年齢、性別、人種別のユーザー内訳は?

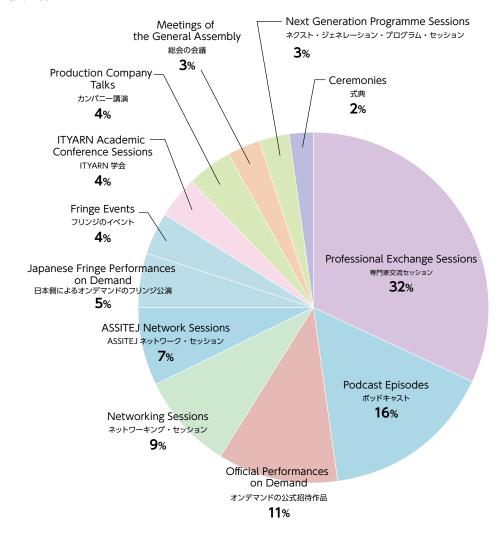


- ライブでのイベント参加をより好んだ層と、録画での鑑賞を好んだ層はそれぞれどのような特徴があったか?
- もっとも閲覧数が多かったのはどの時間帯か? 平日と週末で違いはあったか? 祝日は閲覧数に影響したか?
- 各国の ASSITEJ センターは、次のカテゴリーのうちどれに該当したか。
  - ○強力なエンゲージメントがあった:大きな反応があり、追加でのサポートはほとんど必要なかった。
  - ○オンライン・イベントに、早くから好反応があった: 反応は良好だが、さらなるマーケティングと啓蒙による効果が期待できる。
  - ○テクノロジーの経験値が浅い: 関心は高いが、テクノロジー面でさらなるサポートが必要。
  - ○経済的な障壁がある: 関心は高いが、費用が高すぎて参加できない。
  - ○言語的な障壁がある: 関心は高いが、言語の壁による制約がある。
  - ○認知度が低い:イベントのことがほとんど知られていない。
  - ○協力者が少ない:参加者は多いが、イベントに寄与する協力者の数は少ない。
  - ○参加者が少ない:イベントに寄与する協力者は多いが、参加者が少ない。

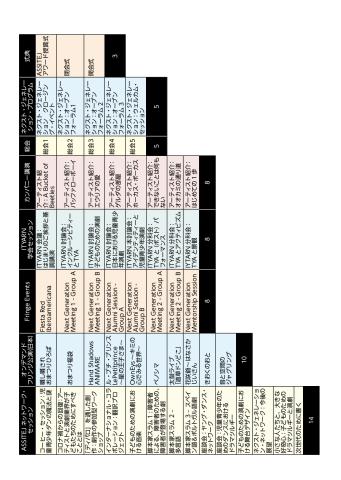
## イベントの数

イベント・セッションの合計は190件。内訳は以下の通り。

- ■オンデマンド公演 31 件
  - ○公式招待作品 21 件
  - ○日本のフリンジ作品 10 件
- ■専門家交流プログラム 151 件
  - ○専門家交流セッション 61件
  - ○ポッドキャスト30話
  - ○ネットワーキング・セッション 17件
  - ASSITEJ ネットワーク・セッション 14 件
    (IIAN、ネクスト・ジェネレーション・ネットワーク、スモール・サイズ・ネットワーク、ヤング・ダンス・ネットワーク、ライト・ローカル・プレイ・グローバル)
  - ○フリンジ・イベント8件
  - ITYARN 学会 8 件
  - ○カンパニーの講演8件
  - ○ネクスト・ジェネレーション・プログラムのセッション 5件
- ■総会および式典8件
  - ○総会ミーティング 8 件
  - ○式典3件



## Full List of Event Sessions by Type:





専門家交流セッション	専門家交流セッション2	ポーパコエ・イス4・エピンード	オンデマンド	ネットワーキング・セッション
幼年期の芸術的・文化的目覚めに関 するシンポジウム	ジェニー・ツーリーとマイク・ケニー: 暦本際と 滅出験からの指摘	総会参加者の声— Adrian Hernandez		アーティスティック・エンカウン ター・パート1、セッションA
アクト・オブ・ジャスティス	初心者のための歌舞伎ワークショップ	総会参加者の声— Aideen Howard	バッファローボー イ	アーティスティック・エンカウンター・パート1、セッションB
私たちの未来: 子どもと文化シンポ ジウム	E言ワークショップ	総会参加者の声—Anastasia Kolesnikova	エウリアの愛	アーティスティック・エンカウン ター・パート2、セッション A
みんな一緒に:カナダ「ヤング・ピー ブルズ・シアター」他による演劇にお に けるアクセスとイングルージョンに関 する学び	IIAN 紹介:未来を形作る	総会参加者の声— Anja Pletikosa	ゲルダの部屋	アーティスティック・エンカウン ター・パート2、セッションB
親と子のための表現ワークショップ	アーティスト紹介:IIAN ワークショップ	総会参加者の声―Buntheng Ou	ホーカスポーカス	閉会パーティー
母として、乳幼児のための演劇演出家として一台湾の TYA 先駆者たち	IIAN 功労者紹介	総会参加者の声— Camila Bauer	Horses ~馬のように~	代表者アイスブレーカー1
ASSITEJドイツとゲーテ・インスティ チュート東京―TYA における新たな 方向性	ミュージカル・ワークショップ	総会参加者の声—Christian Schroder	できないことは 何もない	代表者アイスブレーカー2
BATU (長方形で遊び、創作する)	ナショナル・センター座談会 ASSITEJ スタッフとリーダーシップを繋ぐ	総会参加者の声— Daniel Hutchinson	レオの小さな トランク	ロビーネットワーキング1
ベビーサイン・ワークショップ:子どものための演劇を通した手話	ロシアにおける演劇推進活動の変化: 演劇教育学と「ソシオプレイング教育」 という美学	総会参加者の声―Elizabeth Brendal Hom	LIFE ~土が教え てくれたこと~	ロビーネットワーキング 2
バロウランド・パレエ: 複雑なニーズ をもつ子どものための作品を共に創作する	オープンステージ:TYA と移住	総会参加者の声―Emily Kamariopoulou	オオカミの通り道	ロビーネットワーキング 3
登場人物の経歴を土台として始める 創作プロセス	詩的な自己を共有する	総会参加者の声―Feng Li	日本舞踊と長順	ロビーネットワーキング 4
ブランディング:多文化における違い の活用	芸術的創造の道:子どもの観客のため の即興	総会参加者の声—Florence Goguel	はじめての一歩	ロビーネットワーキング 5
イベロアメリカから橋を架ける	子どものためのパフォーミング・アート: 課題と芸術的可能性	総会参加者の声―Ginni Manning & Lalu Mokuku	ピッコリ	TYA によるコロナ禍への対応 1
包括性を生み出す	10 代の観客の心を掴むための秘訣とアドバイスと仕掛け	_	ピョンガン姫と まぬけなオンダル	TYA によるコロナ禍への対応 2
芸術研究における子ども	すべての年代のための多感覚演劇	総会参加者の声—Jenny Sealey &Mike Kenny	Rakuza	TYA によるコロナ禍への対応 4
芸術と文化に関する子どもの人権: アーク・カルチュラル・センター・ フォー・チルドレン	共有される体験:ASSITEJ ナショナル・ センターのためのワークショップ		ታ–カスወ灯	TYA によるコロナ油への対応 5
コトランスクリエーション	不安を共有する: パーチャル環境における、児童青少年のための情景的な詩		つみきのいえ	フランス・ハウス・ラウンジ
子どもたちとのコラボレーション	サイレント・シアター・ワークショップ	総会参加者の声—Maria Ines Falconi & CCleiton Echaveste	星の王子さま	17
コミュニケーションの輪を成立させる			赤ずきんちゃん	
コンタキッズ	サブタイトル3: 演劇等のパフォーマン スアートにおける翻訳の管理と表示の 方法	総会参加者の声— Marija Druzijanic	能公演・羽衣	
若い観客のためのドラマツルギー: 演劇、文化、コミュニティー	ティーン・キッチン・テーブル・ミーティ ングー誰も置いていかない	総会参加者の声— Meike Fechner	楽器の国へ ようこそ	
表現遊び	本当のことを教えて	総会参加者の声— Melisa Orozco Vargas	21	
ジェネレーターー児童青少年のため のダンスの発展を実現する国際的コ ラボレーション・プラットフォーム		総会参加者の声—Nishna Mehta & Jon Dayffd-Kid		
ジロ・オン・ザ・ゴー!: 子どものための演劇とツアー	TVA におけるダイバーシティのための 演劇促進活動:E ラーニング・プログラムへの招待	総会参加者の声— Pei-Chi Chan		
魔法の絵筆を持つ女の子	こちらグレイソン	総会参加者の声— Sanja Fruhwald		
影絵ワークショップ	パスポートとしての TYA	総会参加者の声— Shaili Sathyu		
調子はどうですか?	もし、子どもが自分で決められたら? エイプリルフェスティバルへの子どもの 視線	総会参加者の声— Shilvina Patrignoni		
非常時における国際組織によるアー ティスト支援のあり方	- アジア内外での国際的なネットワーキ ングの真のゴールとは	総会参加者の声— Tatiana Bittar		
本当に必要な ID とは	TYA における国際的な共同と創造一 SWOT分析	総会参加者の声—Taylor Jane Cooper & jane Hansen		
殺陣ワークショップ	Working/Creating Internationally 総会参加者の声一Yuk Tak in TYA - A SWOT Analysis	総会参加者の声—Yuk Tak (Gemini) Wong		
日本伝統芸能ワークショップ	61	30	_	

## 代表者の数

### 完全アクセス・パスの購入・発行数 1259 件

うち実際に使用された数 906 件

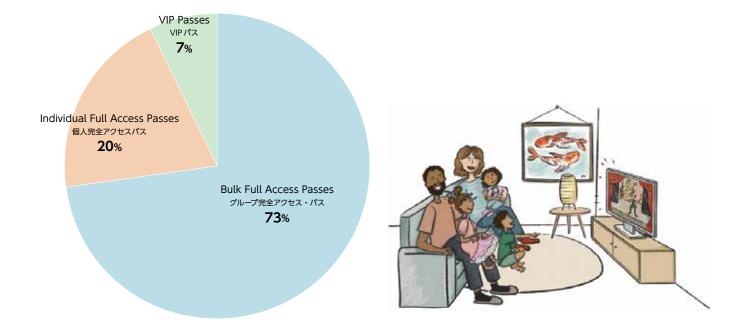
- ■グループ完全アクセス・パス 947 件 (発注数 33 件)
  - ー使用された数 665 件 (交換率 70.2%)
- ■個人完全アクセス・パス 183件
  - ー使用された数 183 件 (交換率 100%)
- VIPパス 129 件
  - ー使用された数 58 件 (交換率 45.0%)

### Full Access Passes by Type

(Solid Fill=Redeemed, Striped Fill=Unredeemed)

完全アクセス・パスタイプ別の発行数と使用数 (無地:使用された数、ストライプ:使用されなかった数) 1000 900 800 282 700 600 500 400 665 300 200 100 183 58 0 Individual Full Access Passes **Bulk Full Access Passes** VIP Passes グループ完全アクセス・パス 個人完全アクセス・パス VIPパス

# Redeemed Full Access Passes by Type 使用された完全アクセスパス タイプ別内訳



### 完全アクセス・パスのクーポン発行数 230 件

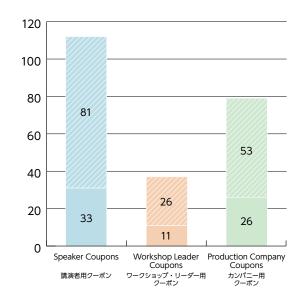
うち実際に使用されたクーポン数 70 件

- ■講演者用クーポン 114 件 (完全アクセス・パス 25% オフ) ー使用された数 33 件 (交換率 28.9%)
- ■ワークショップ・リーダー用クーポン 37件 (完全アクセス・パス 50% オフ) 一使用された数 11件 (交換率 29.7%)
- ■カンパニー用クーポン 79 件 (完全アクセス・パス 100%オフ) ー使用された数 26 件 (交換率 32.9%)

### Coupons by Type

(Solid Fill=Redeemed, Striped Fill=Unredeemed)

クーポンのタイプ別発行数と使用数 (無地:使用された数、ストライプ:使用されなかった数)

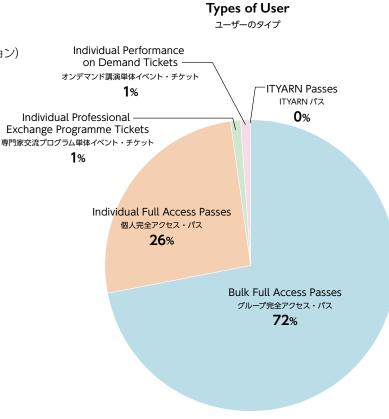


### その他のパス購入数 130 件

- ■専門家交流プログラム 単体イベント・チケット 82 件 (14 セッション)
- ■オンデマンド講演 単体イベント・チケット 35 件 (7 公演)
- ITYARN パス 13 件

### 登録済みのユニーク・ユーザー数 1169人

- ■チケットを購入・使用した ユーザー数 1066 人
- ■無料コンテンツを視聴できる アカウントを作成した ユーザー数 103 人



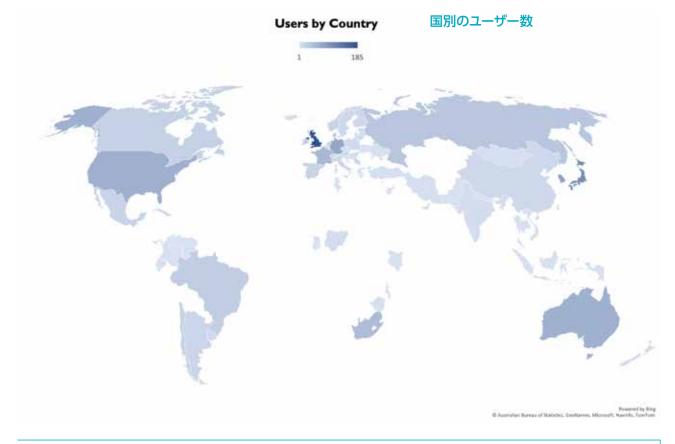
## ユーザーの国別構成

ユーザー 1169 人のうち、1086 人については国データを取得できた。 アクセスがあったのは 75 カ国からで、うち 8 カ国については特定できなかった。

ランキング	ユーザー数	国名	割合
1	185人	英国	15.8%
2	106人	日本	9.1%
3	78人	韓国	6.7%
4	74人	ドイツ	6.3%
5	61 人	オーストラリア	5.2%
6	60人	アメリカ合衆国	5.1%
7	51人	フランス	4.4%
8	45人	南アフリカ	3.8%
9	34人	デンマーク	2.9%
10	33人	ロシア	2.8%
11	25人	ブラジル	2.1%
12	21人	カナダ	1.8%
12	21人	チリ	1.8%
14	20人	アイルランド	1.7%
15	18人	ノルウェー	1.5%
15	18人	スペイン	1.5%
17	17人	メキシコ	1.5%
17	17人	オランダ	1.5%
19	16人	キューバ	1.4%
20	15人	アルゼンチン	1.3%
21	14人	エストニア	1.2%
21	14人	セルビア	1.2%
23	13人	イタリア	1.1%
24	12人	スェーデン	1.0%
25	11人	中国	0.9%
25	11人	フィンランド	0.9%

ランキング	ユーザー数	国名	割合
25	11人	リトアニア	0.9%
25	11人	ウルグアイ	0.9%
	9人	2 オーストリア	0.8%
29	9人	ベルギー	0.8%
	9人	ニュージーランド	0.8%
32	8人	スイス	0.7%
N/A	8人	不明	0.7%
34	7人	ポーランド	0.6%
	6人	クロアチア	0.5%
35	6人	ギリシャ	0.5%
35	6人	ナイジェリア	0.5%
	6人	シンガポール	0.5%
	5人	香港	0.4%
	5人	ハンガリー	0.4%
39	5人	アイスランド	0.4%
	5人	インド	0.4%
	5人	ラトビア共和国	0.4%
	4人	チェコ共和国	0.3%
44	4人	イラン	0.3%
44	4人	モンゴル	0.3%
	4人	台湾	0.3%
48	3人	リヒテンシュタイン	0.3%
	3人	ルクセンブルク	0.3%
	3人	トルコ	0.3%
51	2人	キプロス	0.2%

ランキング	ユーザー数	国名	割合
	2人	インドネシア	0.2%
	2人	イスラエル	0.2%
51	2人	パキスタン	0.2%
51	2人	スロヴェニア	0.2%
	2人	アラブ首長国連邦	0.2%
	2人	ベトナム	0.2%
	1人	アンドラ公国	0.1%
	1人	ブルネイ	0.1%
	1人	コロンビア共和国	0.1%
	1人	エクアドル	0.1%
	1人	ガーナ	0.1%
	1人	ヨルダン	0.1%
	1人	ケニア共和国	0.1%
	1人	マラウイ	0.1%
	1人	マルタ	0.1%
58	1人	マルティニーク	0.1%
	1人	ネパール	0.1%
	1人	パナマ	0.1%
	1人	レユニオン	0.1%
	1人	サンマリノ共和国	0.1%
	1人	タイ王国	0.1%
	1人	チュニジア	0.1%
	1人	ウクライナ	0.1%
	1人	ベネズエラ	0.1%
	1人	ジンバブエ	0.1%



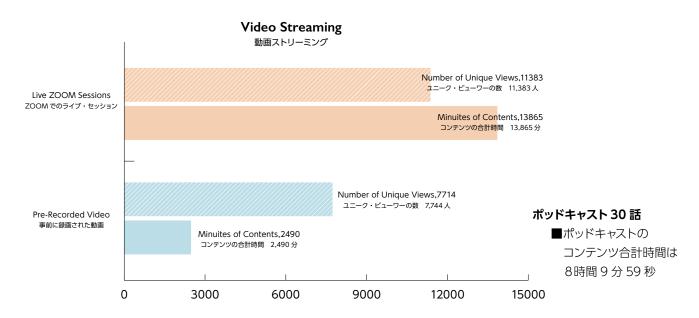
## ストリーミング

### ZOOM での生中継セッション数 110 件

- ZOOM でのセッションの合計所要時間は9日と15時間5分0秒
- ZOOM でのライブ・セッションの参加者は 11.383 人 (途中退出してログインし直した人を含む)

#### 事前に録画された録画の数89件

- ■事前に録画された動画コンテンツの合計所要時間は1日と17時間29分48秒
- ■事前に録画された動画コンテンツのユニーク・ビューワー数は 7,744 人
- ■録画された動画コンテンツの合計閲覧所要時間は 96 日 12 時間 38 分9秒



### ダイアローグ報告書

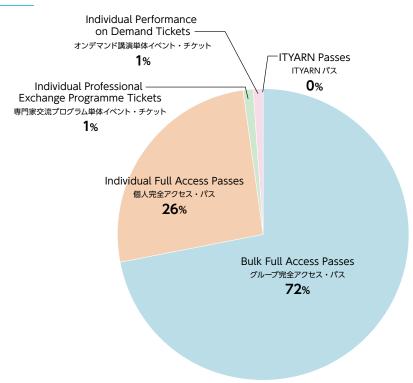
## チケット売り上げ

### チケット総売上高 61,449.66 米ドル

- ■グループ完全アクセス・パス 44.265.36 米ドル
- ■個人完全アクセス・パス 15,889.69 米ドル
- ■専門家交流プログラム単体 イベント・チケット 725.18 米ドル (14 セッション)
- ■オンデマンド講演単体 イベント・チケット 319.99 米ドル (7公演)
- ITYARN パス 240.44 米ドル

### Types of User

ユーザーのタイプ



## 日本での海外作品上映会

アシテジ世界大会の目玉ともいえる作品上演ですが、コロナ禍の影響により、残念ながら、海外からの来日公演は実現することができませんでした。まだ、コロナの脅威を感じていなかった準備期間のころは、作品選びに多くの時間を費やし、作品のコンセプト、対象年齢、地域性、そして何よりクオリティを吟味しながら、海外から25作品、国内から5作品を選定しました。しかしながら、既知の通り、来日しての上演がかなわなくなり、少しでも海外の作品に触れてほしいという思いで、作品上映を実施し、その出演者や演出家といった関係者とリモートでつないで、少しでも LIVE 感を感じることのできるものにしようと最大限の努力をしました。もちろん作品の性質上、すべての作品を上映することはかないませんでしたが、それでも20作品の上映とアフタートークを実施することができました(2作品上映のみの作品含む)。

海外作品とはいえ、映像上映ということで観客数や、映像のクオリティなど、いろいろと心配していたのですが、思いのほか、毎公演予想より多い観客が足を運んでいただくことができました。映像のほうも子どもたちが客席にいる有観客の映像が多く、子どもたちの反応も同時に観ていただくことができて、その点も評価の高い理由になったと思います。

文化庁などの評価では、作品個々にもコメントをもらっています。「出演者の極めて高い身体能力と斬新な技術を駆使した『ホーカスポーカス』(スイス)、リアルで生々しい人形の造形と表現による『オオカミの通り道』(セルビア)等には、スタッフ・キャストの高い専門性が認められ、様々な技法を用いて耽美な世界を創出したアカデミー短編アニメ賞受賞作の劇化『つみきのいえ』(フランス)や、強力な基礎的技術に裏打ちされ多彩な表現要素を取り入れた『KOYO マイムライブ』等には、十分な国際発信力が認められた。『小さな島のエヴァ』(オーストラリア)は異文化共生や環境等の社会問題をも想起させ、『バッファローボーイ』(カンボジア)では障害者による表現の可能性が追及されていた。」そのほかにも、ジャンルにとらわれない作品やノンバーバルの作品についても高い評価を得ることができました。

また、リモートでのアフタートークが好評となり、少しでも LIVE 感を実感してもらおうという主催者側の努力が報

われた気がしました。作品についての創造的な話はもちろん、コロナ禍での各国の子どもたちの様子や、児童・青少年演劇関係の現状を共有することで、離れていても、子どものためのアーティストたちが世界中でこの現状と向き合い、少しでも早く、子どもたちに寄り添う活動をしたいという思いが伝わってきました。各国の参加者たちが口をそろえて、このリモートでのアフタートークを実施したことに感謝の言葉を述べてくれました。このことにより、自分たちが、アシテジ世界大会/未来フェスティバルに参加した気持ちになれた、ということをおっしゃっていました。そして、コロナの脅威を乗り越えた先での再会を約束して終えることができました。

膨大な事前の準備の結果、思い通りの形にはなりませんでしたが、それでもなお、画面を通して多くのアーティストたちと出会う機会がつくれたことが、近い将来の日本の児童・青少年演劇の発展の一助となる確信を持てたフェスティバルとなりました。 (太田 昭)



ホーカスポーカス



作品上映後のリモートでのアフタートークの様子







KOYO マイムライブ





作品上映後のリモートでのアフタートークの様子

## 国際青少年演劇研究ネットワーク

3月22日と23日、アシテジ・ネットワークの一つ「国際青少年演劇研究ネットワーク (International Theatre for Young Audiences Research Network、 略 称 ITYARN)」がオンラインによる国際会議を開催し、約40名の研究者や実演家たちが、①基調講演 Keynote、② 共 通 論 題 Plenary Panel、③パネル討 論 Panel Presentations、④ワーキング・グループ Working Group といった場で児童青少年演劇に関する研究の発表を行なったり、議論を交わした。

基調講演は、今回の世界大会のホスト国が日本ということもあり、中山夏織教授(桐朋学園芸術短期大学)が担当した。彼女は「新型コロナウィルスを乗り越えて実現させる — インクルーシブ演劇の実際とその効果(Making It Happen beyond Covid-19 - Inclusive Theatre in Practice and Its Impacts)」という題名の発表を行い、日本における障がい児対象の演劇(インクルーシブ演劇)のあり方やコロナ禍におけるインクルーシブ演劇の必要性について論じた。

共通論題は「アイデンティティと児童青少年演劇(Identity and Theatre for Young Audiences) で、この題目のもと、Tom Maguire 教授(アルスター大学)、Monica Prendergast 教授(ヴィクトリア大学)、飛田勘文(芸術文化観光専門職大学)の3名が各々の研究領域から異なる発表を行った。例えば、Maguire 教授は「クィアペンギンと平等への旅の始まり(Queer Penguins and Beginning the Journey to Equality)」という題名で、バーミンガム・レパートリー・シアター企画のゲイ・ペンギンの劇『Penguins (ペンギン)』という作品の分析を行なった。

パネル討論は3つからなる。パネルAは「日本の児童青少年演劇(Theatre for Young Audiences in Japan)」で、赤松洋子氏(つくば子ども劇場)、仁科太一氏(東京学芸大学)、飛田の3名が発表を行った。例えば、赤松氏は「学校における児童青少年演劇機会の創出、日本のつくば市を例に(Producing Opportunities of Theatre for Young Audiences at Schools in Tsukuba City, Japan)」という発表を、仁科氏は「乳幼児演劇における『物のドラマトゥルギー』("Dramaturgy of Things" in Theatre for Early Years)」という発表を行なった。そのほか、パネルBでは「乳幼児演劇 (Theatre for the Early Years)」を、

パネル C では「包摂と児童青少年演劇 (Inclusivity and TYA)」をテーマにした発表が行われた。

ワーキング・グループも、3 つのグループに分かれた。 グループ A は 「児童青少年演劇とアクティビズム (TYA と Activism)」 を、グループ B は 「児童青少年演劇と (ポスト) パフォーマンス (TYA and (Post)Performance)」 を、グループ C は 「児童青少年演劇と風景 (TYA and Landscape)」 をテーマとし、各グループで、研究者たちが、自分が研究中・執筆中の論文の発表を行い、意見交換をした。

最後に、本ネットワークの運営についてだが、発足以来、本ネットワークの代表を務めてきた Manon van de Water 教授 (ウィスコンシン大学マディソン校) が退任し、今後は、理事の一人である Tom Maguire 教授 (アルスター大学) が代表を務めることが決定した。

(飛田 勘文)

## ネクスト・ジェネレーション

3月22~31日、アシテジ・ネットワークの一つ「ネクスト・ジェネレーション(Next Generation、略称NG)」がオンラインにて開催された。ネクスト・ジェネレーションは児童青少年演劇の若手芸術家が参加する「レジデンス・プログラム」と、そのレジデンス・プログラムに参加した過去の参加者たちが集う「ネットワーク」の2つに分かれるが、ここで報告するのは後者である。

今回のプログラムでは、第1回目ネクスト・ジェネレーションの参加者である飛田勘文(芸術文化観光専門職大学)と、2019年にノルウェーで開催された芸術集会 Artistic Gathering で実施されたネクスト・ジェネレーションの参加者である Jayne Batzofin氏(フリーランス・アーティスト/南アフリカ)と James Riordan氏(Brú Theatre 芸術監督/アイルランド)がコーディネーターを務め、プログラムの設計と進行を行なった。

また、時差の問題により全員が一堂に会することは叶わなかったが、日本人 4 名を含む 10 カ国 11 名の若手芸術家たちが参加し、コーディネーターたちの進行のもと、いくつかの活動を行なった。

対面で実施される通常のレジデンス・プログラムの場合、若手芸術家たちは、一緒に同じ作品を観劇したり、同じシンポジウムやセミナーなどに参加することで、世界の児童青少年演劇に関する理解を深め、共通認識を形成していく。また、プライベートな時間も設け、そこで他の若手芸術家に自分の国の児童青少年演劇の現状を紹介したり、自分の持つ専門技術を披露したり、一緒に劇を創作することで、自分たちの世代に必要な児童青少年演劇について模索していく。しかし、今回はオンライン上で長時間活動することが難しかったため、コーディネーターたちは、参加者に提供するプログラムを3つに絞り、レジデンス・プログラムの中でも特に重要な経験や考えに触れてもらった。

1つ目のプログラムは、Batzofin 氏と Riordan 氏主導によるワークショップである。例えば、Batzofin 氏は、各参加者に母語で(コロナ禍にあった)「昨年」を象徴する3つのことばを選択し、その3つのことばを用いた簡単な詩を創るよう指示した。そして、詩が完成したら、一人ずつその詩の内容を解説し、朗読するよう要求した。他方、他の参加者に対しては、朗読中、その詩の内容に反応して何かしらの身体や物を使用した表現を創ることを求めた。参

加者は、この活動を通じて異なる文化的背景を持つ芸術家 と一緒に一つの作品を創るとはどういうことを学んだ。

2つ目のプログラムは、公開フォーラムである。参加者 は、①「パンデミックにおける児童青少年演劇の役割 (The Role of TYA in the Time of Pandemic)」、② [児童 青少年演劇は子どもの貧困を乗り越える一助となり得る か (How Can TYA Help Overcome Child Poverty Problem?)」、③「多様性ある児童青少年演劇の作品に は何が必要か (What Do We Need to Produce TYA Productions with Diversity?)」という3つの公開フォー ラムに出席し、一般参加者もいる中で、若手芸術家の視 点からそれぞれのトピックについて議論しました。例えば、 ①のフォーラムでは、Myunghee Ko氏(韓国) がコロナ 禍においてもできる演劇とは何かを考え、音や映像、演技 が納められたQRコード付きの戯曲を作成し、子どもたち に配布したことを報告した。子どもたちは、その戯曲とス マートフォンを手に持って町へ行き、戯曲が指示する場所で 演技をしたという。また、②のフォーラムでは、Rebecca M. Padonu氏(ナイジェリア)が、自分の街には物乞いを する子どもたちがいると語った。教育は貧困から抜け出す ために必要不可欠だが、その子どもたちはその価値を理解 しない。そこで、彼女は、そうした子どもたちに劇を鑑賞 する機会を提供し、教育を受けることの重要性について説 いているんだと説明した。

3つ目のプログラムは、メンターシップである。先輩アーティストである Viviane Juguero 氏 (ブラジル) を招待し、彼女から「民主主義と児童青少年演劇」 に関する講義を受けた。

今回のプログラムは、かなり困難を極めた。オンラインのため長時間の活動が難しかったり、時差のため全員が揃わなかったりという問題もあるが、それよりも、物理的に全員が同じ場所に居ないため、参加者の多くが自分の都合を優先した。その結果、最初から最後までこちらが用意したプログラムをきちんと受講したのは、3名のみだった。それを踏まえると、今後、ネクスト・ジェネレーションをオンラインで行う際には、1~2日、長くても3日の短期間で開催することがよいと思われる。

(飛田 勘文)

## 未来へ~あかちゃんを真ん中に~

### 赤ちゃんひろば

子どもと文化全国フォーラム乳児専門委員会では、観劇した親子が休める(飲食含む)場所、語れる場所、ベイビーシアターの役者がトライアルできる場所として、2017年より、赤ちゃんひろばを開催してきました。特徴としては、スタッフに、赤ちゃんの学びを続けている、乳児専門委員会赤ちゃん研究会メンバーと、ベイビーシアターを実際行っている役者がいることがあげられます。

アシテジ未来フェスでは、日本ならではの取り組みとして、世界のお客様に見ていただくのを楽しみにしていましたが、コロナの影響で、来場する親子が見込まれず、場所の設置ではなく、ポスター表示に切り替えて行いました。

(中市 真帆)



「未来をひらく ベイビーシアター」

- 1、ベイビーシアターって?
- 2、赤ちゃんが観るの?
- 3、日本のベイビーシアターって?

「赤ちゃんひろば」 実際の様子より

### インタビュー動画の制作配信

「ベイビーシアターを考える~原点から未来へ向かうために~」と題して、インタビュー形式による映像制作と配信を行いました。この事業は、日本児童・青少年演劇劇団協同組合による文化庁委託事業の一貫、本来であれば、2020年5月に対面の国際シンポジウムとして予定していたものです。ギリギリまで来日の可能性を探り、対面かハイブリッドかと、開催の形式を模索していたため、映像配信の形に踏み切ったのが2月の半ば過ぎ、そこからZoomによるインタビューの実施、翻訳、抜粋、編集と怒濤の作業が続き、配信開始ギリギリにようやく完成することができました。

ご挨拶とメッセージを、イヴェット・ハーディさん(南アフリカ / 前アシテジ世界会長)、ロベルト・フラベッティさん(イタリア・前アシテジ世界理事)に、インタビューに応じていただいたのは、学びと協働のパートナーとして信頼関係を築いてきたアーティストの方々、ダリア・アチン・セランダーさん(スウェーデン / 国際共同制作「BABY SPACE」の演出振付)、アリツィア・ルブツァックさん(ポーランド / 国際共同制作「KUUKI」の演出)、中市真帆さん(日本 / ベイビーシアタープロジェクト)の3名です。

世界のベイビーシアターの起こりと共に、日本の起源を 紐解く、そんな機会にしたいと思って企画をしましたが、 実際にお話を伺って何より感動したことは、相互の打ち合わせなく、共通して語られた内容です。それは「社会を変える力になる」ということ。ベイビーシアター及び児童青少年演劇の普遍的な役割を、実践に裏付けられた揺るぎない信念と共に語られ、生きた言葉に勇気をもらいました。 社会を作るのは「人」、その「人」を育てるはじまりに在るベイビーシアターの可能性を強く確信したインタビューとなりました。

最後になりますが、先の見えない中で、開催に向け奔走 された実行委員、事務局の方々に敬意を表し、心より感謝 申し上げます。ありがとうございました。

(大沢 愛)

## アーティスティック・エンカウンター

アシテジ世界大会に於いて、総会と並んで、一大イベントと捉えられているのが、アーティスティック・エンカウンター(芸術的出会い)であり、そのプレイベントという形でアイス・ブレイカー(「初めまして」の挨拶としてのイベント)が行われる。2011年まで3年に一度の開催であった世界大会だったのが、2012年以降、1年に一度行われるアーティスティックギャザリング(芸術的集会)が加わり、世界中から児童青少年舞台芸術に関わる人々が集まる機会が増えることを受け、2012年の沖縄から始められたのが、このアーティスティックエンカウンターである。

アシテジ世界理事会には4つの作業部会(英語ではワーキング・グループと呼ぶ)があり、その中の一つ、プロジェクト(企画)作業部会の主催によって、アーティスティックエンカウンターが行われるのだが、アシテジが掲げる3か年計画のテーマに基づいて、参加者全員で議論するのが趣旨であり、記念すべき第20回東京大会に於いては、3か年テーマ「未知なる世界へ」の最終章に当たる「旅のはじまり」をテーマに以下のトピックについてグループに分かれて約6時間の対面による議論の場を設ける予定であった:

- 1 アクセシビリティ(到達容易性:舞台芸術を子どもたちに届けるということ)
- 2 アーティスティック・イノベーション (芸術的革新:子どものための新しい舞台芸術の在り方の模索)
- 3 インクルーシビティ(包括性:観客ならびに実践家の社会的包摂の在り方)
- 4 サステイナビリティ (持続可能性: 舞台芸術に於ける持続可能性の模索)
- 5 ポリティカル・スーツケース (政治的スーツケース: 舞台 芸術家と政治家の関わり方)

これらのトピックを細分化して、かなり具体的な議論の方法まで計画していたのだが、残念なことに実現は叶わず、オンライン開催になったことにより、オンラインで出来る最善のメソッドを模索、時差を考慮し、アイスブレイカー(3月22日)、2セッションに渡るアーティスティックエンカウンターを各2回ずつ開催した(3月27日・29日)。またオンラインセッションの参加集中力を考慮し、アイスブレイカーは1時間、アーティスティックエンカウンターは90分以内で行えるようにプログラムを組み、全セッション英語開催に対し、日本語とスペイン語対訳は行うようにした。

アイスブレイカーでは、アシテジ、そして世界理事の紹介ののち、参加者全員から自分の居場所をオンラインマップで指し示し、コロナ状況下の世界の状況を把握するための様々な質問を投げかけ、それに対し、身体表現で返答す

るというワークショップ的なことを行った。そして鬱憤を払うごとく、世界理事出身の国々からダンス音楽を用意、それらに合わせ、画面上でみんなで踊るというセッションを行い、閉会時にアーティスティックエンカウンターの説明と紹介をした。オンラインとは言えどもそれぞれの顔を見ながらの時間の共有はとても有意義なもので、またコロナ禍で抱える不安が世界レベルで共有されることで、未来について語るアーティスティックエンカウンターに繋がる良いセッションとなった。

アーティスティックエンカウンターは2セッションのプロ グラムを組んだ。「児童青少年舞台芸術の未来に持ってい くスーツケースにあなたは何を入れて行きますか?」という 質問をテーマに、最初のセッションでは、各参加者が5つ、 スーツケースに入れるものを用意するというところから始め た。実際にあるものであれば、それらを用意、実際になかっ たり、概念だったりであればそれらを絵にしてもらったり、 オンライン上にあるものから見つけてきてもらったりした。 各自が用意したのち、小さなグループに分かれ、それぞれ のスーツケースの中身を共有、またその5つを選んだ理由 などを共有した。その後、全体のグループに戻り、最終的 にはその中から一つ選ばなければいけないという旅の物語 に耳を傾け、各自一番持って行きたいもの一つを選び、一 つ目のセッションを終えた。そして 2 日後の二度目のセッ ションに於いて、再度、それぞれが選んだものを共有、小 さなグループに分かれ、それぞれ持ち寄ったもので、未来 に実践すべく共同創造プロジェクトを企画した。複数言語 が話せる人の力を借りながら、時間をかけて議論を行い、 最終的にそれぞれのプロジェクトの発表をし、閉会した。

どのセッションも熱気に包まれ、何より笑いが絶えなかった。直接会えない悔しさを滲ませながらも、まさにテーマでもあった、我々児童青少年舞台芸術に携わる者が未来に向けて出来ることを演劇ワークショップ的なアプローチによって探り、共有できたことは、特にこのコロナ禍に於いて貴重な機会となったと思う。一人ではめげてしまいそうな現状に於いて、世界のあらゆるところに仲間がいるということを発見できる、アーティスティックエンカウンターは、アシテジの存在意義を示すものであろう。

現在正確な参加者の数字を確認中であるが、おそらく延べ200名近い参加があったと記憶する。折角の日本での開催だったにも関わらず、日本人の参加者が少なかったのは残念であった。オンラインであったが故と思いたいところである。

(大谷 賢治郎)

## 対面式の報告

当初海外招待作品、及び自主参加(フリンジ)作品公演、シンポジウム、ワークショップ、セミナー等も多数実施する予定でしたが、新型コロナウイルスの感染拡大により来日が叶わず、国内プログラムのみで実施となりました。(海外招待作品は、映像上映とリモートアフタートークを実施。)

対面式では全プログラムに共通で使用できる、パッケージチケットを儲けたことで、団体での鑑賞や、連日会場に訪れる親子連れの姿が見られました。また、子どもは一律1,000円としたことにより、参加がしやすかったという声も頂いております。

また、コロナ禍ではありましたが、YouTube や SNS 等を使い、有効的に広報を行いました。対面式は国内のみに広報することとなりましたが、在宅時間が増えたことにより、オンラインでの広報が重要となっていたと感じております。

#### 実施プログラム

- ・開会式
- ・閉会式
- ·国内招待作品公演
- ・国内自主参加(フリンジ)作品公演

・コングレスプログラム:シンポジウム・ワークショップ

・日本博プログラム: ワークショップ・日本博プログラム: 矢来能楽堂公演

・オープン事業

•提携事業:東洋館公演

海外作品は、全世界からエントリーを受け付け、1254作品の応募があった中から、世界 20 地域の文化・芸術分野で活躍するアドバイザー 20 名によって選び抜かれた 25作品です。アドバイザーには、トニー・リッキー氏 (エジンバラ・イマジネイトフェスティバル元芸術監督/イギリス)や、アジマ・ナ・パタルング氏 (ビクトフェスティバル芸術監督/タイ)、イベット・ハーディ氏 (アシテジ世界会長/南アフリカ)等、現在の児童青少年のための舞台芸術に精通する方々を迎え、当フェスティバル芸術監督の下山と協議を重ね、決定に至りました。

インクルーシブに取り組むものや、ノンヴァーバル等、テーマに沿った優れた作品、世界の今を感じることのできる作品が集結し、子どものための文化の祭典にふさわしいプログラムとなりました。

### 入場者数一覧 招待作品

部門	プログラム	団体名	公演日	開演時間	会場	入場者数
			3月22日	19:00		103
	こんにゃくざのおんがくかい	オペラシアターこんにゃく座	3月23日	13:00	としま区民センター多目的ホール	121
			3月23日	17:00		86
			3月25日	17:00		57
	楽器の国へようこそ	口バの音楽座	3月26日	11:00	としま区民センター小ホール	40
			3月26日	15:00		51
<b>园</b> 由			3月28日	17:00		121
国内 招待	KOYO マイムライブ	パントマイムユニット TORIO	3月29日	11:00	茅野市民館コンサートホール	105
1017			3月29日	15:00		90
			3月28日	15:00		90
	サーカスの灯 (ひ)	ラストラーダカンパニー	3月29日	13:00	茅野市民館マルチホール 1	80
			3月29日	19:00		66
			3月29日	17:00		64
	江戸糸あやつり人形の世界	江戸糸あやつり人形	3月31日	11:00	茅野市民館マルチホール 2	55
			3月31日	15:00		67
	小さな島のエヴァ	テラピン・パペット・シアター	3月23日	15:00	としま区民センター 701	16
	ピッコリ	コンパーニア・ロディージオ	3月24日	17:00	としま区民センター 701	22
	オオカミの通り道	ノヴィサド青少年劇場	3月24日	19:00	としま区民センター 701	21
	レオの小さなトランク	Y2D プロダクションズ	3月25日	11:00	としま区民センター 701	22
	プーノ〜空への手紙〜	ペーパームーン・パペット・シアター	3月25日	15:00	としま区民センター 701	21
	ホーカスポーカス	フィリップセール	3月25日	17:00	としま区民センター 701	11
海外	できないことは何もない	ニューインターナショナル エンカウンター (NEC)	3月25日	19:00	としま区民センター 701	15
招待	赤ずきんちゃん	ゴンパ・プロジェクト	3月26日	11:00	としま区民センター 504	25
	ピョンガン姫とまぬけなオンダル	ブックテーラズ・キルト	3月26日	15:00	としま区民センター 504	17
※映像	はじめての 1 歩	ミッドナイト・シアターカンパニー	3月26日	19:00	としま区民センター 504	13
上映・	ゲルダの部屋	オソブニャク・シアター	3月26日	17:00	としま区民センター 504	21
リモート	イェシェン	中国国立北京児童芸術院	3月27日	11:00	としま区民センター 504	11
アフター	つみきのいえ	スペクタビリス	3月27日	19:00	としま区民センター 504	25
トーク	アナのはじめての冒険	テアトロ・デ・オカシオン	3月28日	11:00	としま区民センター 504	19
	「うさぎとかめ」孫氏の兵法	中国福祉会児童芸術院	3月28日	15:00	としま区民センター 504	19
	何になるかな?	オラ・ツァラ	3月29日	17:00	茅野市民館リハーサルルーム	27
	Horses 〜馬のように〜	キャビネット K& ヘットパレイス	3月30日	17:00	茅野市民館コンサートホール	33
	エウリアの愛	マルケリーニェ	3月30日	19:00	茅野市民館コンサートホール	22
	バッファローボーイ	エピック・アーツ	3月31日	11:00	茅野市民館コンサートホール	32
	ファンタジー・フィジカル・ダンス	Oh! マイライフムーブメントシアター	3月31日	15:00	茅野市民館コンサートホール	25
					合計	1613
	<u> </u>	<u> </u>				

### 日本博公演

公演番号	団体名	公演名	公演日	開演時間	会場	入場者数
C1	第 20 回アシテジ世界大会・東京実行委員会	開会式	3月23日	18:30	ギャラクシティ・西新井文化 ホール	70
T3-1	落語芸術協会	東洋館笑楽座	3月24日	19:00	浅草東洋館	25
T1-1	第 20 回アシテジ世界大会・東京実行委員会	能楽公演「羽衣」	3月25日	13:00	矢来能楽堂	68
T1-2	第 20 回アシテジ世界大会・東京実行委員会	能楽公演「羽衣」	3月25日	19:00	矢来能楽堂	66
T3-2	落語芸術協会	東洋館笑楽座	3月25日	19:00	浅草東洋館	57
T2	第 20 回アシテジ世界大会・東京実行委員会	日本舞踊×長唄 〜伝統舞踊と伝統音楽の共演〜	3月26日	19:00	矢来能楽堂	85
C2	第 20 回アシテジ世界大会・東京実行委員会	閉会式	3月31日	18:30	諏訪市文化センター・ホール	119
					合計	490

### ワークショップ

公演番号	団体名・個人名	公演名	公演日	開演時間	会場	入場者数
W01	神山 一郎	演劇で遊ぼう!	3月22日	13:00	としま区民センター・会議室 504	5
W11	NPO 法人祈りの芸術 TACHI- KIKAKU (オーハシヨウスケ・吉松 章)	カラダの詩「身体詩 /BODY POETRY」 〜 お「能」の型から生まれるノン・バーバル な不思議な動物パレード〜	3月22日	17:00	としま区民センター・会議室 504	7
W03	Mina Watoto (中澤聖子他 2名)	自然の中で親子で楽しむ表現ワークショップ「カラダとココロをつかって遊ぼう!」	3月23日	11:00	としま区民センター・会議室 504 (目白の森)	5
W10-1	オールスタッフ / イッツフォーリーズ	ミュージカルワークショップ〜みんなでお 祝いしよう、王様のお誕生日〜	3月23日	11:00	としま区民センター・小ホール	5
W12-1	石田 武 (劇団 EASTONS)	ドキドキワクワク殺陣アクション!	3月23日	15:00	としま区民センター・小ホール	6
W12-2	石田 武 (劇団 EASTONS)	ドキドキワクワク殺陣アクション!	3月24日	11:00	としま区民センター・小ホール	6
W02	株式会社プレイバック・シアター研究 所(岩橋由莉・向坂くじら・羽地朝和)	万葉歌を響とからだで遊ぶ	3月24日	13:00	ギャラクシティ・レクリエーションホール 1	5
W12-3	石田 武 (劇団 EASTONS)	ドキドキワクワク殺陣アクション!	3月24日	15:00	としま区民センター・小ホール	5
W09	山猫団 (長井江里奈)	はじまりのダンス	3月25日	13:00	ギャラクシティ・レクリエーションホール 3	4
W07	人形芝居燕屋 (くすのき燕)	三角形で遊ぶ	3月25日	13:00	下諏訪総合文化センター・集会室	7
W13-1	民族歌舞団荒馬座	獅子舞で遊ぼう	3月26日	11:00	としま区民センター・会議室 701 ~ 703	8
W13-2	民族歌舞団荒馬座	獅子舞で遊ぼう	3月26日	15:00	としま区民センター・会議室 701~703	10
W04	照屋洋(一社 日本演劇教育連盟)	演劇教育の可能性を考える	3月27日	11:00	ギャラクシティ・レクリエーションホール 3	9
W05	Art-Loving まんぽ	無言で思いを伝えるコミュニケーション ワークショップ	3月27日	13:00	下諏訪総合文化センター・集会室	4
W13-3	民族歌舞団荒馬座	獅子舞で遊ぼう	3月28日	11:00	としま区民センター・会議室 701~703	8
W15-1	お祭り芸能集団 田楽座	田楽座の南京玉すだれ体験	3月28日	11:00	下諏訪総合文化センター・集会室	5
W15-2	お祭り芸能集団 田楽座	田楽座の南京玉すだれ体験	3月28日	13:00	下諏訪総合文化センター・集会室	4
W17-1	劇団 前進座	歌舞伎ことはじめ	3月28日	15:00	諏訪市文化センター・第1集会室	8
W08	楠原 竜也	からだで表現あそび〜離れていてもつなが ろう!〜	3月29日	11:00	下諏訪総合文化センター・軽体育室	6
W17-2	劇団 前進座	歌舞伎ことはじめ	3月29日	11:00	下諏訪総合文化センター・あすなろホール	9
W14-1	山田 麻子	ハジケま書	3月29日	13:00	下諏訪総合文化センター・集会室	12
W17-3	劇団 前進座	歌舞伎ことはじめ	3月29日	15:00	下諏訪総合文化センター・あすなろホール	4
W14-2	山田 麻子	ハジケま書	3月30日	11:00	下諏訪総合文化センター・集会室	7
W16-1	大藏 教義 (大藏流吉次郎狂言会)	ノリノリ狂言体験!	3月30日	11:00	茅野市民館・マルチホール 1	11
W06	劇団かかし座 (飯田周一 ほか)	かかし座の手影絵に挑戦! (Hand Shadow Workshop)	3月30日	15:00	茅野市民館・マルチホール 1	14
W14-3	山田 麻子	ハジケま書	3月30日	15:00	下諏訪総合文化センター・集会室	4
W16-2	大藏 教義 (大藏流吉次郎狂言会)	ノリノリ狂言体験!	3月31日	11:00	下諏訪総合文化センター・集会室	6
W10-2	オールスタッフ / イッツフォーリーズ	ミュージカルワークショップ〜みんなでお 祝いしよう、王様のお誕生日〜	3月31日	13:00	下諏訪総合文化センター・あすなろホール	12
W16-3	大藏 教義 (大藏流吉次郎狂言会)	ノリノリ狂言体験!	3月31日	15:00	下諏訪総合文化センター・集会室	4
					合計	200

### シンポジウム

公演番号	団体名		公演日	開演時間	会場	入場者数
S1	演劇教育連盟	公開フォーラム 演劇と子どもたち	3月27日	13:00	としま区民センター・ 会議室 701~703/ オンライン	80
S2	こどもあーと ACTION	子ども、文化。それが私たちの未来〜私からはじまるこど もあーと ACTION 〜	3月30日	11:00	茅野市民館・コンサー トホール / オンライン	31
					合計	111

#### フリンジ作品 (大博覧会)

公演番号		公演名	公演日	開演時間	会場	入場者数
F101	劇団風の子	とんからり	3月20日		云物 R's アートコート	人場有奴 61
F101	オペレッタ劇団ともしび	オペレッタ「トラの恩がえし」	3月20日	15:00	R's アートコート	31
F102	オペレッタ劇団ともしい	"トクントクン	3 H Z I 🗆	15.00	K 5 // —   /	31
F105	人形劇団クラルテ	―いのちの旅―"	3月23日	15:00	R's アートコート	48
F107	小心ズ (しょうしんず)	The Gardener	3月24日	17:00	花まる学習会王子小劇場	41
F108	民族歌舞団 荒馬座	" 囃し囃されおまつりひろば "	3月24日	17:00	R's アートコート	43
F109	劇団鳥獣戯画	三人でシェイクスピア	3月24日	19:00	R's アートコート	25
F112	ラナハウス	JUNK ART CIRCUS	3月25日	11:00	シアターグリーン	35
F113	日本サロンコンサート協会	0 歳からの・はじめてのオーケストラ	3月25日	13:00	下諏訪総合文化センター・やまびこホール	84
F114	Mina Watoto	Own Eyes ~キミの心でみる世界~	3月25日	15:00	下諏訪総合文化センター・あすなろホール	39
F115	ドクトペッパズ	ペノシマ	3月25日	17:00	花まる学習会王子小劇場	30
F116	人形劇団望ノ社	宇宙カバ〜 Space Hippo	3月25日	17:00	茅野市民館・マルチホール 2	60
F117	スタジオ・ポラーノ	宮沢賢治『注文の多い料理店』	3月25日	19:00	R's アートコート	20
5440	特定非営利活動法人 劇団印象	" 子ゾウのポボンと		10.00	######################################	
F118	-indian elephant-	お月さま "	3月25日	19:00	茅野市民館・マルチホール 1	53
F120	お祭り芸能集団 田楽座	おまつり福袋	3月26日	15:00	茅野市民館・マルチホール 2	53
F121	スタジオエッグス	みんな de らくご	3月26日	15:00	下諏訪総合文化センター・軽体育室	19
F104	演劇ユニット思考動物	まーるんぱっ	3月26日	17:00	花まる学習会王子小劇場	32
F122	劇団なんじゃもんじゃ	ベッカンコおに	3月26日	17:00	茅野市民館・リハーサルルーム	36
F123	パントマイムシアター	少年とイルカ	3月26日	17:00	下諏訪総合文化センター・あすなろホール	77
F124	東京演劇アンサンブル	おじいちゃんの口笛	3月26日	19:00	シアターグリーン	49
F126	想造舎	影絵音楽団くぷくぷ「きんぎょがにげた」	3月26日	19:00	R's アートコート	26
		ル プチ プリンス				
F125	劇団鳥獣戯画	LePetitprince 〜星の王子さま〜	3月26日	19:00	茅野市民館・マルチホール 1	57
F127	TAP DO!	スペシャル・ショータイム♪	3月26日	19:00	下諏訪総合文化センター・やまびこホール	139
F124	東京演劇アンサンブル	おじいちゃんの口笛	3月27日	13:00	シアターグリーン	55
F130	劇団風の子	ソノヒカギリ美術館	3月27日	13:00	茅野市民館・マルチホール 2	100
F131	丑の会プロデュース	きおくのおと	3月27日	15:00	茅野市民館・リハーサルルーム	38
F132	笑太夢マジック	マイ ディア ドール	3月27日	17:00	R's アートコート	40
F135-1	3ガガヘッズ	3GAGAHEADS THE BODY TIGHTS MEN SHOW 〜ピクトグラムの大冒険〜	3月27日	17:00	花まる学習会王子小劇場	23
F134	人形芝居燕屋 + 吟遊打人	花咲爺~はなさかじいさん	3月27日	17:00	茅野市民館・マルチホール 1	61
F133	蒼い企画	びりとブッチィー & ナツコ	3月27日	17:00	下諏訪総合文化センター・やまびこホール	116
F137	岡田音楽事務所	チョコレートはんぶんこ 岡田健太郎のピアノ弾き語りコンサート	3月28日	11:00	茅野市民館・マルチホール 2	50
F136	X-jam	シモシュ×末原拓馬「音と言葉の世界」	3月28日	11:00	下諏訪総合文化センター・あすなろホール	53
F147	太鼓と芝居のたまっ子座	太鼓ライブ「道草ドンどこ」	3月28日	11:00	諏訪市文化センター・ホール	115
F135-2	3ガガヘッズ	3GAGAHEADS THE BODY TIGHTS MEN SHOW 〜ピクトグラムの大冒険〜	3月28日	13:00	花まる学習会王子小劇場	28
F138	ただじゅん企画	とっぴんぱらりん座	3月28日	13:00	下諏訪総合文化センター・軽体育室	28
F140	空転軌道	音と空間のジャグリング	3月28日	17:00	としま区民センター・小ホール	37
F141	チィキィ*パークゥ	Witty Look の Life's a circus!!!!!	3月28日	17:00	下諏訪総合文化センター・やまびこホール	111
F141	劇団かかし座	Hand Shadows ANIMARE	3月29日	15:00	下諏訪総合文化センター・やまびこホール	141
F144	一般社団法人エーシーオー沖縄	レ・ミゼラブル	3月29日	19:00	茅野市民館・リハーサルルーム	34
F144	一般社団法人エーシーオー沖縄	レ・ミゼラブル	3月30日	11:00	茅野市民館・リハーサルルーム	29
F144	人形劇団とんと	三びきのやぎのがらがらどん	3月31日	11:00	下諏訪総合文化センター・軽体育室	25
F145	人形劇団とんと	ふたりのお話	3月31日	13:00	下諏訪総合文化センター・軽体育至 茅野市民館・マルチホール 1	50 50
F140	人 1万家1回(ごははんの)の		2月21日	13.00	オギロス略・イルナホール	50
F143	劇団ぱれっと	けんじサーカス〜猫の事務所・どんぐりと山猫・ よだかの星〜	3月31日	15:00	下諏訪総合文化センター・やまびこホール	106
F144	一般社団法人エーシーオー沖縄	レ・ミゼラブル	3月31日	17:00	茅野市民館・リハーサルルーム	35
					合計	1928

#### オープン事業

公演番号	団体名	公演名	公演日	開演時間	会場	入場者数
		みんなのディスコ	3月27日	13:00	下諏訪総合文化センター・あすなろホール	233
F148	TEAM パフォーマンスラボ	トワイライトガーデン	3月28日	18:00	茅野市民館 ロビー	112
		盆ダンス	3月28日	19:00	下諏訪総合文化センター・あすなろホール	28

#### ベイビー作品

公演番号	団体名	公演名	公演日	開演時間	会場	入場者数
F103	日本児童・青少年演劇劇団協同組合	KUUKI	3月22日	11:00	R's アートコート	17
F103	日本児童・青少年演劇劇団協同組合	KUUKI	3月22日	15:00	R's アートコート	13
F111	香味野菜	ぽかぽかぷくぷく マインマイン	3月22日	11:00	ギャラクシティ ふぉーらむ	8
F106	ナカツボアーツ	かのんぷ♪ RIE のママと赤ちゃんのための コンサート	3月24日	11:00	ギャラクシティ レクリエーションルーム	8
F110	CAN 青芸	ぐるぐる	3月25日	11:00	ギャラクシティ ふぉーらむ	23
F119	山の音楽舎	うたのたね〜おんがくのはじまり〜	3月26日	11:00	ギャラクシティ ふぉーらむ	20
F128	みつあみ	TON — Ton-ton	3月27日	11:00	ギャラクシティ ふぉーらむ	28
F129	リーフ企画	HO·GUI·UTA(寿歌)	3月27日	11:00	下諏訪総合文化センター 軽体育室	20
					合計	137

## 国内招待作品

国内作品は、応募された180作品から、子どもと舞台芸術大博覧会(1998年~)の舞台公演チームが、今の日本を代表する児童青少年のための舞台芸術作品を選定しました。

作品選定の方針は「舞台芸術の新たなコミュニケーション方法、様々な探求をしている作品」です。具体的には、 ①言葉を中心的なコミュニケーションツールとしない(子どもたちの感性に響く)作品。②子どもたちが自己を肯定で き、生きる喜びを持てる作品。③人生の疑似体験ができ、 想像力、創造力を育む作品。④日本、アジアをはじめ、同 時代を生きる、共通のテーマを持った作品。⑤世界で共通 に持つ課題を示している作品。⑥様々な国・文化・スタイ ルの芸術性の高い作品。以上の項目を満たすものです。

1

# **こんにゃくざのおんがくかい** オペラシアターこんにゃく座

歌とピアノというシンプルな舞台ながら、確かな歌の技術と演劇的な演出で子どもから大人まで楽しめる作品です。日本語の持つ音の面白さとリズムは、国内外の観客に受け入れられるもので、出演者の豊かな表情と表現によって会場に笑いも起きていました。



文化庁文化芸術振興費補助金(国際芸術交流支援事業) 独立行政法人日本芸術文化振興会/公益財団法人東京都 歴史文化財団 アーツカウンシル東京







2

## 楽器の国へようこそ ロバの音楽座

古楽器からオリジナルの楽器までが多数 登場し、演奏と物語が展開され、音が自然 と届けられ、子どもたちがどんどん集中して いく様が見事な作品です。言葉を中心的な コミュニケーションツールとしないことから、 観客の想像力、創造力を育み、国内外で広 く楽しめる作品として高い評価を得ました。



文化庁文化芸術振興費補助金(国際芸術交流支援事業) 独立行政法人日本芸術文化振興会/公益財団法人東京都 歴史文化財団 アーツカウンシル東京







3

# KOYO マイムライブ

#### パントマイムユニット TORIO

高い技術のパントマイムに加えて、紙細工を使った腹話術・新聞や紙袋などの日常品を使ったコント、一人二役のダンス、マジック等、多彩な表現形式も新しい作品です。 生死を扱ったコントや哀感を主体とした表現は、青少年から大人まで世代を超えて感性を刺激されました。



文化庁文化芸術振興費補助金(国際芸術交流支援事業) 独立行政法人日本芸術文化振興会



4

## **サーカスの灯** ラストラーダカンパニー

和紙を素材とした舞台空間で、高い技芸に支えられたノンバーバル作品です。日本的な要素を取り入れつつ、劇場全体がサーカステントであるかのような一体感を感じられる温かみのあるクラウンパフォーマンスで、子どもや親子連れが楽しむ姿が印象的でした。



文化庁文化芸術振興費補助金(国際芸術交流支援事業) 独立行政法人日本芸術文化振興会



5

# 江戸糸あやつり人形の世界 江戸糸あやつり人形

江戸時代に生まれ、370年の歴史がある 江戸糸あやつり人形による作品で、江戸時 代の和装の男性が酔う姿、着物の所作や裾 裁きの美しい女性、江戸時代から伝わる滑 稽な踊りなど、あやつり人形を通して、日本 の歴史や民俗文化を感じることができまし た。



文化庁文化芸術振興費補助金 (国際芸術交流支援事業) 独立行政法人日本芸術文化振興会



# 国内フリンジ作品

当初 2020 年 5 月の開催では、フリンジ作品は東京会場での上演でした。延期が決まり、一転、東京と長野に開催地が変更。地方での開催に、どのくらいの団体がエントリーするのか、心配はありましたが、募集開始を始めると、長野会場を希望する団体が多くエントリーあり、長引くコロナ禍、上演の機会を持てることが、実演団体の希望につながっていることを感じ取ることとなりました。

東京会場も含めると、多くの会場でのフリンジ公演が行われました。感染対策に気を配り、舞台スタッフとの打ち合わせは、いつも以上に綿密に行われました。

フェスティバルの魅力は、普段出会うことのない、様々

なジャンルの団体と出会えることもあるでしょう。お互いの作品の鑑賞はもちろん、合間に交流する楽しさもあります。今回の未来フェスでもまた、そのような光景があちこちに観ることができました。演じるだけでなく、特に長野会場では、オープン事業などにスタッフとしても参加し、創る側としてフェスティバルを楽しんでいる姿もありました。そこでは地元の方々との交流も生まれており、演じる側と観る側の垣根がなくなっていました。

ただやはり、海外のアーティストと、リアルで交流はできなかったことは残念でした。 (野田 あさ子)





























## 開会式











開会式は、ギャラクシティ・西新井文化ホール (足立区) にて、民族歌舞団荒馬座による賑やかな「大黒舞 + 獅子舞」 に始まった。

続いて、森田勝也実行委員長による主催者挨拶、遠く南 アフリカから届いたアシテジ世界のイヴェット・ハーディ会 長の、和服姿のビデオレターの紹介を行った。イヴェット 会長からは、日本のチームや開催に関わる全ての方々への 感謝のメッセージが伝えられた。

また、文化庁審議官の出倉功一氏、日本芸術文化振興 会理事の清水明氏からご挨拶いただき、地元である近藤や よい足立区長からの「コロナで縮まった心 に芸術文化の力 を実感する」という実感こもる挨拶、高野之夫豊島区長メッ セージが紹介された。

後半では、劇団前進座の狂言舞踊「棒しばり」の上演が 行われ、会場の観客を魅了した。

世界から来日する観客を前に演じられる予定だった荒馬 座のおめでたい演目、前進座の華やかな狂言舞踊だったが、 新型コロナウイルスにより残念ながら海外からの観客が客 席にいることはなかった。しかし、映像撮影を行い、オン ラインフェスティバルサイトにて全世界に配信も行った。 (大森 智恵子)

#### 東京都開催

### 開会式

令和3年3月23日(火)  $18:30 \sim 20:05$ ギャラクシティ・西新井文化ホール

- <出演>民族歌舞団荒馬座/劇団前進座
- <舞台進行>鈴木龍男
- <総合司会>横澤寛美
- <制作>椛山麻季子

令和2年度日本博主催・共催型プロジェクト

「日本の文化、伝統に出会う」 主催:文化庁/独立行政法人日本芸術文化振興会/ 第20回アシテジ世界大会・東京実行委員会







## 閉会式

今大会の掉尾を飾る閉会式は、2021年3月31日 18:30 より長野会場 諏訪市文化センターにおいて行われ た。ウィルス禍による開催延期と変更に伴い当初の企画を 改め、地元長野県内に本拠地を置く創造団体の協力を仰 ぎ、そのパフォーマンスをアトラクションの中心に置いた。 主なプログラムは以下の通り。

#### **OPENING ACT**

松本在住の人形劇アクターで演出家のくすのき燕さんの プランにより、地元(長野県)創造団体の歌舞劇団田楽座、 吟遊打人、ましゅ & Kei、アフタフ・バーバン信州、せん ぜもん一人劇場、の皆さんによるバラエティ豊かなパフォー マンスが繰り広げられた。

#### セレモニー

会期中の思い出し VTR の映写で幕を開けたセレモニー パートは、アシテジ総会の報告、次期アシテジ世界会長よ りのビデオメッセージ、また今後のアシテジギャザリング(ス ウェーデン、セルヴィア)、次回世界大会(キューバ)の開 催地のビデオ紹介などが行われ、アシテジ日本センター会 長の森田勝也氏の挨拶で締めくくられた。

#### 子どもの声を作品にするアートプロジェクト

今回の閉会式で一番特徴的な企画がこの企画。「コロナ 禍の中での子ども達の声を集め、それを見える化したい」 というアイディアから生まれたもので、参加を希望するアー ティストが様々な形で子どもの声を映像作品に仕上げた。 また、当日は地元茅野市の高校生等も出演し、子どもの声 の実演も行われた。発表された作品は以下の通り。

- ブッチィーさん「いつもどおり笑っているよ」
- ・智春さん (CHEEKY!!) 「学校も、学童も、かわっちゃっ たんだよ。もう一!なんで一! ~。」
- ・岡田健太郎さん「ぶっ殺してやる!」
- ・大藏教義さん(大藏流吉次郎狂言会)新作狂言「マスク

(大藏教義さんは狂言作品のため、特別に実演参加され た。)

#### 感謝のコーナーと ENDING ACT

プログラムの最後に今大会芸術監督下山久よりの挨拶が あり、この困難な大会のためにご尽力いただいた国内外の 全ての人々に感謝が述べられた。そしてその後再び地元団 体によるパフォーマンスがあり、華やかな四匹獅子舞と「疫 病退散」の垂れ幕で閉会式は幕を閉じた。

(後藤 圭)









#### 長野県開催

### 閉会式

令和3年3月31日(水)  $18:30 \sim 20:30$ 諏訪市民文化センター・ホール

<出演>お祭り芸能集団 田楽座/吟遊打人/ ましゅ& Kei /アフタフ・バーバン信州 清水洋幸/ せんぜもん一人劇場 中野哲良

<司会進行>向谷地愛 (オールスタッフ)

<作・演出>くすのき燕

<全体構成>後藤圭 (劇団かかし座)

令和2年度日本博主催・共催型プロジェクト

「日本の文化、伝統に出会う」 主催:文化庁/独立行政法人日本芸術文化振興会/ 第20回アシテジ世界大会・東京実行委員会







# 矢来能楽堂公演·日本文化 WS

当プログラムは、日本の次代を担う子どもたちが日本の文化、そして世界の多様な文化に触れ、交流し、表現と感性を育むことで、想像力と創造性を持った、自分の地域や人を愛することの出来る、社会の主体者となることを願い、文化庁の令和2年度日本博主催・共催型プロジェクト「日本の文化、伝統に出会う」として実施しました。

矢来能楽堂の公演では、能楽堂のある新宿地域の親子 連れが「気になっていた能楽堂に初めて入れる」と小さな 子ども連れで多数来場していました。また、海外の方にも 分かりやすい解説付きでの上演だったため、子どもや初め て能や日舞を鑑賞する方にも好評で、映像撮影、英訳し、 オンラインフェスティバルサイトにて全世界に配信(有料) も行いました。

また、日本文化のワークショップでは、子どもたちが多様な日本文化を体験できるよう、6つのプログラムを実施しました。





#### 矢来能楽堂公演 -1

#### 矢来能楽堂 能楽公演 「羽 衣」

令和 3 年 3 月 25 日 (木) 13:00 / 19:00 時開演 制作協力: (公社) 能楽協会

(特非) あそびと文化の NPO 新宿子ども劇場

能楽公演「羽衣」の上演と、能の解説。

#### 矢来能楽堂公演 -2

### 矢来能楽堂 「日本舞踊×長唄 ~伝統舞踊と伝統音楽の共演~」

令和3年3月26日(金) 19:00 開演

制作協力:(公社)日本舞踊協会

(一社) 長唄協会

(特非) あそびと文化の NPO 新宿子ども劇場

日本舞踊「連獅子」と長唄「越後獅子」。解説。

#### 日本文化 WS-1

## ドキドキワクワク 殺陣アクション!

令和3年3月23日(火)・24日(水) としま区民センター(3回/東京都豊島区)

講師:石田 武(劇団 EASTONES)

劇団 EASTONES の石田武氏による殺陣体験。

#### 日本文化 WS-2

### 獅子舞で遊ぼう

令和3年3月26日(金)・28日(日) としま区民センター(3回/東京都豊島区)

講師:民族歌舞団荒馬座

荒馬座による獅子舞体験。 参加者にクラフト獅子を配り、舞を覚えた。

#### 日本文化 WS-3

### 歌舞伎ことはじめ

令和3年3月28日(日) 諏訪市文化センター (1回/長野県諏訪市)・29日(月) 下諏訪 総合文化センター(2回/長野県下諏訪町)

講師:劇団 前進座

劇団前進座による歌舞伎体験。 小さい子どもでも体験できる簡単な型に挑戦。

#### 日本文化 WS-4

### ハジケま書

令和3年3月29日(月)・30日(火)下諏 訪総合文化センター(3回/長野県下諏訪町)

講師:山田 麻子

山田麻子氏による書道体験。筆ではなく、草木や布など、身近なものと墨で描くオリジナルの書道スタイル。











日本文化 WS-5

## ノリノリ狂言体験!

令和3年3月30日(火) 茅野市民館(1回/長野県茅野市)・31日(水) 下諏訪総合文化センター(2回/長野県下諏訪町)

講師: 大藏 教義 (大藏流吉次郎狂言会)

大藏教義氏による狂言体験。 ミニ実演と解説を聞き、簡単な型を覚えて体験。 日本文化 WS-6

## 田楽座の南京玉すだれ体験

令和3年3月28日(日) 下諏訪総合文化センター (2回/長野県下諏訪町)

講師: お祭り芸能集団 田楽座

田楽座による南京玉すだれ体験。実際に子どもたちが道具を使って南京玉すだれに挑戦。

上記、プログラムのオンライン配信 令和3年3月22日(月)~31日(水) オンラインフェスティバルサイト

# 長野開催にあたって

#### ◆茅野市民館との共催

長野での開催が実施できたのは、未来フェスのミッションに共感し、共催という形で取り組んで下さった茅野市民館の存在がありました。

準備期間の短い中、「アシテジ楽しむサークルすわ」というプラットフォームを立ち上げ、そこに登録すると、未来フェスでの上演作品に親子で招待されるという仕組みでした。

未来フェスの取り組みが、一過性のもので終わるのではなく、その後も、地域の人が文化を楽しむネットワーク作りにも、役立てていきたいとの思いから生まれた取り組みでした。

その反響は大きく、申し込み開始とともに申し込みが相次ぎ、次々と招待枠は満席となり、満席になるとその後、有料のチケットが動くという好循環が生まれることとなりました。

#### ◆現地のネットワーク作り

茅野市民館以外にも、地元の NPO 団体のネットワーク も大きな力を発揮しました。

未来フェスに向けて、サポート C、すわ子ども文化ステーション、茅野おやこ劇場などを中心に、長野サポートチームを構成、地域のサポート体制を構築しました。

記者会見のセッティングをはじめとした地元メディアへの 広報依頼、当日ボランティアの募集・説明会、会場を盛り 立てる装飾つくりの協力など、未来フェスを長野で盛り上げていくための、きめ細かな準備を、地域の方とともに作り上げることができました。

コロナ禍という困難の中、どうすればこのフェスティバルが成功できるか、知恵とアイディア、時には不安も出し合いながら会議を重ねたことは、結果、多くの市民の方にフェスティバルを周知していくことに繋がりました。

#### ◆当日の様子

「無料招待券」の魅力が、存分に発揮され、日頃舞台芸術には触れたことのない、多くの親子連れの姿がありました。

コロナ禍でもあり、十分な宣伝が行き届かなかった点は 否めませんが、来場者の多くは、学校配布のチラシをきっ かけに、友人からの口コミで知ったという方が大半で、1 作品だけではなく、複数の作品に参加していたことも特徴 的なことでした。

「こんな素敵な作品、東京に行かないと見られないと思っていました」「また来年もやってほしい」「こんな楽しいことが、自分の街であるなんて、ホントにうれしい」など、直接ボランティアに感想を話しかけてくださる方もいて、期間中、参加者とボランティアの間には豊かなコミュニケーションが生まれました。 (野田 あさ子)













# オープン事業

### みんなのディスコ

世代も国籍も性別も障がいもすべての垣根を越えて音楽を楽しむ"みんなのディスコ"。

今回は地元、下諏訪町を中心に活動しているヒップホップダンスチーム "INYOU 村" のみなさんに参加して頂きました。子どもたちの年齢が幅広く、たくさんの子どもたちが息の合ったダンスパフォーマンスを披露して会場を盛り上げてくれました。

また、"笛師九兵衛とサルバンド"による、色々な笛やからくり楽器のおもしろ演奏、この日のためにコラボレーションが実現した"ましゅ & Kei with シモシュ"によるピアノとハンドベル、そして道化芸が融合したパフォーマンスなど、様々な音楽を楽しみました。

会場には足長道化師の"オスカ"も登場し、会場の子どもたちは興味津々!一緒に写真を撮ったりして楽しみました。

INYOU 村によるダンスパフォーマンスや普段あまり目にすることのない楽器や演奏に触れ、音楽に包まれたみんなのディスコになりました。 (岡元 初菜)



### 盆ダンス

盆ダンス会場には、真ん中に櫓の山台が設置され、明々と提灯がともされて、雰囲気もよく、踊りの熱気に包まれました。踊りの輪では小さな子どもから大人まで、出演者やお客様の垣根を越えて笑顔があふれました。司会進行はただじゅん。オープニングは、地元信州伊那の田楽座による軽快なお囃子、続いて、田楽座のリードによる盆踊り「世栄」です。簡単な繰り返しの振り付けですが掛け声も愉快

で、みんなが踊りの輪に入れました。続いては岡田健太郎 ミニコンサート、着物の着流しで現れ、ピアノの弾き語り で観客を魅了しました。親しみある舞台に子どもたちも釘 付けです。そのまま輪になり岡田健太郎の音頭で「江州音 頭」を踊りました。その後は田楽座のミニコンサートで大 いにもりあがり、ただじゅんのリードで全員参加の小さな 太鼓のリズムセッション。最後は、輪になって全員で「八木 節」を踊りました。

初めて集った人たちも踊りと太鼓で一つになり、楽しい 時間はあっという間でした。 (ただじゅん)







# オープンステージ

茅野市民館の広いロビーを活用した「オープンステージ」。 公演と公演の合間に、20分程足を止めて見入ってしまうスペースを作りました。日を追うごとに、オープンステージを 目指して足を運んで下さる方が増えていきました。各公演 会場とは違った、アーティストと観客が、身近な距離で交流できる心地よい時間となりました。





### 総会

第 20 回アシテジ世界大会 / 2020 国際子どもと舞台芸術・未来フェスティバルでは、5回におよぶ総会が、オンラインで開催されました。

それぞれ、120-200人の参加がありました。日本からは、 森田勝也会長、上保節子副会長、後藤圭副会長、私が参加しました。通訳は、大谷賢治郎さんが、やってくれました。

第1回目の総会では、イヴェット・ハーディ (Yvette Hardie) 会長の挨拶にはじまり、「2021-2024 年のアシテジの活動計画とテーマ」が話しあわれました。

第2回目の総会では、選挙管理委員会の設置、投票方法の確認、「過去4年間の活動報告・収支報告」の承認が、おこなわれました。

第3回目の総会では、「活動計画」、「予算案」、「規約の改正」の話しあいがあり、承認されました。

第4回目の総会では、第21回アシテジ世界大会に立候補しているキューバのプレゼンテーションと質疑応答、2024年のアシテジ芸術家集会に立候補しているフランスのプレゼンテーションと質疑応答がありました。

また、ZOOMのグループに分かれて、世界理事候補者 との話しあいが、おこなわれました。

第5回目の総会では、名誉会員の授与、逝去者への追悼、世界大会と芸術家集会の投票と結果発表、過去の世界理事と会長への感謝、新しい会長と事務局長の信任投票と結果発表、世界理事の投票と結果発表、会計と副会長の選任などが、おこなわれました。

まず、2021-2024年のアシテジの活動計画」ですが、「再生 (Regenerating)」が、テーマとして選ばれました。公表された「3年間の芸術的ドラマツルギー (理論と実践の方針)」の冒頭には、次のように書いてあります。

「山火事のあと、下草と木々は、ちがったように成長します。その形は、変わります。黒くなった部分は、緑のなかに残りますが、やわらかい芽と葉は、新しい生命と広範な環境の豊かさを、約束します。

『再生』は、行動的な単語です-過去を認識し、未来を 目指しながら、現在を表す単語です。

『再生』は、ともに使われます:生命、移行、健康、相性、 手続き、変容、エネルギー、新しさと古さ、パワー、保存、 希望。

私たちは、集会やコミュニケーションや記事やキャンペーンに渡る、このアイデアとともに働く、3年間の計画を提案します」

次に、今後のアシテジの大きな大会ですが、次のように 決まりました。(アシテジは、3年に1回、会議と国際児童 青少年舞台芸術フェスを中心とした、世界大会を開催しま す。世界大会と世界大会のあいだは、1年ごとに、会員の 交流と対話、フェスティバルでの観劇を中心とした、芸術 家集会を開催します)。

#### 今後のアシテジの大きな大会

2022年の芸術家集会: スウェーデン (ヘルシンボリ、5月17-22日)

2023年の芸術家集会: セルビア (ベルグレード、5月 21-26 日)

2024年の世界大会: キューバ (ハバナ、5月24日 - 6月1日)

2025年の芸術家集会: フランス (ナントまたはマルセイユ)

それから、2021-2024年の役員は、次のようです。

会 長:	スー・ジャイルズ (Sue Giles)	オーストラリア
事務局長:	ルイス・バレンテ (Louis Valente)	デンマーク
副会長:	べべ・デ・ソアレス (Bebê de Soares)	チリ
	ソコン・キム (Seok-hong Kim)	韓国
	パメラ・ウドカ (Pamela Udoka)	ナイジェリア
会 計:	アーニー・ノーラン (Ernie Nolan)	アメリカ
世界理事:	タチアナ・ボブロバ (Tatiana Bobrova)	ロシア
	セロアン・モクク (Selloane (Lalu) MOKUKU)	南アフリカ
	ヤニック・ボード— (Yannick Boudeau)	ベルギー
	クリスチナ・カゾーラ (Cristina Cazzola)	イタリア
	ジョン・ダフィド・キッド (Jon Dafydd-Kidd)	イギリス
	ミノバシュ・ラヒミアン (Minoovash Rahimian)	イラン
	エミリー・ロバート (Emilie Robert)	フランス
	ショアブ・イクバル (Shoaib Iqbal)	パキスタン
	ジュリア・ディナ・ヘッセ (Julia Dina Hesse)	ドイツ

あと、名誉会員の受与では、アシテジ日本センター前会長のふじたあさやさんが、選ばれました。100%の賛成投票でした。そのほか、韓国のスキ・キム (Sookhee Kim) さん、今回で世界理事を辞める人たち、あわせて6人が、名誉会員に選ばれました。アシテジ前会長のイヴェット・ハーディさんは、名誉会長に選ばれました。

逝去者への追悼では、南アフリカの歌手の生歌が流れるなか、アシテジ日本センター元会長の内木文英先生の名前が流れました。

3年ごとに開催されるアシテジ世界大会で、総会はとても大事です。過去3年間をふり返り、今後3年間の活動を決めなくてはなりません。いろいろな投票や選挙もあります。

それらをすべて予定どおり、オンラインでやることができるか、心配でしたが、なんとかできました。準備にあたった、関係者全員に、拍手を送りたいと思います。

(宮本 健太郎)

# 日本のコングレス WS とシンポジウム

2021年3月20-31日、第20回アシテジ世界大会 / 2020国際子どもと舞台芸術・未来フェスティバルが、東京と長野で開催されました。

アシテジ世界大会 / 未来フェスでは、会議と舞台芸術 公演のほかに、専門家による、ワークショップ (WS) やシ ンポジウムも、プログラムのなかに組みこまれます。

私は、コングレス部会責任者補佐の立場にいたので、11 の国内 WS (6つの日本博関連の WS をのぞく) と、2つのシンポジウムを担当しました。

コングレス部会責任者の田辺慶一さんが、国内選考、日 時と会場の割りふりをしてくれたので、私はそのあとの調 整が、おもな仕事でした。

世話人の手配、必要機材の確認、会場の下見と講師の入室時間の把握。ホームページ、チラシやプログラムに載せる、紹介文の確認と校正。参加者集め、当日の受付、(必要に応じて)特別参加など、いろいろな仕事がありました。

準備に大変な時期もありましたが、WSとシンポジウムは多種多様で、それぞれ興味深く、受付や特別参加をしていて、楽しかったです。

紙幅の関係で、WSの内容を詳しく紹介することはできませんが、私の立ち会ったものだけでも、シアターゲーム

や即興劇を中心にしたもの。お能や歌舞伎の型のワークと「身体詩」のワークの組みあわせ。ミュージカルのワークショップ。

万葉歌のことば・音の響きを、カラダを使って遊ぶもの。 自分から生まれるダンスを優しく引き出してくれるワーク。 ムーブメントやダンスを体験しながら考えるもの。

からだをめいっぱい使って、ダンスでコミュニケーション するもの。手影絵の作り方を学び、体験するものなどが、 ありました。

参加者も、大人だけでなく、中学生や高校生、お母さんといっしょの乳幼児、日本在住のアメリカ人の女の子も、いました。私は立ち会いませんでしたが、戸外(公園) でやった WS もありました。

「もうすこし早めに、準備を進めておけば、もっとたくさんの人に参加してもらえたかなあ」という反省もあります。 「海外からきた人にも、参加してほしかった」という思いもあります。ただ、「楽しかった。やってよかった」と思っています。

2つのシンポジウムについては、次ページで、すこし詳しく紹介します。すべてのWSとシンポジウムの準備にあたった関係者、講師および参加者に、心から感謝します。

(宮本 健太郎)



# 日本のコングレスプログラム - 2 つのシンポジウムについて-

ここでは、日本のコングレスプログラムに組みこまれていた、2つのシンポジウムについて、すこし詳しく紹介します。

まず、3月27日に、としま区民センターで開催された、「公開フォーラム演劇と子どもたち」。(一般社団法人)日本演劇教育連盟・(公益社団法人)日本児童青少年演劇協会の共催でした。

第1部の講演は、「『脳科学からみた演劇活動』何故子どもたちに演劇活動が必要か?」講師は、塚田稔さん。

第2部のシンポジウムは、「『演劇教育のこれからを探る』 文化芸術基本法の具現化と演劇鑑賞教室」。司会は、森田 勝也さん。パネラーは、大和滋さん、大垣花子さん、山根 起己さん、百合岡依子さん。

「脳科学と演劇活動」についての講演ということで、興味をもつ人が多く、ほぼ満席(80人)だったそうです。

シンポジウムも、「演劇教育は、子どもの成長に何故必要か? 何をどのように行うことが大事なのか? 実践をふまえた討議」ということで、「4時間でも、物足りなかった」という参加者からの感想を聞きました。

次に、3月30日に、茅野市民館で開催された、「子ども、文化。それが私たちの未来~私からはじまるこどもあーと ACTION。」。主催は、こどもあーと ACTION。

第1部は、ZOOMも併用して、13回にわたって開催された、アシテジ未来ミーティングの参加者の感想の共有。

第2部は、汐見稔幸さん(映像出演)、中川幾郎さんからの「未来への提案」。聞き手は、森本真也子さん。参加者の「マニフェスト(宣言)」の共有もありました。

「子どもや若者の文化的な生活や芸術への参加機会に格差がなく、差別や排除のない『誰一人取り残さない』(SDGsより)社会を実現する。子どもたちの文化を豊かにするために、私たちができることは何か」について、深く考えるものでした。

このシンポジウムがきっかけとなって、アシテジ世界大会 / 未来フェスのレガシー (継承する遺産) として、広く子どもと文化を考えて活動していく組織、「こどもあーと ACTION」のさらなる展開も決まりました。

日本には、児童青少年舞台芸術関係者の団体、演劇教育関係者の団体、研究者の団体、舞台芸術鑑賞団体、子どもの文化を考える団体、文化庁や文化施設といった公的機関など、いろいろな団体があります。

ただ、目指している理想像は同じでも、なかなか協同することは難しかったりします。このような機会をとおして、お互いの理解を深め、いっしょに考え、話しあい、協同するきっかけをつくることは、とても有意義で、大切だろうと考えます。 (宮本 健太郎)



# 対面まとめ 写真等





# 広報

#### 

子ども達の想像力が未来に羽ばたいていくイメージから 鳥をモチーフにしています。

鳥の色はうれしい、悲しい、楽しい、愛、喜びを表現。 文字の色は空と太陽を表現しています。





#### 製作者 よしと

#### プロフィール

こんにちは!「よしと」です!好きな食べ物は唐揚げ白飯。特技は物忘れと感謝。ボコボコだけどそんなありのままの自分をたくさんの人達に助けて頂きながら、ひたすら「楽しい!!」をテーマにお仕事をさせて頂いております。島根県松江市住。小学生の長女と双子の男女の3人の子どものお父ちゃん。

## グッズ

フェスティバルを盛り上げるためにグッズを 6 種類 つくりました



シール



ピンバッチ



エコバック



Tシャツ



てぬぐい





扇子

## 新聞・メディア記事



朝日新聞

べつと思ってはしているこ

長野県地方新聞

11月28日 土曜日 古紙 で開かれる。日本大会は初め 22~31日に東京都と諏訪地域 舞台作品などを鑑賞する「国」れた児童・青少年演劇のため シテジ世界大会」と、各国の 考える専門家が3年に一度、 12月7日に諏訪市役所で会見 02年のソウル大会以来18年 エスティバル」が、来年3月 際子どもと飼育芸術・未来フ 世界中から集まる「第20回ア てで、アシアでの開催は20 ぶり。実行委員会の関係者が 子どものための芸術文化を一界大会の開催方法やアシテジ 国内初 オンラインを活用した世一開かれた前回大会には約70カ 芸術文化 諏訪地域と東京で 合う。国際フェスティバルも 参加した。100カ個以上がの国際組織で、日本は70年に は1965年にパリで設立さ の理念を発表する。 舞台作品を上演している。 開催し、世界中から選ばれた。オンライン式のワークショッ を開き、今後の方向性を話し 加佐し、3年ごとに国際会議 実行委によると、アシテジ 2017年に南アフリカで 国の約2000人が参加。フ る予定だったが新型コロナウ 作品が上演されたという。 00人の参加者を見込む。 市)などが会場となる予定。 開催することにした。諏訪地 が行われる見通しで、約20 と諏訪市文化センター(諏訪 域では茅野市民館(茅野市) イルスの影響で延期し、分散 エスティバルでは翌カ国の日 プやセミナー、作品上映など 今回はら月に都内で開催す 来年3月 テジ世界大会の開催内容など について説明する。(唐沢宏) ども文化ステーション代表の 職之さん、 NPO法人すわ子 ーで地域文化航遊社長の辻野 周長、茅野市民館ディレクタ 下山久さんや森本真也子事務 層を行さんらが出席し、アシ 配者会見には、芸術監督の

#### 諏訪地方でアシテジ世界大会 実行委が会見

★ 文化 ② 2020年12月8日 6時00分











アシテジ世界大会の概要を発表する芸術監督の下山 さん(左)と実行委メンバー

フリーペーパー

カンフェティ

子どものための舞台芸術の国際イベント「第 20回アシテジ世界大会/国際子どもと舞台芸 術・未来フェスティバル」を来年3月に都内と 諏訪地域で開催する実行委員会が7日、諏訪市 役所で記者会見を開き、企画内容を発表した。 諏訪地域では海外招待6作品と国内招待3作 品、自由参加作品30作品が上演される予定 で、国内外のアーティストら1000人が訪れ る見込み。来年2月からチケットの販売を開始 したい考えだ。

ネット記事

アシテジ世界大会を日本初開催!

#### 子供と芸術の触れあいを目指し、世界中から選りすぐった舞台作品を上演



のメッカである日本を世界に向け発信ビックを控え注目される今こそ、文化 行っています。今回日本で初開催を弾 えますが、東京オリンピック・パラリン

別国を持ち、国を超え多様な活動を 「アシテジは現在約100カ国の担世界大会への意気込みを語った。 各地で上浦 開幕を前にアシテジの 世界中から遠ばれた舞台作品を日本 本で開催される。会期中は"未知な 来フェスティバルが、今年初めて日 舞台芸術協会)の第2回世界大会 返してきたアシテジ(国際児童青少年

さらに、ワークショップやセミナー い層に受け入れられるでしょう」 すが、皮質な作品は年齢を超え幅広

ました。子供たちが対象ではありま 界5大陸の網羅を考慮し作品を選び 幅広いプログラムが組まれている。

対象年齢やスタイルの多様性、

など各種イベントを毎日開催。文化

9ものへ~旅の始まり。をテ

一つの問題で、テクノロジーが発途 抱えています、日本の場合は孤独が 担えています。日本の場合は孤独が 供たちの豊かな未来を創造する。 芸術との触れあいの場を提供し、

> たちの文化的状況を変える一つのり入と人とを繋げてくれると信じて できる環境が整備されることをめざ に子どもたちが最低年1回以上。 行委員会は、この大会の開催を契機 きっかけになることを願っています なお。アシテジ世界大会・東京宝

門家が行い、上演を予定。 すいようノンバーバル作品を中心に 内外のフリンジ作品約100作品の 品26作品,国内招销作品5作品, 作品の選考は20名の音

校教育は必ずしも豊かな創造の場を想像力の欠如は大きな問題です。学 える最良の媒体で、芸術は他の何よ 術は子供たちに想像・創造の場を与 恐怖する時間が持てなくなっている。 の交流や繋がりの欠如が起きている 与えてくれる訳ではありません。 また日本の子供は忙しく / 遊ぶ版同

カンフェティ チケット アシテジ 一般家

第20回 アシテジ世界大会 / 2020 国際子どもと舞台芸術・未来フェスティバル

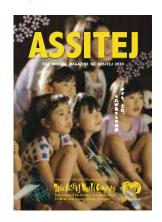
1965年パリで創設され、3年に一度世界の各種で制備されてきた国際児童音少年裏前協会 (アンナン)の第20位火金を発示で開催されます。世界大会に含わせて延期フェスティバルが 開発され、世界中から飛び後がれた新台作品が上流されます。

詳細はカンフェティ WEB (https://www.confetti-web.com/) にてご確認下さい

#### **SNS**

Facebook フェイスブック
Twitter ツイッター
Instagram インスタグラム
TikTok ティックトック (2020 年まで使用)

### マガジン



#### こだわり

意見や思いが伝わるよう読みやすく、また、演目の写真を大きく掲載してイメージが膨らむよう心がけました。また、日本的な桜の花のイラストなど、日本開催を意識したデザインをしています。

## 特別冊子



#### こだわり

充実した「アシテジ未来ミーティング」の内容が伝わることを第一に、言葉が目に入りやすいようシンプルに、でも楽しさを忘れない冊子のデザインをしています。

#### **HP**



2020 年 コロナ前ホームページ (鶴田 和さん、野口 勝央さん)2021 年 リニューアルオープン (MITTS 三井 崇寛さん)

### ガイドブック



#### こだわり

開催期間中、持ち歩いて参考にできるよう、縦長のコンパクトなサイズで制作しました。ページを色分けして、情報がわかりやすく楽しい紙面を目指しました。

0	• • •	• • • • • •	• • • • •
広報チ <i>ー</i> フ	片谷	茜	
広報スタッフ	浜渦	京子・近藤 珥	恵
	岡元	初菜・片谷 洋	夫
	高松	玲亜	
アートディレクター	沼倉	智弓	
デザイナー	髙野	多恵子	
カメラマン	大舘	洋志	
アドバイザー	鶴田	和	
グッズ	村上 :	ひかり	
マガジンスタッフ	宮本	健太郎・福山	啓子
	黄	<b></b>	
0			0

# 提携事業

#### 浅草東洋館

#### 東洋館笑楽座

# 令和 3 年 3 月 24 日 (水) / 25 日 (木) 19:00 時開演

落語と太神楽曲芸、和楽といった日本独自の芸能を イラスト字幕を使って、誰でも楽しめる公演を披露。

<出演>

桂竹丸 (落語)

鏡味味千代 (太神楽曲芸)

きょうこ (和妻) 他 MC

主催:文化庁、独立行政法人日本芸術文化振興会、 公益社団法人落語芸術協会









# 全国展開

# 海外作品全国ツアー

大会の延期が決まる前、アシテジ世界大会・未来フェスティバルの開催に合わせて、海外招聘作品 15 作品を、全国 25 都道府県の文化施設約 36 箇所でツアー公演するという計画がありました。実行委員会の中では「全国展開部門」と位置づけ、日本全国の子どもたちが海外の作品に触れ、交流する機会を設けるために、公立文化施設をはじめ、地域のフェスティバルやコーディネーターと連携し、準備を進めていました。しかし、新型コロナウイルスの感染拡大

により、海外勢の入国は出来なくなり、予定していたツアーは全てキャンセルとなりました。

それでも、子どもたちのために素晴らしい作品、文化体験を届けたいという思いを持った全国の方々とのネットワークが出来たことは、素晴らしい財産だと感じています。これからのこどもあーと ACTION の動きとも連動しがら、今後の活動に繋げていきたいと考えています。

# ガイドブック



第20回7>〒ジ世界焓 2020 国際子治ン舞台芸術· 未来7-ステバン



# GUIDE BOOK

ガイドブック

Towards The Unknown - Beginning the Journey 子ども、文化。それが私たちの未来。

> The 20th ASSITEJ World Congress & International Performing Arts Festival for Children and Young People / MIRAI 2020



#### CONTENTS

Outline of the event · · · · · 3
$Greeting \cdots \qquad $
Ceremony 6
Official selection
Konnyakuza Concert / You and Me and the Space Between / Gerda's Room / PICCOLI / On the wolf's trail / PUNO (Letters To The Sky) / Hocus Pocus / I Will Be Everything··· / Welcome to the land of musical instruments / The Little Red Riding Hood / Princess Pyung-gang and Stupid Ondal / Own Two Feet / The house of small cubes - Tsumike no le / Yeh-Shen / ONE MORNING I LEFT / UNA / The Art of War / KOYO Mime Live /
The Circus Lights / Transform / EURIA (RAIN) / horses /
The World of Edo Marionettes / Fantasy Physical Dance / Buffalo Boy / LEO- the antigravity show
Fringe · · · · · · · · · · · · · · · · · · ·
Symposium · · · · · 55
Special The Noh Play HAGOROMO / NIHONBUYO -Japanese Classical Dance- NAGAUTA-Japanese Classical Music / RAKUGO Performance -SHOW "RAKUZA"
Special Forest of fun / Open Disco / Bon Dance / Sub stage · · · · · · 59
Residence Programme · · · · · · · · · 61
Member · · · · · 72
Credit
目次
開催概要 · · · · · 3
開催概要
開催概要 · · · · · 3
開催概要 3 挨拶 4 開会式・閉会式・プログラムネットワーク・総会 6 海外・国内招待作品
開催概要       3         挨拶       4         開会式・閉会式・プログラムネットワーク・総会       6
開催概要 3  挨拶 4  開会式・閉会式・プログラムネットワーク・総会 6  海外・国内招待作品 こんにゃくざのおんがくかい/小さな島のエヴァ/ゲルダの部屋 ピッコリ/オオカミの通り道/ブーノ〜空への手紙/ ホーカスボーカス/できないことは何もない/楽器の国へようこそ 赤ずきんちゃん/ピョンガン姫と間抜けなオンダル/はじめての1歩 つみきのいえ/イェシェン/アナのはじめての冒険 「うさぎとかめ」孫子の兵法/KOYOマイムライブ/サーカスの灯 何になるかな/エウリアの愛/ Horses 〜馬のように〜/ 江戸糸あやつり人形の世界/ファンタジー・フィジカル・ダンス
開催概要 3  挨拶 4  開会式・閉会式・プログラムネットワーク・総会 6  海外・国内招待作品 こんにゃくざのおんがくかい/小さな島のエヴァ/ゲルダの部屋 ビッコリ/オオカミの通り道/ブーノ〜空への手紙/ ホーカスポーカス/できないことは何もない/楽器の国へようこそ 赤ずきんちゃん/ピョンガン姫と間抜けなオンダル/はじめての1歩 つみきのいえ/イェシェン/アナのはじめての冒険 「うさぎとかめ」孫子の兵法/KOYOマイムライブ/サーカスの灯 何になるかな/エウリアの愛/Horses〜馬のように〜/ 江戸糸あやつり人形の世界/ファンタジー・フィジカル・ダンス バッファローボーイ/レオの小さなトランク 8
開催概要       3         挨拶       4         開会式・閉会式・プログラムネットワーク・総会       6         海外・国内招待作品         こんにゃくざのおんがくかい/小さな島のエヴァ/ゲルダの部屋         ビッコリ/オオカミの通り道/ブーノ〜空への手紙/         ホーカスボーカス/できないことは何もない/楽器の国へようこそ         赤ずきんちゃん/ピョンガン姫と間抜けなオンダル/はじめての1歩         つみきのいえ/イェジェン/アナのはじめての冒険         「うさぎとかめ」孫子の兵法/KOYO マイムライブ/サーカスの灯         何になるかな/エウリアの愛/Horses 〜馬のように〜/         江戸糸あやつり人形の世界/ファンタジー・フィジカル・ダンス         パッファローボーイ/レオの小さなトランク       8         国内フリンジ作品       36
開催概要 3  挨拶 4  開会式・閉会式・プログラムネットワーク・総会 6  海外・国内招待作品 こんにゃくざのおんがくかい/小さな島のエヴァ/ゲルダの部屋 ビッコリ/オオカミの通り道/ブーノ〜空への手紙/ ホーカスポーカス/できないことは何もない/楽器の国へようこそ 赤ずきんちゃん/ピョンガン姫と間抜けなオンダル/はじめての1歩 つみきのいえ/イェシェン/アナのはじめての冒険 「うさぎとかめ」孫子の兵法/KOYOマイムライブ/サーカスの灯 何になるかな/エウリアの愛/Horses〜馬のように〜/ 江戸糸あやつり人形の世界/ファンタジー・フィジカル・ダンス バッファローボーイ/レオの小さなトランク 8
開催概要       3         挨拶       4         開会式・閉会式・プログラムネットワーク・総会       6         海外・国内招待作品         こんにゃくざのおんがくかい/小さな島のエヴァ/ゲルダの部屋         ビッコリ/オオカミの通り道/ブーノ〜空への手紙/         ホーカスボーカス/できないことは何もない/楽器の国へようこそ         赤ずきんちゃん/ピョンガン姫と間抜けなオンダル/はじめての1歩         つみきのいえ/イェジェン/アナのはじめての冒険         「うさぎとかめ」孫子の兵法/KOYO マイムライブ/サーカスの灯         何になるかな/エウリアの愛/Horses 〜馬のように〜/         江戸糸あやつり人形の世界/ファンタジー・フィジカル・ダンス         パッファローボーイ/レオの小さなトランク       8         国内フリンジ作品       36
開催概要       3         挨拶       4         開会式・閉会式・プログラムネットワーク・総会       6         海外・国内招待作品       こんにゃくざのおんがくかい/小さな島のエヴァ/ゲルダの部屋         ビッコリ/オオカミの通り道/ブーノ〜空への手紙/ホーカスボーカス/できないことは何もない/楽器の国へようこそ赤ずきんちゃん/ピョンガン姫と間抜けなオンダル/はじめての1歩つみきのいえ/イェシェン/アナのはじめての冒険       「うさぎとかめ」孫子の兵法/KOYOマイムライブ/サーカスの灯何になるかな/エウリアの愛/Horses〜馬のように〜/江戸糸あやつり人形の世界/ファンタジー・フィジカル・ダンスパッファローボーイ/レオの小さなトランク       8         国内フリンジ作品       36         ワークショップ       49
開催概要       3         挨拶       4         開会式・閉会式・プログラムネットワーク・総会       6         海外・国内招待作品       こんにゃくざのおんがくかい/小さな島のエヴァ/ゲルダの部屋         ビッコリ/オオカミの通り道/ブーノ〜空への手紙/ホーカスボーカス/できないことは何もない/楽器の国へようこそ       赤ずきんちゃん/ピョンガン姫と間抜けなオンダル/はじめての1歩つみきのいえ/イェシェン/アナのはじめての冒険         「うさぎとかめ」孫子の兵法/KOYOマイムライブ/サーカスの灯何になるかな/エウリアの愛/Horses〜馬のように〜/江戸糸あやつり人形の世界/ファンタジー・フィジカル・ダンスパッファローボーイ/レオの小さなトランク       8         国内フリンジ作品       36         ワークショップ       49         シンポジウム       55         特別作品       能楽公演「羽衣」/日本舞踊×長唄 〜伝統舞踊と伝統音楽の共演〜/東洋館笑楽座       56         オープン事業
開催概要       3         挨拶       4         開会式・閉会式・プログラムネットワーク・総会       6         海外・国内招待作品       こんにゃくざのおんがくかい/小さな島のエヴァ/ゲルダの部屋         ビッコリ/オオカミの通り道/ブーノ〜空への手紙/ホーカスボーカス/できないことは何もない/楽器の国へようこそ赤ずきんちゃん/ピョンガン姫と間抜けなオンダル/はじめての1歩つみきのいえ/イェシェン/アナのはじめての冒険       「うさぎとかめ」孫子の兵法/KOYOマイムライブ/サーカスの灯何になるかな/エウリアの愛/Horses〜馬のように〜/江戸糸あやつり人形の世界/ファンタジー・フィジカル・ダンスパッファローボーイ/レオの小さなトランク       8         国内フリンジ作品       36         ワークショップ       49         シンポジウム       55         特別作品       能楽公演「羽衣」/日本舞踊×長唄 〜伝統舞踊と伝統音楽の共演〜/東洋館笑楽座       56         オープン事業       あそびの森/みんなのディスコ/盆ダンス/サブステージ       59
開催概要       3         挨拶       4         開会式・閉会式・プログラムネットワーク・総会       6         海外・国内招待作品       こんにゃくざのおんがくかい/小さな島のエヴァ/ゲルダの部屋         ビッコリ/オオカミの通り道/ブーノ〜空への手紙/ホーカスボーカス/できないことは何もない/楽器の国へようこそ       赤ずきんちゃん/ピョンガン姫と間抜けなオンダル/はじめての1歩つみきのいえ/イェシェン/アナのはじめての冒険         「うさぎとかめ」孫子の兵法/KOYOマイムライブ/サーカスの灯何になるかな/エウリアの愛/Horses〜馬のように〜/江戸糸あやつり人形の世界/ファンタジー・フィジカル・ダンスパッファローボーイ/レオの小さなトランク       8         国内フリンジ作品       36         ワークショップ       49         シンポジウム       55         特別作品       能楽公演「羽衣」/日本舞踊×長唄 〜伝統舞踊と伝統音楽の共演〜/東洋館笑楽座       56         オープン事業
開催概要       3         挨拶       4         開会式・閉会式・プログラムネットワーク・総会       6         海外・国内招待作品       こんにゃくざのおんがくかい/小さな島のエヴァ/ゲルダの部屋         ビッコリ/オオカミの通り道/ブーノ〜空への手紙/ホーカスボーカス/できないことは何もない/楽器の国へようこそ赤ずきんちゃん/ピョンガン姫と間抜けなオンダル/はじめての 1歩つみきのいえ/イェシェン/アナのはじめての冒険       「うさぎとかめ」孫子の兵法/KOYOマイムライブ/サーカスの灯何になるかな/エウリアの愛/Horse ~馬のように〜/江戸糸あやつり人形の世界/ファンタジー・フィジカル・ダンスパッファローボーイ/レオの小さなトランク       8         国内フリンジ作品       36         ワークショップ       49         シンポジウム       55         特別作品       能楽公演「羽衣」/日本舞踊×長唄 〜伝統舞踊と伝統音楽の共演〜/東洋館笑楽座       56         オープン事業 あそびの森/みんなのディスコ/盆ダンス/サブステージ       59         レジデンスプログラム       61         会場案内       62
開催概要       3         挨拶       4         開会式・閉会式・プログラムネットワーク・総会       6         海外・国内招待作品       こんにゃくざのおんがくかい/小さな島のエヴァ/ゲルダの部屋         ビッコリ/オオカミの通り道/ブーノ〜空への手紙/ホーカスボーカス/できないことは何もない/楽器の国へようこそ赤ずきんちゃん/ピョンガン姫と間抜けなオンダル/はじめての 1歩つみきのいえ/イェシェン/アナのはじめての冒険       「うさぎとかめ」孫子の兵法/KOYOマイムライブ/サーカスの灯何になるかな/エウリアの愛/Horses〜馬のように〜/         江戸糸あやつり人形の世界/ファンタジー・フィジカル・ダンスパッファローボーイ/レオの小さなトランク       8         国内フリンジ作品       36         ワークショップ       49         シンポジウム       55         特別作品       能楽公演「羽衣」/日本舞踊×長唄 〜伝統舞踊と伝統音楽の共演〜/東洋館笑楽座       56         オープン事業       あそびの森/みんなのディスコ/盆ダンス/サブステージ       59         レジデンスプログラム       61
開催概要       3         挨拶       4         開会式・閉会式・プログラムネットワーク・総会       6         海外・国内招待作品       こんにゃくざのおんがくかい/小さな島のエヴァ/ゲルダの部屋         ビッコリ/オオカミの通り道/ブーノ〜空への手紙/ホーカスボーカス/できないことは何もない/楽器の国へようこそ赤ずきんちゃん/ピョンガン姫と間抜けなオンダル/はじめての 1歩つみきのいえ/イェシェン/アナのはじめての冒険       「うさぎとかめ」孫子の兵法/KOYOマイムライブ/サーカスの灯何になるかな/エウリアの愛/Horse ~馬のように〜/江戸糸あやつり人形の世界/ファンタジー・フィジカル・ダンスパッファローボーイ/レオの小さなトランク       8         国内フリンジ作品       36         ワークショップ       49         シンポジウム       55         特別作品       能楽公演「羽衣」/日本舞踊×長唄 〜伝統舞踊と伝統音楽の共演〜/東洋館笑楽座       56         オープン事業 あそびの森/みんなのディスコ/盆ダンス/サブステージ       59         レジデンスプログラム       61         会場案内       62
開催概要       3         挨拶       4         開会式・閉会式・プログラムネットワーク・総会       6         海外・国内招待作品       こんにゃくざのおんがくかい/小さな島のエヴァ/ゲルダの部屋         ビッコリ/オオカミの通り道/ブーノ〜空への手紙/ホーカスボーカス/できないことは何もない/楽器の国へようこそ赤ずきんちゃん/ピョンガン姫と間抜けなオンダル/はじめての1歩つみきのいえ/イェシェン/アナのはじめての冒険       「うさぎとかめ」孫子の兵法/KOYOマイムライブ/サーカスの灯何になるかな/エウリアの愛/Horses〜馬のように〜/江戸糸あやつり人形の世界/ファンタジー・フィジカル・ダンスパッファローボーイ/レオの小さなトランク       8         国内フリンジ作品       36         ワークショップ       49         シンポジウム       55         特別作品       第※公演「羽衣」/日本舞踊×長唄 〜伝統舞踊と伝統音楽の共演〜/東洋館笑楽座       56         オープン事業       あそびの森/みんなのディスコ/盆ダンス/サブステージ       59         レジデンスプログラム       61         会場案内       62         チケット販売案内       68

# 第20回7シテジ世界焓 2000区除了治沙舞台芸術· 未来7-ス元バル

The 20th ASSITEJ World Congress & International Performing Arts Festival for Children and Young People / MIRAI 2020

2021.3.20  $\sim$  3.31 TOKYO/ NAGANO /online

2021 年 3 月 20 日(土)~ 3 月 31 日(水) 東京都・長野県・オンライン

#### Towards the Unknown – Beginning the Journey/ All our Future: Children and Culture

Towards the Unknown – Beginning the Journey/ All our Future: Children and Culture

Together we shall actualize an inclusive society where "no one is left behind" (cited from SDGs), filling the gaps for opportunities of children and young people to participate in cultural life and the arts, and there shall be no cultural discrimination or exclusion

「第20 回アシテジ世界大会」のテーマ
Towards the Unknown – Beginning the Journey
(未知なるものへ一旅の始まり)

「2020 国際子どもと舞台芸術・未来フェスティバル」のテーマ子ども、文化。 それが私たちの未来。 All our Future: Children and Culture

#### What is ASSITEJ?

アシテジとは

ASSITEJ (International Association of Theatre for Children and Young People) is a global organisation for the performing arts for children and young people which was founded in 1965 in Paris. The members of ASSITEJ are national centres, professional networks and individuals across more than 100 countries. ASSITEJ Japan Centre joined in 1979 as the 36th country.

フランス語による「国際児童青少年舞台芸術協会」(Association Internationale du Theatre pour l'Enfance et la Jeunesse)の略です。1965年7月、個人・専門劇団、演劇団体を世界的に結集し、児童青少年演劇の芸術を向上することで、世界の児童青少年の豊かな成長に寄与する事を目的に、パリで設立されました。現在、71 カ国にあるアシテジセンターのほか、プロフェッショナルネットワークや個人会員が100 カ国以上から加盟しています。アシテジ日本センターは1979年に36番目の加盟国として参加しました。

#### **ASSITEJ World Congress**

世界大会とは

ASSITEJ holds their World Congress every 3 years to establish the working plan for the next 3 years. An international festival is also organised to present a selection of the world's most outstanding works in theatre for children and young people. It is the most important event for ASSITEJ and those who are involved in theatre for young audiences. Every year between two World Congresses, ASSITEJ holds an Artistic Gathering which focuses on artistic exchange.

アシテジでは、3年ごとに、過去3年間を総括し、次の3年間の方向性を組織全体で話し合う"世界大会(World Congress)"という会議を開催します。また、世界大会に合わせて国際フェスティバルが開催され、世界中から選び抜かれた舞台作品が上演されます。今回は「2020国際子どもと舞台芸術・未来フェスティバル」として開催されます。

3

61

# The 20th ASSITEJ World Congress Tokyo



Executive Committee
President Katsuya Morita

We have yet to see the end of the pandemic, but the preparation for the 20th ASSITEJ World Congress is well underway for its opening on March 20th this year. We sincerely hope the outbreak will be contained by then, and believe as many of you from in and outside of Japan will be able to come and participate. For that, we have been actively preparing to welcome you, taking all possible measures and precautions. We promise you a reliable and safe event.

Groups and organizations in the field of culture and arts around the world are in critical condition mentally and financially, as we are unable to conduct gatherings and performances. On top of that, children are deprived of play, have less exposure to arts and culture, and are bottling stress. However invisible, these impacts on the children post-pandemic is immeasurable. Hosting the event now holds special significance. The enjoyment we receive from arts and culture is substantial and valuable – let's take this opportunity to once again spread this message from Japan. We look forward to your support and participation.

#### 第20回アシテジ世界大会実行委員会

アシテジ日本センター代表 森田勝也

世界的にコロナ禍が収まらないなかですが、第 20 回アシテジ世界大会の準備は着々とすすめられ、いよいよ 2021 年 3 月 20 日から開幕です。私たちは、それまでには何とかこのコロナ禍が収束することを願い、世界中から、そして日本の多くの人たちが参集できるようになることを信じています。そのために私たちは、可能な限りの対応と対策をしながら皆さんをお迎えしようとその準備に臨んできました。安心・安全な大会になることを約束します。

一年以上にわたるコロナ禍によって世界中の文化芸術に関わる諸団体は、集会や公演活動ができず、精神的にも経済的にも危機的状況に陥っています。またそれ以上に子どもたちはあそびの自由を奪われ、文化芸術に触れる機会もなくなり、心にストレスをためこんでいます。それは目には見えないだけにコロナ後の子どもたちへの影響ははかりしれません。その意味でもこの時期の世界大会は大きな意味をもっていると思います。人々が生きる上で文化芸術活動から享受できるものは大きく、そして大切なものであることを改めて日本から発信し、共有し、広げる機会にしようではありませんか。多くの皆さんの賛同とアシテジ世界大会への参集をお願いします。

このフェスティバルには、世界中から 1254 作品もの応募がありました。その中から、海外作品 26 作品、日本作品 5 作品を招待作品として選び、自主参加の作品も実に 110 作品の上演が予定されました。海外から 3000 人、国内から 1000 人が東京に集い、世界の子どもたちと舞台芸術について語り合い、日本の子どもの文化のレガシーを残せる大会にしたいと、大会のミッションを確認することからスタートしました。

2020年2月の新型コロナウイルスの感染拡大と緊急事態宣言。今まで経験したことのない荒波が、舞台芸術の世界に、子どもたちの暮らしの中に押し寄せてきました。それでも、このチャンスを活かしたいと思い、2021年3月に延期し、開催することを決めました。

コロナの勢いはおさまらず、フェスティバル全体を対面式とオンライン式の両面で行うハイブリット型になりました。アシテジ世界理事の来日もなくなり、会議部門は殆どオンラインで行われますが、フェスティバルに来た人たちがリアルに顔を合わせ、語り合う場は大切にしていきたいと準備をしてきました。

本格的な準備が始まって丸 2 年。コロナに振り回されながら も、子どもと舞台芸術との出会いを、子どもと文化の未来を、 決して諦めずに考え続けてきました。

「子ども、文化。それが私たちの未来。」

"世界"を視野にいれながら日本の子どもの文化について語りましょう。この間の歩みを確かめ合い、新しいステップへと大きく夢を広げていける語り合いをしていきましょう。

第20回アシテジ世界大会・東京実行委員会



# **Opening ceremony**

開会式 東京都開催

3月23日(火) Tue 23 March 18:30~20:05 ギャラクシティ・西新井文化ホール VN2-4

TOKYO / Galaxcity - Nishiarai Cultural Hall

The opening ceremony of the Congress to be held in Tokyo/Nagano. Starting with the performance "Daikokumai(The dance of Daikoku) + Shishimai(The dance of Lion)" by ARAUMAZA Jananese Folk Entertainment Performance Company, members of Wadaiko(Japanese drum) club of Tokyo Metropolitan Adachi East High School will show Wadaiko performance. After the greeting from the congress organizer, please enjoy the Kyogen dance "Boshibari(Stick binding)" by Zenshinza Theater.

- < Organization / Direction > Tatsuo Suzuki
- < Organizer > Hiromi Yokozawa
- < Production > Makiko Kabayama

東京・長野で開催される本大会のオープニングセレモニーです。民族歌舞団 荒馬座による「大黒舞+獅子舞」に続いて、東京都立足立東高校・和太鼓 部のみなさんが和太鼓演奏を披露します。大会主催者からのご挨拶の後、 劇団前進座の狂言舞踊「棒しばり」をお楽しみください。

- <出演>民族歌舞団荒馬座/劇団前進座
- <舞台進行>鈴木龍男
- <総合司会>横澤寛美
- <制作>椛山麻季子

Project organized and co-organized by the Japan Expo, 2020
Organized by: Agency for Cultural Affairs / Japan Arts Council / The 20th ASITEZI World Congress Tokyo Executive Committee

令和2年度日本博主催・共催型プロジェクト 「日本の文化、伝統に出会う」 主催:文化庁/独立行政法人日本芸術文化振興会/

第 20 回アシテジ世界大会・東京実行委員会











# **Closing ceremony**

閉会式 長野県開催

3月31日(水) Wed 31 March 18:30~20:30 諏訪市民文化センター・ホール VN10-4 NAGANO / Suwa-shi Cultural Center - Hall

Displaying the successful conclusion, this is the event which almost all participants get together.

The closing ceremony is to be held at Suwa city in Nagano prefecture. Starting withFestival Entertainment Group Dengakuza, performances by the creative groups in Nagano prefecture and voices from the children experiencing Corona virus crisis shall be conveyed. The site for the next congress shall be announced in the ceremony. <Performer>

Festival Entertainment Group Dengakuza/ Ginyudajin / Masyu & Kei / Aftab Bhavan Shinshu Hiroyuki Shimizu/ Senzenmon One APerson Theater Noriyoshi Nakano

- <Writer/Director> Tsubame Kusunoki
- <Producer> Kei Goto

本大会の掉尾を飾り、参加者のほとんどが集まるイベントです。閉会式は長 野県諏訪市で開催します。歌舞劇団田楽座をはじめとする地元長野県の創 造団体による、パフォーマンスとともに、コロナ禍を過ごす子どもの声をお届 けします。セレモニーでは、次回開催地を発表します。

<出演>お祭り芸能集団 田楽座/吟遊打人/ましゅ& Kei /

アフタフ・バーバン信州 清水洋幸/せんぜもん一人劇場 中野哲良

<作・演出>くすのき燕

<制作>後藤圭

Project organized and co-organized by the Japan Expo, 2020
Organized by: Agency for Cultural Affairs / Japan Arts Council / The 20th ASITEZI World Congress Tokyo Executive Committee

令和 2 年度日本博主催・共催型プロジェクト 「日本の文化、伝統に出会う」 主催:文化庁/独立行政法人日本芸術文化振興会/

第20回アシテジ世界大会・東京実行委員会











0 - 1

# **PROGRAM**

🤲 Official Selection

 $O-1 \sim O-28$ 

# 海外・国内招待作品

★対面式

☆海外作品上映会アフタートーク付き

### 東京会場

VNI としま区民センター

VN2 ギャラクシティ

VN4 花まる学習会王子小劇場

VN5 シアターグリーン

VN6 R's アートコート

VN7 矢来能楽堂

VN8 浅草東洋館

## 長野会場

VN9 茅野市民館

VN10 諏訪市文化センター

VNII 下諏訪総合文化センター





国名







使用言語 は言葉がわからなくて も楽しめる作品です。

対象年齢

₩ Official Selection

# Konnyakuza Concert Opera Theater Konnyakuza

#### The world of words and music

Konjacza has been particular about how to sing Japanese. I have been carefully singing the poems of various poets from all over the world, reading songs composed by the composers HayashiMitsu and Kyoko Hagi. With the body expression and rich music cultivated in opera, we invite you to the world of stories. The individuality of each singer shines in the concert, and there is a charm that is different from opera. It is a stage unique to Konjacza that can be enjoyed by children and adults with the addition of unique body movements.





©2021 The Silver Donkey

#### こんにゃくざのおんがくかい オペラシアターこんにゃく座

#### ことばと音楽が織りなすうたの世界

日本語をいかに歌うかにこだわってきたこんにゃく座。古今東西、様々な詩人の詩に、座付 き作曲家の林光と萩京子が作曲したうたたちをソングと読んで大切に歌い継いできました。 オペラで培った身体表現と豊かな音楽で、物語の世界へ誘います。コンサートは歌役者ひと りひとりの個性が光り、オペラとはひとあじ違う魅力があります。ユニークな体の動きも加わり、 子どもから大人まで楽しめる。こんにゃく座ならではのステージです。

文化庁文化芸術振興費補助金(国際芸術交流支援事業) 独立行政法人日本芸術文化振興会/公益財団法人東京都 歴史文化財団 アーツカウンシル東京







#### ★対面式

Toshima Civic Center(multipurpose hall) 東京都 / としま区民センター - 多目的ホール VN1-2

Mon 22 March 19:00 3/23 🐼 Tue 23 March

13:00 / 17:00









# O-2 You and Me and the Space Between

#### Terrapin in association with Aichi Arts Centre

Part play, part picture book and all wondrous fun, a magical story of an adventurous girl unfolds as an illustrator draws the pictures live in front of our eyes!

"The island is sinking. Its adults are useless. Time for the kids to save the day. The island of Proud Circle springs a leak and its citizens must find a way to stop their home from disappearing. It takes the wondering mind of a child to save the island, its people and their ways. Adventures happen, horizons widen and important things are said.

From the mind of Australia's most accomplished children's playwright, Finegan Kruckemeyer, comes a tale of wonder and invention that is brought to life in unexpected ways. Storytelling, choreographed projections and live drawn animation explore the plight of refugees fleeing environmental change through the eyes of a

Step inside a picture book with an artist and storyteller, amidst a paper set that is cut, ripped, patched and manipulated live to create a world of play."





#### 小さな島のエヴァ テラピン・パペット・シアター

#### リアルタイムで描かれる魔法のような絵本の舞台

エヴァの住む島は、水漏れを起こして沈みつつあります。そこで「大人は頼りにならない!」 と子どもたちが島を救うために立ちあがりました。子どもたちの心が島と住人を救う鍵です。 舞台上でリアルタイムに描かれるアニメーションが、観客を楽しい冒険の世界にいざないます。 絵本のようなお芝居のような、不思議なスタイルの舞台です。オーストラリアを代表する児童 劇作家フィニーガン・クラッケメイヤーの作品世界をぜひ味わってください。

文化庁文化芸術振興費補助金(国際芸術交流支援事業) ☆ スペスの加州天真 間別筆(国際云南交流支援事業) 独立行政法人日本芸術文化振興会/公益財団法人東京都 歴史文化財団 アーツカウンシル東京







#### ☆海外作品上映会アフタートーク付き

Toshima Civic Center (conference room 701-703)

としま区民センター・会議室 701 ~ 703 VN1-9 3/23 **②** Tue 23 March 15:00

Australia







#### ₩ Official Selection

# Gerda's Room Osobnyak Theatre

#### Did Gerda really go out to look for Kai?

The production immerses the audience into the world of things and words from "The Snow Queen", the world of enchanting sounds and puppets. In this story, Gerda is completely alone. The audience sees her just on her own. Like a mirror, she reflects other characters, and follows these reflections. Gerda is still young in her memory. She doesn't notice the passage of time, and keeps looking for Kai.

"Gerda's Room" is about searching and fearing. It's about eternity that is always ready to meet us. We put this eternity into a word, and breathe it out on a frozen window so we can finally see something dear to us which we have long lost. Like our body, a room we inhabit reflects everything we have experienced. We all know the fairy tale about Gerda's journey. But did Gerda really go out to look for Kai? People, roads, strange places... What if she embarked on that journey without actually leaving her room? Gerda's story is in brackets, turned into a metaphor. It's a visual and conceptual transformer. The production is a memory play reconstructing the past. And it's open to interpretation.





©2021 Anna Ostashver

ゲルダの部屋 オソブニャク・シアター

#### 仕掛けがいっぱい不思議な世界

「雪の女王」を原作にした、恐怖と永遠についての物語です。ロシアの冬を思い起こさせるよ うなモノトーンの部屋で、ゲルダはカイを探し求めます。ゲルダの部屋は仕掛けがいっぱい。 壁から出てくる机、穴から這い出てくる蛇、天井からぶら下がったロープにつかまれば、ゲル ダの旅が始まります。幻想的で、すこしこわい、ゴシックホラーの雰囲気が強く出ているので、 年長の子どもたちのほうがより楽しめるでしょう。

文化庁文化芸術振興費補助金(国際芸術交流支援事業) 独立行政法人日本芸術文化振興会/公益財団法人東京都 歴史文化財団 アーツカウンシル東京







#### ☆海外作品上映会アフタートーク付き

Toshima Civic Center (conference room 701-703) としま区民センター・会議室 701 ~ 703 VN1-9

3/26 Fri 26 March 17:00









# PICCOLI

# compagnia rodisio (a production compagnia rodisio/

#### a production compagnia rodisio/ Espace600 Grenoble France)

A man and a woman carry big branches. They light the fire and keep it alive, but the wind and snow come and they have to leave for a long journey. When snowflakes have turned into cherry petals then they can stop and build their home. When the house is done the night comes. They know they have to play with it, they have to play with the wolves to overcome their fear and so they can finally to sleep. At the same time there was a child walking on the woods.

He was lost, he was hungry and cold. He'd been walking for days and nights. But suddenly, deep into the woods, the little child saw a little light. It was the light of a house, so he came close and knocked the door.

The man and the woman wake up and very happy go to open





©2021 PICCOLI /ピッコリ

#### ピッコリ コンパーニア・ロディージオ

#### 森のなかの小さな明かり

カンパニーの特徴である、素晴らしいビジュアル性を堪能できる作品です。暗闇のなか、丸く 浮かび上がる仄明るい空間で物語は進みます。一組の男女が大きな枝を持って現れ、うつろ う自然に翻弄されながらもふたりの家を建てます。 焚火のあかりのような暖かな空間で演じら れる日々の営みは、どこか懐かしく、夢のようです。そこへ現れる新たな登場人物は誰でしょう? 自然のなかで生きる、人間の恐れや喜びが描かれています。アジア初演。

文化庁文化芸術振興費補助金(国際芸術交流支援事業) 独立行政法人日本芸術文化振興会/公益財団法人東京都 歴史文化財団 アーツカウンシル東京







#### ☆海外作品上映会アフタートーク付き

Toshima Civic Center (conference room 701-703) としま区民センター・会議室 701 ~ 703 VN1-9

3/24 Wed 24 March 17:00









#### ₩ Official Selection

# On the wolf's trail Pozorište mladih Novi Sad/ Youth theater Novi Sad

Buck, a well-grown dog with thick hair, lived in a big house in the sun-kissed Santa Clara Valley.

He had a happy life, and nothing was missing.

Until...Why is it so cold here? What is the white matter that falls from the sky on my snout? Where are they all rushing to? Which animal gives such a smell? Why are they wrapping my body with belts? And what is howling from far away? On the wolf's trail is the authors adaptation of the famous novel Call of the Wild by Jack London. It is a theater composition for six actors, one drummer, ten microphones, four dogs, and one deer that tells the story of the domesticated dog that was stolen and sold to work in Yukon province in Canada during the Gold rush on Klondike. So to the place, where are roots of Bucks breed. Bucks journey is full of distress and surprises - not only from unknown environment but also from his so far unknown spirit. Jakub Maksymov, director





©2021 Thandile Zwelibanz

# オオカミの通り道ノヴィサド青少年劇場

#### 君の魂の声を聴け

飼い犬のパックは、ある日悪い男にさらわれて、そり犬として売られてしまいます。 ゴールドラッ ジュにわくカナダの荒野でそりを引き続ける過酷な生活。 パックは、自分でも気づかなかった 魂の呼び声に応え、たくましく変わっていきます。 人形遣いの手で、生き生きと操られるパッ クは、本物の犬のように走り、吠え、運命と聞います。 2019 年9 月セルビア国際児童演劇フェ スティバルにて最優秀演出賞、演技・人形操作技術賞を受賞 した見ごたえのある舞台です。

文化庁文化芸術振興費補助金(国際芸術交流支援事業) 独立行政法人日本芸術文化振興会/公益財団法人東京都 歴史文化財団 アーツカウンシル東京







#### ☆海外作品上映会アフタートーク付き

Toshima Civic Center (conference room 701-703) としま区民センター・会議室 701 ~ 703 VN1-9

3/24 **Wed 24 March** 19:









12

# PUNO (Letters To The Sky) Papermoon Puppet Theatre

#### to remember our beloved ones who already flew to the sky...

Tala is a little girl trying to cope with the departure of her beloved father, Puno. As a young girl who has lost her father, she feels anger and sadness at the thought of being neglected by her loved one. She writes about her feelings towards her father, but she could never sent it...

Until, she finds out that the souls of your loved ones remain around for 40 days after their death. Now, Tala has the chance to live alongside her father Puno for 40 more days. Will Tala share with Puno the contents of her letter? How will she say goodbye to him at the end of 40 days?



#### プーノ~空への手紙~

ペーパームーン・パペット・シアター

さよなら、大好きなパパへ

少女プノは、パパが大好き。ふたりはいつも一緒です。しかし、パパは病気で亡くなってし まいました。プノは死を受け入れられず、怒りに囚われています。父親の魂が天に上るまでの 40 日間を共に過ごすことになったプノは、愛するパパに別れの手紙を渡せるでしょうか?幾人 もの人形遣いが生み出す繊細なパペットの表情、仕草から、一瞬たりとも目を離すことがで きません。遣い手と人形が自然にやり取りをするシーンが印象的です。

文化庁文化芸術振興費補助金(国際芸術交流支援事業) 独立行政法人日本芸術文化振興会/公益財団法人東京都 歴史文化財団 アーツカウンシル東京







#### ☆海外作品上映会アフタートーク付き

Toshima Civic Center (conference room 701-703) としま区民センター・会議室 701 ~ 703 VN1-9

3/25 Thu 25 March







15:00



₩ Official Selection

## Hocus Pocus Philippe Saire

Hocus Pocus, a 45-minute work for two performers intended for children aged 7+, is mainly based on the power of images, their magic and the sensations they provoke.

The very unique set design allows for a playful and magical exploration into a game of appearances and disappearances of both bodies and accessories.

The brotherly relationship that develops between the two dancers constitutes the show's guiding thread, both through the hardships they create for themselves to toughen themselves up and through the fantastic voyage that subsequently awaits



©2021Hocus Pocus /ホーカスポーカス

#### ホーカスポーカス フィリップ・セール

#### 暗闇からこんにちは!

ふたりのダンサーが、いままで誰も見たことがないような不思議な舞台装置を使って子どもた ちの感覚を刺激します。暗闇に浮かんでは消える肉体と小道具は、魔法のようです。観客は わくわくした気持ちでストーリーに引き込まれていきます。ふたりは兄弟のように仲良くなり、 強くなるために自ら選んだつらい試練と幻想的な旅を乗り越えます。美しく映像的であると同 時に、強い身体性を感じられる作品です。

文化庁文化芸術振興費補助金(国際芸術交流支援事業) 独立行政法人日本芸術文化振興会/公益財団法人東京都 歴史文化財団 アーツカウンシル東京







#### ☆海外作品上映会アフタートーク付き

Toshima Civic Center (conference room 701-703) としま区民センター・会議室 701 ~ 703 VN1-9

3/25 🔂 Thu 25 March



Switzerland

Non verbal

14

# I Will Be Everything…

New International Encounter working with Nordland Teater, Odsherred Teater, Theater Mummpitz, Teatr Figur, Theater am Ortweinplatz and Sala Baratza Aretoa

An international project working locally in schools and communities across Europe to tell the story of the future in 50 years time, through the eyes of children

An international project working locally in schools and communities across Europe to tell the story of the future in 50 years time, through the eyes of children.

I Will Be Everything... asks children to imagine the future.

Their future selves and the future world. Their future lives and future dreams. Their town, their life, their family, Marchbe their job, their football team or even a future environmental or political reality...

Fantastic and fabulous stories created by the 3,000 children through workshops have been transformed into an immersive theatre show and exhibition touring across Europe and beyond.

Featuring projection, shadow puppetry and animation!



©2021 | Will Be Everything /できないことは何もない

#### できないことは何もない ニュー インターナショナル エンカウンター (NIE)

#### ミライはわたしの手の中に

7カ国 3,000 人の子どもたちとおこなったワークショップを基にした舞台です。子どもたちに自由に想像してもらった「未来」を、演者たちが表現します。50 年後の子どもたちは、どんな世界に生きているのでしょう? プロジェクションマッピングや影絵、アニメーションを使った表現が印象的な作品です。にぎやかで明るい舞台に子どもたちも笑顔! デンマーク、ノルウェー、ドイツ、オーストリア、スペイン、ボーランドの共同制作です。

文化庁文化芸術振典費補助金(国際芸術交流支援事業) 独立行政法人日本芸術文化振興会/公益財団法人東京都 歴史文化財団 アーツカウンシル東京







#### ☆海外作品上映会アフタートーク付き

Toshima Civic Center (conference room 701-703)

としま区民センター・会議室 701 ~ 703 VN1-9

3/25 7 Thu 25 March 19:00











₩ Official Selection

# Welcome to the land of musical instruments

#### **ROBA Music Theatre**

#### In search of fun and peaceful sounds.

"The fantastic ship travels through a country of unknown musical instruments in search of fun and peaceful sounds.

The sound of the wind and the sound of rain are also musical instruments. Concerts always start on earth.

A soft and warm tone, an interesting fantasy (handmade) instrument And a stage like singing, dancing and puppetry.

Musical instruments that create human bonds connect the past, present, and future. The secrets of such instruments are played seriously and entertainingly by the Roba Music Theater.

Perhaps future instruments will appear in the final scene.

In search of fun and peaceful sounds."





©2021 ROBA Music Theatre

#### 楽器の国へようこそ ロバの音楽座

#### ココロときめくヘイワな音を

"空想の船は、ココロときめくヘイワな音を求めて知らない国へと旅にでる 風の音や雨の音も楽器。みみをすますといつも地球はコンサート 柔らかな昔の楽器と面白い空想楽器、そして歌や踊り人形劇のようなステージ 人と人との絆を生み出す楽器は、過去、現在、未来をもつなぐ ロバの音楽座は、そんな楽器のヒミツを、真面目にそして面白く演奏し演じる ラストには、未来の楽器が登場するかもしれないね ココロときめくヘイワな音を求めて"

文化庁文化芸術振興費補助金(国際芸術交流支援事業) 独立行政法人日本芸術文化振興会/公益財団法人東京都 歴史文化財団 アーツカウンシル東京







#### ★対面式

Toshima Civic Center (small hall)

としま区民センター・小ホール VN1-1

3/25 Thu 25 March 3/26 Fri 26 March





11:00 / 15:00



# O-10 The Little Red Riding Hood **GOMPA Project**

A performance for brave children.

The Little Red Hiding Hood is a performance for children created by the Brazilian group Projeto GOMPA. With hybrid language, which mixes theater, dance and music, the performance directed by Camila Bauer is an experience that delights children and adults in different ways, with a proposal of different layers of perception. The text is written by Joël Pommerat, one of the most important French playwrights of contemporary times, recognized for his lyrical and thought-provoking narratives, which in this work brings out a kind of "initiation into fear", as the author himself defines, in which the child faces the risks and, at the same time, the fascination with the unknown represented by the road - or metaphorically the very passage from child to adult life.

The Brazilian group brings its own language to the performance, putting the children into an atmosphere where they can feel fear and, at the same time, they can understand and feel its safe since it's all fictional. Theater is presented as a safe place for new experiences, for the encounter of the child to the risk of facing the unknown, dealing with the fascination of the passage from the childish universe to the adult one





赤ずきんちゃん ゴンパ・プロジェクト

演劇、ダンス、音楽を組み合わせたハイブリッドな表現技法により、演出された「赤ずきんちゃ ん」です。とても洗練された舞台で、いわゆる子どものためのおとぎ話を想像された観客は、 驚きとともに素晴らしい体験を得るでしょう。未知なる世界への恐れと、抗いがたい誘惑は、 同時に成立します。子どもが大人になる過程をグリム童話の骨組みを使って描いた脚本です。 全編、柔らかい音楽のようなフランス語の響きで語られます。

文化庁文化芸術振興費補助金(国際芸術交流支援事業) 独立行政法人日本芸術文化振興会/公益財団法人東京都 歴史文化財団 アーツカウンシル東京







#### ☆海外作品上映会アフタートーク付き

Toshima Civic Center (conference room 701-703) としま区民センター・会議室 701 ~ 703 VN1-9

3/26 @ Fri 26 March 11:00









₩ Official Selection

# Princess Pyung-gang and Stupid Ondal

#### Bookteller's Quilt

#### Every object around us can be a toy

"Princess Pyeonggang and Stupid Ondal" is originally a Korean folktale that tells the love story between a great general - once was a fool - and a great princess - once was a whiner.

Princess Pyeonggang, the daughter of the 25th King Pyeongwon in Goguryo, used to be a crybaby. In order for her to stop crying, the king kept telling her that she would get married with Ondal, who was widely known for his foolishness in the country.

In a town adjacent to the castle, there lived Ondal scratching a living and taking care of his blind mother. People called him stupid or foolish because he always smiled even though anyone would do harm to him.

Grown up, the princess insisted that she should get married with Ondal as promised with her father. The king was so furious about it, but he could not change her decision at all. She went out of the castle and found Ondal.

She did her best to carefully nurture his talent, and trained him armed with intelligence and leadership. Recognizing Ondal's excellence and outstanding competence, the king dubbed Ondal a general. With the King's permission, Princess Pyeonggang and General Ondal finally came to get married.

General Ondal kept his name as a great general though his leadership in a number of wars. One day, however, he got shot and dead. His body was put into the coffin, but no one could move it. As Princess Pyeonggang arrived to see the coffin, it started moving and back to his home, Goguryo.



②2021 Princess Pyung-gang and Stupid Onda /ピョンガン姫とまぬけなオンダル

#### ピョンガン姫とまぬけなオンダル ブックテラーズ・キルト

#### 泣き虫姫とオンダルの韓国英雄譚

昔々、泣き虫のお姫様がいました。「いつまでも泣いているとまぬけのオンダルと結婚しなくて はいけないぞ」と言われて育ったお姫様は、大きくなって本当に「オンダルと結婚する!」と 言い出しました。でも、まぬけなオンダルは本当は心やさしい青年。さてさてふたりの運命は? 有名な昔ばなしをふたりの役者が演じます。使う道具は、かなづちや霧吹きといった、お家 の中にあるものばかり。ウクレレやカホンを使った生演奏も楽しい舞台です。

文化庁文化芸術振興費補助金(国際芸術交流支援事業) 独立行政法人日本芸術文化振興会/公益財団法人東京都 歴史文化財団アーツカウンシル東京







#### ☆海外作品上映会アフタートーク付き

Toshima Civic Center (conference room 701-703) としま区民センター・会議室 701 ~ 703 VN1-9

3/26 Fri 26 March 15:00









18

## O-13

₩ Official Selection

# Own Two Feet Midnight Theatre Company

#### A beautiful Bunraku inspired puppet show about courage.

Inspired by both Bunraku and object manipulation puppetry styles, Own Two Feet is a visually stunning show with a folk and country inspired musical score. It's main character, Ninna (played by a bunraku style puppet), is an adventurous and mischievous 5 year old girl who is experiencing life in the countryside for the first time. Puppet animals, including Snati the dog, a cow and a pig, are created from objects already on stage and they help Ninna find courage in new experiences.





#### はじめての1歩 ミッドナイト・シアターカンパニー

#### ニンナは5歳、初めての田舎暮らし

ニンナは冒険といたずらが好きな5歳の女の子。お父さんの手を離れて、犬のスナティたちと はじめての田舎暮らし。文楽とオブジェクトパペトリーにインスパイアされて作られた『はじめ ての1歩』は、フォークやカントリーミュージックをベースにした音楽とともに綴られるヴィジュ アル性の高い作品。アイスランド国内にて、多数の賞を受賞。

文化庁文化芸術振興費補助金(国際芸術交流支援事業) 独立行政法人日本芸術文化振興会/公益財団法人東京都 歴史文化財団 アーツカウンシル東京







#### ☆海外作品上映会アフタートーク付き

Toshima Civic Center (conference room 701-703) としま区民センター・会議室 701 ~ 703 VN1-9

3/26 Fri 26 March 19:00







₩ Official Selection

# The house of small cubes - Tsumike no le

#### **Spectabilis**

#### The house of small cubes, Shadow THEATRE - Puppet and Object Theater – from 6 years old onwards

In a town where water keeps rising, peculiar houses are built: each time a house is flooded: its inhabitant builds a new floor on top of it. There are thus, underwater. houses built on top of each other, looking like small piled up cubes. Over time, inhabitants have left the town, and today only an old man continues to resist the sea level rise. One day his tools sink into deep water so he puts his diving suit on and dives into the water to the lower floors in order to get them back. Every room sings him a song reminding him of the past, bringing back shifting memories from the depths. Therefore an immersion into the past begins for the old man, a delicate flashback, as if the film of an entire life unfolded before our eyes... a film going backwards.



@2021Cedric

#### つみきのいえ スペクタビリス

#### 過去の思い出をよみがえらせていく

水の中には、まるで積み木のように家が積み重なっている。潜っていくうちに見えてくるひとつ ひとつの部屋が、過去の思い出をよみがえらせていく。繊細なフラッシュバックとともに、男 は過去の世界へ入っていき、彼の人生がまるで映画を逆再生するように私たちの前で紐解か

文化庁文化芸術振興費補助金(国際芸術交流支援事業) 独立行政法人日本芸術文化振興会/公益財団法人東京都 歴史文化財団 アーツカウンシル東京







#### ☆海外作品上映会アフタートーク付き

Toshima Civic Center (conference room 701-703) としま区民センター・会議室 701 ~ 703 VN1-9

3/27 Sat 27 March

19:00









20

# O-15 Yeh-Shen China National Theatre for Children

Yeh-Shen, an orphan, saved a little fish by the riverside. Yeh-Shen and the fish who had a magical power became friends who helped each other. However her greedy step mother tried to take the special power away from the fish and ended up killing it. Yeh-Shen was grieved, but the soul of the fish was always beside her and watched over her.

Puppeteers manipulate large puppets on the stage.

Please focus on dynamic scenery of a river and stage equipment that changes, too.





©2021 Yeh-Shen /イェシェン

#### イェシェン 中国児童芸術劇院

#### 世界最古のシンデレラ物語

両親を亡くしたイェシェンは、川辺で小さな魚を助けました。不思議な力を持った魚とイェシェ ンは、互いに助け合う親友になります。ところが、欲張りな継母が魚の特別な力を奪おうとし て殺してしまいます。イェシェンは悲しみますが、魚は魂になってもイェシェンのそばで見守っ てくれていたのです。この舞台は、人形使いが大きなお人形を操作して舞台に上がります。ダ イナミックな川の表現や、変化する舞台装置にも注目してみてください。

文化庁文化芸術振興費補助金(国際芸術交流支援事業) 独立行政法人日本芸術文化振興会/公益財団法人東京都







#### ☆海外作品上映会アフタートーク付き

Toshima Civic Center (conference room 701-703) としま区民センター・会議室 701 ~ 703 VN1-9

3/27 Sat 27 March 11:00









₩ Official Selection

# **ONE MORNING** I LEFT / UNA

### TEATRO DE OCCASIÓN

"One morning I left" it is Ana's trip to nature, through imagination. A journey of colors, sounds, landscapes and animals, in which boys and girls will be invited to discover, feel and enjoy.'

Ana decides to travel and to get it is helped by Gaspar and accompanied by Oliver. In her trip she discovers what inhabits in nature; the sun, the flowers, butterflies and several places. We see Ana milking a cow in the countryside, flying on a big bird over the desert, diving among bubbles and exploring the jungle. Cloths, buckets, funnels and ropes support this trip, giving life magically. Music, sounds and live songs – guitar, clarinet, percussion instruments and effects - are the text of the play.

This conjunction of elements make "One morning I left..." an intimate and captivating show.





アナのはじめての冒険 テアトロ・デ・オカシオン

アナといっしょに旅しよう!

「ある朝、わたしは冒険の旅に出た。」大きな鳥に乗って砂漠を横断したり、シャボン玉に飛 び込んだり、ジャングルを探検したり…旅の途中ではパケツやロープが魔法のように助けてく れる。きみも素敵なラテン音楽にのってアナと一緒に旅にでよう!

文化庁文化芸術振興費補助金(国際芸術交流支援事業) 独立行政法人日本芸術文化振興会/公益財団法人東京都 歴史文化財団 アーツカウンシル東京







#### ☆海外作品上映会アフタートーク付き

Toshima Civic Center (conference room 701-703) としま区民センター・会議室 701 ~ 703 VN1-9

3/28 @ Sun 28 March 11:00









22

₩ Official Selection

# O-17 The Art of War

# CHILDREN'S ART THEATRE OF CHINA WELFARE INSTITUTE

Play 'The Art of War' was created from children's perspective, with physical performance, to elaborate the Aesop's fable 'The Turtle and the Rabbit' in a very funny way.

Book 'The Art of War' was composed of 13 articles with totally 6000+ characters, which was written by Sun Wu, a famous strategist living in the Spring and Autumn Period of China (770B.C.- 453B.C.), known as the Canon in the military field. It boasts its long history to record military-related stories and has its profound effect. Even at present, it stays and keeps on enlightening us.

Play 'The Art of War' was created from children's perspective, with physical performance, to elaborate the Aesop's fable 'The Turtle and the Rabbit' in a very funny way.





©2021The Art of War /「うさぎとかめ」孫子の兵法

# 「うさぎとかめ」孫子の兵法 中国福祉会児童芸術院

#### 中国版イソップ童話 勝つのはどっち?

自分の力を過信して油断したうさぎと、地道に歩き続けたかめ。有名なイソップ童話を中国の クリエイターがアレンジしました。孫氏の兵法にならった駆け引きを楽しみましょう。掛け軸 を使ったシンプルな舞台装置とカラフルなスポット照明に、現代的なデザインの衣装が映えま す。子どもの視点で描かれた2匹の動物は、大きな動きがとてもコミカル! 言葉はわからなく ても、思わずわらってしまいます。

文化庁文化芸術振興費補助金(国際芸術交流支援事業) 独立行政法人日本芸術文化振興会/公益財団法人東京都 歴史文化財団 アーツカウンシル東京







## ☆海外作品上映会アフタートーク付き

Toshima Civic Center (conference room 701-703)

としま区民センター・会議室 701 ~ 703 VN1-9





3/28 Sun 28 March 15:00





₩ Official Selection

# **KOYO** Mime Live PANTOMIME UNIT TORIO

#### A funny encounter of body and things

A funny, physical performance. An imagination-provoking piece that hopefully makes people feel warm inside even after the performance...These are the visions I had when I was making KOYO Mime Live. For over 30 years since I started pantomime, I have aspired to make an act that is both funny and heartwarming, by using not only body movement but also bringing in the elements of magic and puppetry. After watching my performance, the familiar things may look different, or move different. And that... is what I wish for.



©2021 KOYO Mime Live / KOYO マイムライブ

# KOYO マイムライブ パントマイムユニット TORIO

#### カラダとモノの笑える出会い

言葉に頼らない体を使った動きによる笑いの作品。想像力をかきたてるような作品。そして何 よりも見終わったあと少しでも心を暖かくさせてくれるような作品。こんな思いでこの「KOYO マイムライブ」を作りました。パントマイムを始めて 30 年以上、体を使うだけでなくマジック や人形劇の要素も取り入れて笑って笑って少しホロリとするような作品作りを心がけています。 この作品を見終わったらいつものなんでもない生活や見慣れたものがお客さんの中で少しでも 違ったように見えたり動き出したりするといいなあ。

文化庁文化芸術振興費補助金(国際芸術交流支援事業) 独立行政法人日本芸術文化振興会



#### ★対面式

Chino Cultural Complex (Concert hall)

茅野市民館・コンサートホール VN9-3

3/28 @ Sun 28 March 17:00

3/29 Mon 29 March 11:00 / 15:00









24

₩ Official Selection

# The Circus Lights La strada company

# Japanese paper × CLOWN × Lights

"The Circus Lights" is a new type of storytelling created by Japanese clowns Chang & LONTO. This paper craft is used in the other props, too. It is a nonverbal stage but visionally impressional, and the bittersweet story touches any age audience's heart.



©2021 The Circus Lights /サーカスの灯

# サーカスの灯(ひ) ラストラーダカンパニー

和紙×道化師×灯

いつかどこかへ行っちゃうの?ある日、サーカスを乗せて汽車がやって来た。真っ白なサーカ スの中でおこる色々なこと。ひとつの雨粒が大海原になったり、大きな紙でかくれんぼ。たく さんの筒の上でおっとっと、紙の人形も動き出す。あれれ?星が落っこちてきちゃった。... ど うしよう?サーカスはいつの間にかやって来て、いつの間にか去っていく。あたりまえのことが、 あたりまえでなくなってしまうかのように…。

文化庁文化芸術振興費補助金(国際芸術交流支援事業) 独立行政法人日本芸術文化振興会

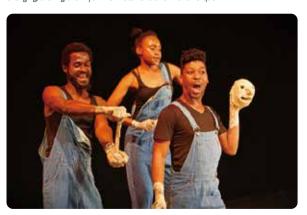


# ₩ Official Selection

# **Transform**

A physical theatre play for very young children that delights them with the changing forms of water, clay and wood

Three characters invite the audience to explore these lovely materials that keep changing, sharing the rhythm of Botswana and Mozambique.





©2021 transform!! /何になるかな?

# 何になるかな?

オラ・ツァラ

へんしんするよ! みず・ねんど・き

ステージの上で、水、粘土、木がどんどん形を変えていきます。実際に目の前で起こる「生の変化」 に子どもたちの目はくぎ付け。身体と道具でボツワナとモザンビークのリズムや歌が奏でられ、 変化し続ける3つの素材と共に、自由な想像世界の冒険へと観客を引き込んでゆきます。オー バーオールを着た3人のパフォーマーがコミカルで楽しい!子どもたちのあそびの世界そのも のを表現したアートパフォーマンスです。

文化庁文化芸術振興費補助金(国際芸術交流支援事業) 独立行政法人日本芸術文化振興会



## ★対面式

Chino Cultural Complex (Multi-hole 1)

茅野市民館・マルチホール 1 VN9-1

3/28 **(B)** Sun 28 March 15:00

3/29 Mon 29 March 13:00 / 19:00









#### ☆海外作品上映会アフタートーク付き

Chino Cultural Complex (Rehearsal room)

茅野市民館・リハーサルルーム VN9-4

3/29 9 Mon 29 March 17:00









26

#### A multi awarded play about what happens to us and what we feel when we love someone and we lose it.

Speaks of what happens to us and what we feel when we love something and we lose it.

It speaks of the necessary time when sorrow accompanies us to calm what hurts. It speaks of loss, large or small, like a natural event.

"He is sad because he lost his partner. Her umbrella, hung in their apartment entrance's rack, becomes his only and undeniable company, the way he can be attached to the memory of her.

One day he finds a broken and abandoned umbrella in the street. He decides to bring it home to fix it. Now they are three at home: Two umbrellas and himself.

Euria is about what happens to us when we love something or someone and we lose it.

The time we need to understand and accept that something has changed. And of course, about our ability to cope.





©2021 Euria-Markeliñe

エウリアの愛 マルケリーニェ

傘に残された思い出。

何かを愛して、それをなくした時、私たちに何が起こるのか、私たちはどう感じるのか。失っ たものと新しいもの。いえない悲しみ、その痛みを受け入れるのに必要な時間は…2つの傘 と彼が語るノンバーバル作品

文化庁文化芸術振興費補助金(国際芸術交流支援事業) 独立行政法人日本芸術文化振興会



# ☆海外作品上映会アフタートーク付き

Chino Cultural Complex (Concert hall)

茅野市民館・コンサートホール VN9-3

3/30 Tue 30 March 19:00









₩ Official Selection

# horses kabinet k & hetpaleis

Horses is a dance performance with an untameable energy, in which 5 young children and 5 adults meet. The little ones and the tall ones share avidity, a sense of wonder and above all unshakeable trust in each other. Horses would fit the festivals theme "Towards the unknown" perfectly as it is about wanting to be grown-up and wanting to remain a child, about power and vulnerability, about carrying and being carried. About probing before surrender, the search for who's pulling the strings, finding the rhythm. It's about the experience of finding your way, about the power and integrity in human interaction, both indispensable to build futures together. Accompanied by live music of Thomas Devos and Bertel Schollaert, the dancers are looking for a symbiosis, a unique connection with the other, as a rider and a horse, as lone wolves in a flock.



©2021 horses / Horses 〜馬のように〜

Horses ~馬のように~ キャビネット K& ヘットパレイス

# 人間と人間の力強く誠実な関係をパワフルに描く

9~14歳の子どもたち5人と大人5人のダンスパフォーマンスです。世代を超えた人と人と の誠実な関係を、力強いダンスで表現します。子どものままでいたいと願うこと、大人になり たいと願うこと、運ぶこと、運ばれること、相反するものが描かれた作品です。エレキギター とサックスの生演奏にのせて、ダンサーたちは馬と騎手のような共生のかたちを探り続けます。

文化庁文化芸術振興費補助金(国際芸術交流支援事業) 独立行政法人日本芸術文化振興会



# ☆海外作品上映会アフタートーク付き

Chino Cultural Complex (Concert hall)

茅野市民館・コンサートホール VN9-3

3/30 Tue 30 March 17:00







28

₩ Official Selection

# O-24 The World of Edo **Marionettes**

# The Edo Marionette Group

Since introduced from China, over the course of about 380 years, Japanese marionettes underwent a series of improvements. The structure unique to Japan allows the marionette to convey delicate and rich expressions. To make sure you see all the charm, we prepared four dances with commentary in between, and one small play. Male dolls are used for Kappore and Drunkenness, female dolls for "The black hair," and animal dolls are used for Lion Dance. The last Sho lo li is a comical play with a history of about 80 years.



©2021 The World of Edo Marionnets /江戸糸あやつり人形の世界

# 江戸糸あやつり人形の世界 江戸糸あやつり人形

日本の糸あやつり人形は、中国伝来のそれを380年ほどの時を掛けて改良し、日本独自の 構造と、繊細で豊かな表現力を持つようになりました。その魅力を余すところなくご覧頂くた め、4つの踊りと合間に人形の解説、そして小さなお芝居を用意しました。「かっぽれ」と「酔 いどれ」は男の人形、「黒髪」は女の人形、「獅子舞」は動物の人形。最後の「ショ・ジョ・ジ」 は80年ほど前に寄席に掛けられていた面白可笑しいお芝居です。

文化庁文化芸術振興費補助金(国際芸術交流支援事業) 独立行政法人日本芸術文化振興会



# ★対面式

Chino Cultural Complex (Multi-hole2)

茅野市民館・マルチホール 2

3/29 **(a)** Mon 29 March 17:00

3/31 Wed 31 March 11:00 / 15:00









₩ Official Selection

# Fantasy Physical Dance

# Oh! My Life Movement Theater

"Fantasize about the children's world through adults' play from the accumulation of time!"

Fantasy Physical Dance regards the bodily potential that keeps moving based on the movement in dance, that is, the physical force of body, as the fantasy of dance. This is then connected to elements such as fantasy movies, animation, humor and extreme shape changes to present a range of images and bring out the imagination of body and dance.





# ファンタジー・フィジカル・ダンス Oh!マイ・ライフ・ムーブメント・シアター

## 加速するフィジカルとイメージの世界

父親がわが子のためにつくったコンテンポラリーダンスパフォーマンス。力強く舞台を踏みし める裸の足、しなやかに曲がり、跳躍するやわらかな肉体は、観客の身体に直接かたりかけ てくるような迫力です。舞台のまんなかには、透明のペットボトルがびっしりと植えられた不思 議な物体が鎮座し、不思議な存在感を放っています。最後はこの物体が変化して……。舞台 が進むにつれ、ダンサーの汗と呼吸、豊かな表現がどんどん加速していきます。

文化庁文化芸術振興費補助金(国際芸術交流支援事業) 独立行政法人日本芸術文化振興会



## ☆海外作品上映会アフタートーク付き

Chino Cultural Complex (Concert hall)

茅野市民館・コンサートホール VN9-3

3/31 Wed 31 March 15:00









31

# **Buffalo Boy Epic Arts**

#### A story of communication, articulation and what it means to be heard. A ground-breaking

Inspired by real life events, Buffalo Boy, tells the story of Thouen as he leaves his home where he struggles to be understood and heads in search of a place where he can express himself.

Comprising of dance, physical theatre and digital projection, Thouen embarks on the journey of his life with his faithful companion Mi Heng the buffalo. The journey is not always plain sailing though and the creatures he meets along the road help him decide the paths he must choose



©2020 Buffalo Boy /パッファローボーイ

## バッファローボーイ エピック・アーツ

#### 僕とミヘンの生きる道

トゥエンは、自分を理解してくれない家を出て、自分自身を表現できる場所を探して旅をします。 旅の相棒は忠実な友、バッファローのミヘンです。生き物たちの助けを借りながら、ふたりは 幾多の困難を乗り越えて、自分の生きる道を見つけます。イギリスの美術家とカンボジアのアー ティストがコラボレーションした作品です。プロジェクションマッピングを使い、現代的な音楽 と伝統音楽がミクスチャーされた音源も新しい印象です。

文化庁文化芸術振興費補助金(国際芸術交流支援事業) 独立行政法人日本芸術文化振興会



#### ☆海外作品上映会アフタートーク付き

Chino Cultural Complex (Concert hall)

茅野市民館・コンサートホール VN9-3 3/31 Wed 31 March 11:00

Non verbal 30min



₩ Official Selection

# LEOthe antigravity show

# **Y2D Productions**

LEO is a mind-bending, funny, surreal, and surprisingly touching work that challenges the senses and tests perceptions of reality through the clever interplay of live performance and video projection.

LEO is the unusual journey of an otherwise ordinary man whose world becomes physically unhinged.

When we discover LEO, he is alone with just a small suitcase, whiling away time in a simple room. As time passes LEO becomes increasingly aware that all may not be what it seems in his world.

As his awareness grows LEO's reaction to his situation evolves from alarm and insecurity to curiosity and eventually to playfulness. LEO not only begins to enjoy his situation but finds new and ingenious ways to exploit it.

LEO exhausts himself playing within his new reality until he again realizes that he is alone. Then LEO's suitcase offers him a new, totally unexpected, way to make himself comfortable and at home.

This path leads LEO to new unexpected adventures through worlds both ephemeral and imaginary until he finds himself, once again, simply alone.

With his confidence now shaken, LEO begins to accept that he needs to break the bonds of his con-finement, this room holding him hostage. In his search for release LEO not only calls on all that has gone on before but enlists the aide of a most unlikely ally - himself.

Having explored his dreams and desires and exercised his lust for life, LEO's final odyssey is the most important of all... the guest for freedom.



©2021 AndyPhillipson

レオの小さなトランク Y2D プロダクションズ

#### 重力やルールを飛び越えた驚きのパフォーマンス

シンプルな部屋で小さなトランクとともに時間を持て余しているレオ。時が経つにつれ、彼の 世界がどこか違うものになっていることに気づきだす。彼の意識は、その状況を感じ取るにつ れて、警戒から不安へ、そこから好奇心へ、最終的には遊び心に変わっていく。映像と身体 の独創的なパフォーマンス。スコッツマン・フリンジファーストアワード(エジンバラフリンジ)

文化庁文化芸術振興費補助金(国際芸術交流支援事業) 独立行政法人日本芸術文化振興会/公益財団法人東京都 歴史文化財団 アーツカウンシル東京







#### ☆海外作品上映会アフタートーク付き

Toshima Civic Center (conference room 701-703)

としま区民センター・会議室  $701 \sim 703$ 

VN1-9

3/25 Thu 25 March 11:00









# 2020年5月 海外招待予定作品

フェスティバル延期のため、上演中止となった 海外招待作品をご紹介します。

# A Square World Daryl Beeton Productions



四角い世界 ダリル・ビートン HP https://darylbeeton.com/

# Little Top Starcatchers and Superfan



リトルトップ~はじめてのサーカス~ スターキャッチャーズ/スーパーファン

England イギリス

₩ Official Selection

# LIFE a Mudpie The 10 Finger Theatre



LIFE ~土がおしえてくれたこと~ 10 フィンガーシアター (HP) https://www.thelOfingers.com/

# Pss Pss Compagnia Baccalà



ぷすぷす コンパーニア・バッカラ

# The Little Prince

Market theater · laboratory



星の王子さま マーケットシアター・ラボラトリー

(HP) https://markettheatre.co.za/

©2021 Thandile Zwelibanzi



# **Fringe**



F-101 ~ F-148

国内フリンジ作品

# 東京会場

VNI としま区民センター

VN2 ギャラクシティ

VN4 花まる学習会王子小劇場

VN5 シアターグリーン

VN6 R's アートコート

VN7 矢来能楽堂

VN8 浅草東洋館

# 長野会場

VN9 茅野市民館

VN10 諏訪市文化センター

VN11 下諏訪総合文化センター

F-101

# Tonkarari とんからり

Kazenoko Theatre Company 劇団風の子



Full of playfulness, tendering 遊び心いっぱい・とんからり





R's Art Court

36



# F-102

# Operetta "The Grateful Tiger" based on the volktale of Korean Peninsula オペレッタ「トラの恩がえし」

The Operetta Company TOMOSHIBI オペレッタ劇団ともしび



Let's live together beyond the defference, now.

ともに生きる、今こそ!





VN6



R's Art Court

R's アートコート

3/21 Sun 21 March 15:00



# F-103

# KUUKI KUUKI

JAPAN Union of Theatrical Companies for Children and Young people 日本児童・青少年演劇劇団協同組合



The smallest audience art experience

最も小さな観客の芸術体験

(BABY)





VN6



R's Art Court R's アートコート

3/22 Mon22 March 11:00 / 15:00

文化庁委託事業 令和 2 年度次代の文化を創造する新進芸術家育成事業

次代の児童・青少年演劇人育成 連続講座 主催: 文化庁、日本児童・青少年演劇劇団協同組合 制作:日本児童・青少年演劇劇団協同組合



F-104

## Marunpa! まーるんぱっ

Theater Unit Shiko Dobutsu 演劇ユニット思考動物



Let the study of circles begin!







Hnamaru Group Oji Fringe Theatre 花まる学習会王子小劇場

3/26 Fri 26 March 17:00





3/20 Sat 20 March 15:00

Tokun Tokun – Journey of Life トクン トクン ― いのちの旅-

Puppet Theatre LA CLARTET 人形劇団クラルテ



"Feel" Puppet Show

"感じる"人形劇





VN6



R's Art Court R's アートコート

3/23 Tue 23 March 15:00



F-106

The first concert for babies and moms to enjoy together, played by Kanonpu!(Rie) かのんぷ♪ RIE のママと赤ちゃんのためのコンサート

Nakatsubo Arts Agency



Concert for children aged 0 to 3

0~3歳に向けたコンサート

**BABY** 





VN2-3



Galaxcity(Recreation hall 3) ギャラクシティ・レクリエーションホール3

3/24 Wed24 March 11:00





F-107

The Gardener The Gardener Shoshinz 小心ズ(しょうしんず)



A puppet show that is not a "puppet show"

"人形劇"じゃない人形劇







Hnamaru Group Oji Fringe Theatre 花まる学習会王子小劇場

VN4



3/24 Wed24 March 17:00

## Let's enjoy together the "MATURI" festival 囃し囃されおまつりひろば F-108

ARAUMAZA Jananese Folk Entertainment Performance Company 民族歌舞団 荒馬座



Enjoy Japanese drums, dances and festivals "MATSURI"

日本の太鼓・踊り・祭 "MATSURI" を楽しもう









3/24 Wed24 March 17:00

R's Art Court

R's アートコート

38



# F-109

# The complete works of william shakespeare(abridged) 三人でシェイクスピア

DramaticCampany Chojugiga 劇団鳥獣戯画



Explosion of laugh! 抱腹絶倒!



VN5



Theater Green (Bog in Box Theatre)

シアターグリーン

3/24 Wed 24 March 19:00



F-110

Guru-Guru ぐるぐる **CAN SEIGEI** CAN 青芸



3/25 Thu 25 March 11:00

A wonderful time on the lap おひざのうえで不思議体験!

BABY







Galaxcity(forum)

ギャラクシティ・ふぉーらむ

VN2-5



F-111

Pokapoka-pukupuku-main-main ぽかぽかぷくぷくマインマイン

Potherb 香味野菜



3/22 3 Mon22 March 11:00

Baby theater はじめてのおしばい









VN2-5



F-112

Galaxcity(forum)

ギャラクシティ・ふぉーらむ

JUNK ART CIRCUS **JUNK ART CIRCUS** 

ranahouse ラナハウス



60min



Theater Green(Bog in Box Theatre) シアターグリーン

VN5



3/25 Thu25 March 11:00



The first orchestra from the age of 0 0歳からの・はじめてのオーケストラ

Salon Orchestra Japan 日本サロンコンサート協会



Infants listen in crazy 乳幼児が夢中で聴きます





VN11-1



Simosuwa Culture Center (Yamabiko Hall) 下諏訪総合文化センター・やまびこホール

3/25 Thu 25 March 13:00



F-114

Own Eyes: See the World Yourself Own Eyes ~キミの心でみる世界~

Mina Watoto



Experience the stage with your body and mind.

「身体」と「心」で感じる舞台





VN11-3



Simosuwa Culture Center (Asunaro Hall) 下諏訪総合文化センター・あすなろホール

3/25 Thu 25 March 15:00



F-115

# **PENOSHIMA**

ペノシマ

Octpeppers Theatre ドクトペッパズ



a doll×shadow play × self-restraint

人形×影絵×自粛







Hnamaru Group Oji Fringe Theatre 花まる学習会王子小劇場

VN4

3/25 Thu 25 March 17:00



F-116

Space Hippo 宇宙カバ〜 Space Hippo Mochinosha Puppet Company 人形劇団望ノ社



A Hilarious and epic science fiction adventure, experienced with live animation.

笑いと涙の SF 冒険影絵劇





VN9-2



Chino Cultural Complex(Multi-hole2) 茅野市民館・マルチホール2

3/25 Thu25 March 17:00



F-117

Kenji Miyazawa: The Restaurant with Many Orders 宮沢賢治『注文の多い料理店』

studio polano スタジオ・ポラー



Both children and adults can enjoy it!

子どもも大人も楽しめる!





VN6



R's Art Court

R's アートコート

3/25 & Thu 25 March 19:00



F-118

#### Pobon the Baby Elephant and the Moon 子ゾウのポボンとお見さま

Theatre Company Inzou 特定非営利活動法人 劇団印象 -indian elephant-



A baby elephant sings and dances in the jungle of fun.

子ゾウが歌い、踊る、遊びの ジャングル!







Chino Cultural Complex(Multi-hole1) 茅野市民館・マルチホールー

3/25 Thu 25 March 19:00





F-119

Seeds of Music in Summer

ベイビーシアター うたのたね~おんがくのはじまり~ Yamano-Ongakusha

山の音楽舎



3/26 Fri 26 March 11:00

Feel relaxed and comfortable atmosphere

おいしい空気をめしあがれ



**BABY** 





Galaxcity(forum) ギャラクシティ・ふぉーらむ

VN2-5



F-120

Festival Lucky bag おまつり福袋

Festival Entertainment Group Dengakuza お祭り芸能集団 田楽座



3/26 Fri 26 March 15:00

Dissipate from evil diseases with festival power

お祭りパワーで厄病退散







Chino Cultural Complex(Multi-hole2) 茅野市民館・マルチホール 2

VN9-2



## Everybody de Rakugo みんな de らくご **STUDIO EGGS** スタジオエッグス



Children can also enjoy rakugo! 子どもも落語を楽しめるよ!







Simosuwa Culture Center (Small gymnasium) VN11-4

下諏訪総合文化センター・軽体育室

3/26 Fri 26 March 15:00



F-122

Beccanko-oni ベッカンコおに NanjaMonja 劇団なんじゃもんじゃ



Where is a goblin? 鬼っていったいどこにいる





VN9-4



Chino Cultural Complex(Rehearsal room) 茅野市民館・リハーサルルーム

3/26 Fri 26 March 17:00



F-123

The Boy and the Dolphin 少年とイルカ

Pantomime Theater



The Session! Piano & Mime:The Boy and the Dolphin

ザ・セッション!ピアノ&マイム · 少年とイルカ」





VN11-3



Simosuwa Culture Center (Asunaro Hall) 下諏訪総合文化センター・あすなろホール

3/26 Fri 26 March 17:00



F-124

# Johanna Can you Whistle おじいちゃんの口笛

Tokyo Engeki Ensemble 東京演劇アンサンブル



What is exploration by Wolf and Bella?

VN5

ウルフとベッラの探検とは?









Theater Green(Bog in Box Theatre)

3/26 Fri 26 March 19:00 3/27 🜐 Sat 27 March 13:00



The Little Prince

F-125 ル プチ プリンス LePetitprince ~星の王子さま~ Dramatic Company Choju Giga 劇団鳥獣戯画



A fantasy-filled performance. ファンタジーパフォーマンス





VN9-1



Chino Cultural Complex(Multi-hole1)

茅野市民館・マルチホール l

3/26 Fri 26 March 19:00



F-126

# Shadow & Music Theater KUPU-KUPU "WHERE'S THE FISH?

影絵音楽団くぷくぷ「きんぎょが にげた」 SOZOSHA 想造舎



Let's find the gold fish!

きんぎょをみつけよう!





VN6



R's Art Court R's アートコート

3/26 Fri 26 March 19:00



F-127

Special showtime ♪

スペシャル・ショータイム♪ TAP DO! TAP DO!



The hottest comedy tap dance show in Japan!

笑いとタップがてんこ盛り!





VN11-1



Simosuwa Culture Center (Yamabiko Hall) 下諏訪総合文化センター・やまびこホール

3/26 Fri 26 March 19:00



F-128

TON-Ton-ton **TON-Ton-ton** Mitsuami

みつあみ



Which a house do you like? 君はどのオウチが好き?

BABY





Galaxcity(forum) ギャラクシティ・ふぉーらむ

3/27 Sat 27 March 11:00



HO · GUI · UTA (Celebration Song) HO·GUI·UTA (寿歌)

Leaf Planning



Celebrate & Dance! Celebrate & Sing!

寿祝ぎ踊れ!寿祝ぎ歌え!

BABY

50mi



VN11-4

Simosuwa Culture Center (Small gymnasium) 下諏訪総合文化センター・軽体育室

3/27 Sat 27 March 11:00

F-130

The One-Day-Only Museum ソノヒカギリ美術館

Kazenoko Theatre Company 劇団風の子



Kodomo Art Asobo! コドモ・アート・アソボ!





VN9-2



Chino Cultural Complex(Multi-hole2)

茅野市民館・マルチホール2

3/27 • Sat 27 March 13:00



F-131

sound of memory きおくのおと

Produce USHINOKAI 丑の会プロデュース



Four episodes of the chair 椅子が語る 4 つのエピソード





VN9-4



Chino Cultural Complex(Rehearsal room)

茅野市民館・リハーサルルーム

3/27 Sat 27 March 15:00



F-132

My Dear Doll マイ ディア ドール SHOWTIME MAGIC 笑太夢マジック





Magictime of dream and smile 夢と笑いの魔法の時間







VN6



R's Art Court R's アートコート

44

3/27 Sat 27 March 17:00



F-133

Billy and Butchy & Natsuko びりとブッチィー & ナツコ Aoi Kikaku



Exciting and fun performance 心躍る楽しいパフォーマンス





VN11-1



Simosuwa Culture Center (Yamabiko Hall) 下諏訪総合文化センター・やまびこホール

3/27 • Sat 27 March 17:00



F-134

The Old Man Who Made Dead Trees Bloom 花咲爺~はなさかじいさん

Tsubame-Ya & Ginyudajin 人形芝居燕屋 + 吟遊打人



3/27 • Sat 27 March 17:00

A regeneration story told with Taiko drums and imagination.

太鼓とモノによる再生の物語







Chino Cultural Complex(Multi-hole1) **茅野市民館・マルチホール** 1





F-135

3 GAGA HEADS THE BODY TIGHTS MEN SHOW: The adventure of a pictogram 3GAGAHEADS THE BODY TIGHTS MEN SHOW ~ピクトグラムの大冒険~

3GAGA HEADS



Time for an adventure full of dreams and laughter!

夢と冒険と大爆笑の旅を!!





Hnamaru Group Oji Fringe Theatre 花まる学習会王子小劇場

VN4





F-136

3/27 👴

3/28 📵

The World of Sound and Words シモシュ×末原拓馬「音と言葉の世界」

X-jam X-jam



~ The most beautiful rain in the world ~

~世界でいちばん美しい雨~







Simosuwa Culture Center (Asunaro Hall) 下諏訪総合文化センター・あすなろホール





3/28 Sun 28 March 11:00

# Chocolate in half Kentaro Okada's Piano Narration Concert

チョコレートはんぶんこ 岡田健太郎のピアノ弾き語りコンサート Okada Music Office 岡田音楽事務所



Love? or Chocolate? 初恋か!?食欲か!?





VN9-2



3/28 Sun 28 March 11:00



F-138

## TOPPIN PARARIN - Za とっぴんぱらりん座

Tada Jun-Kikaku ただじゅん企画



A variety of playful stories! あそび心のお話バラエティ!







Simosuwa Culture Center (Small gymnasium) 下諏訪総合文化センター・軽体育室

Sun 28 March 13:00 3/28



F-140

# Juggling sound and space

音と空間のジャグリング

Kuuten-kidou 空転動消



Juggling with eyes and ears 目と耳で楽しむジャグリング





VN1-1



Toshima Civic Center(small hall) としま区民センター・小ホール

3/28 Sun 28 March 17:00



F-141

3/28 📵

46

# Witty Look の Life's a circus!!!!! Witty Look O Life's a circus!!!!! Cheeky\*Park



The transcendent skill of a unicycle and a storm of laughter!!

・輪車の超絶技巧と爆笑の嵐!!







Simosuwa Culture Center (Yamabiko Hall) 下諏訪総合文化センター・やまびこホール

Sun 28 March 17:00

VN11-1



F-142

# Hand Shadows ANIMARE Hand Shadows ANIMARE

Shadow Play Theater KAKASHIZA 劇団かかし座



Our hands have infinite possibilities!

この手に、限界はない。





VN11-1



Simosuwa Culture Center (Yamabiko Hall) 下諏訪総合文化センター・やまびこホール

3/29 Mon 29 March 15:00



F-143

Kenji Circus - Cat's Office, Acorns and Wildcat, Yodaka no Hoshi けんじサーカス〜猫の事務所・どんぐりと山猫・よだかの星〜 Theatrical Company Pa-Ret 劇団ぱれっと



The world of the mind shining like a tiny star.

小さな星のように輝く心の世界







Simosuwa Culture Center (Yamabiko Hall) 下諏訪総合文化センター・やまびこホール



3/31 Wed 31 March 15:00



F-144

#### Les Misérables レ・ミゼラブル

Art Community Organization OKINAWA 一般社団法人エーシーオ―沖縄



People's thoughts and wishes will continue to be in our hearts through the times

人々の思いと願いが、時代を超 えて私たちの心にとどく。







Chino Cultural Complex(Rehearsal room) 茅野市民館・リハーサルルーム





3/30 Tue 30 March 19:00 3/31 Wed 31 March 11:00 / 17:00



F-145

# The Three Billy Goats Gruff 三びきのやぎのがらがらどん

**Puppet Theater TONTO** 人形劇団とんと



Story of goats against a troll やぎたちとトロルのお話







Simosuwa Culture Center (Small gymnasium) 下諏訪総合文化センター・軽体育室





3/31 Wed 31 March 11:00

# Puppet Theater Hipopotaamu ふたりのお話 PUPPET TROUP HIPOPOTAAMU

人形劇団ひぽぽたあむ



It makes you want to do puppetry!

人形劇がやりたくなるよ!





VN9-1



Chino Cultural Complex(Multi-hole1)

茅野市民館・マルチホール l

3/31 Wed 31 March 13:00



F-147

# Taiko Live: Michikusa Dong Dok 太鼓ライブ「道草ドンどこ」

Tamakko-Za 太鼓と芝居のたまっ子座



The drum plays! Life dances! 太鼓が弾む!いのちが踊る!





VN10-4



Suwa-shi Cultural Center (Hall) 諏訪市文化センター・ホール

Sun 28 March 11:00



F-148

# Twilight Garden トワイライトガーデン TEAM PERFORMANCE LAB.



A fairy tale invited by a footlong clown

足長道化師が誘うおとぎ噺し









Chino Cultural Complex (Lobby) 茅野市民館・ロビー

VN9-5 3/28 Sun 28 March 15:00 / 18:00



# Workshop

# Let's play in theater 演劇で遊ぼう!

#### Ichiro Kamiyama / Member of Japan Shingeki Actors Association /

This program offers a theater game that includes elements of communication, relaxation, self-discovery and self-expression. Discover a new self while releasing mental and physical strain. Through performing a simple improvisational drama, this program will allow you to experience that a theatrical play is constructed based on the characters' purposes, emotions, and strong feelings.

#### 神山一郎 (日本新劇俳優協会会員)

コミュニケーション、リラックス、自己発見、自己表現的な要素を含んだシア ターゲームをおこないます。緊張をほぐしながら、新しい自分を発見しましょう。 誰でもできる即興劇を通じて、お芝居が登場人物の目的や感情、強い思いか ら創られていることを体感できるプログラムです。



Toshima Civic Center(conference room 504)

としま区民センター・会議室 504





3/22 9 Mon 22 March 13:00

Playing Manyo Poems with sound and body

# 万葉歌を響きとカラダで遊ぶ

Playback Theater Laboratory (Yuri Iwahashi/kujira sakisaka/Tomokazu Hanezi)

We play words and color of the sound using our body from Japan's oldest poem, Manyo Poems. Kujira Mukozaka a poet and Yuri Iwahashi an expression educator are in charge. This is the drama education workshop where participants play "The World of Sound" variously regardless of nationality and age, and promotes upbringing of a rich human being.

#### 株式会社プレイバック・シアター研究所(岩橋由莉・向坂くじら・羽地朝和)

日本最古の詩歌「万葉歌」のことば・音の響きをカラダを使って遊びます。表 現教育家の岩橋由莉と詩人の向坂くじらが担当します。国籍や年齢を問わず 参加者が音の世界を多様に遊び、豊かな人間力の育成を促す演劇教育ワーク



Galaxcity(Recreation hall 1)

ギャラクシティ・レクリエーションホール 1

VN2-1



3/24 Wed 24 March 13:00

The expression workshop enjoyed by parent and child in nature.

"Let's play using the body and heart!". 自然の中で親子で楽しむ表現ワークショップ 「カラダとココロをつかって遊ぼう! |

# Mina Watoto (Seiko Nakazawa And two others)

"Ah, an acorn!" "The shape of this branch is interesting, isn't it?" "This cloud looks like a whale, doesn't it?".

A nature provides a lot of exciting hints to play.

Using a body and a lot of hearts, let's play together! Why don't you try becoming an animal or even a creature?! Relax the heart, the body and the sense in parent and child, let's enjoy in outdoors where you can feel so good!

# Mina Watoto (中澤聖子他 2 名)

「あ、どんぐり!」「この枝おもしろい形しているなあ」 「この雲、クジラみたいだね」。 自然の中にはワクワクする遊びのヒントがいっぱい。 \_ .... カラダとココロをたくさん使って、みんなで遊ぼう! 動物や生き物にもなっちゃう?!

VN1-6

49

心地のいい野外で、親子で心も身体も感覚も開放して楽しみましょう。 晴天時: 豊島区立月白の森

雨天時:としま区民センター・会議室 504 Toshima Civic Center(conference room 504)

3/23 Tue 23 March 11:00

# The Potential of Theater Education 演劇教育の可能性を考える

#### Hiroshi Teruya/ Japan Theater Education Federation

We will observe a workshop for junior and senior high school students (90 minutes), exchange opinions (30 minutes), and think about theater education.

#### 照屋 洋 (一社 日本演劇教育連盟)

中高生参加のワークショップを見学(90 分)し、意見交換(30 分)をしあい、 演劇教育について考える。

ギャラクシティ・レクリエーションホール 3 Galaxcity(Recreation hall 3)

VN2-3

3/27 Sat 27 March 11:00







# Play with triangle 三角形で遊ぶ

#### Tsubame-Ya / Tsubame Kusunoki

This is a workshop to experience the possibilities of "make-believe" acting in a gamelike environment. This method has been taught at UNIMA Festivals and other events, and it was used in a theater piece co-produced with a Polish theater company.

Expression play using body  $\sim$  Let's be

connected even if we are being apart!  $\sim$ 

からだで表現あそび~離れていてもつながろう!~

#### 人形芝居燕屋 (くすのき燕)

一般からプロの人形劇人までを対象に、見立ての演技の可能性をゲーム感覚 で体験するワークショップです。UNIMA フェスなどでも実施され、この手法 でポーランドの劇団と共同制作した舞台もあります。



下諏訪総合文化センター・集会室 Simosuwa Culture Center (Meeting room)

3/25 & Thu 27 March 13:00



# Communication workshop for conveying thoughts in silence

# 無言で思いを伝えるコミュニケーションワークショップ

#### Art-Loving Manbo

Don't you think that we usually communicate only with words?

In this workshop, you will experience through various works that we actually communicate by using various invisible forces such as our five senses and internal rhythms. Let's have a lot of fun with all kinds of means of expression!

#### Art-Loving まんぼ

私たちは普段、言葉だけでコミュニケーションを取っていると思っていません

実は五感や内的なリズム等、目には見えない様々な力を駆使してコミュニケ ションを取っている、ということを様々なワークを通じて皆さんに体感して頂く ワークショップです。ありとあらゆる表現手段を大いに楽しみましょう!



# Simosuwa Culture Center(Meeting room)

下諏訪総合文化センター・集会室





3/27 Sat 27 March 13:00



# Dance to begin with はじまりのダンス

Tatuya Kusuhara

楠原竜也

Will play using body to the full extent!

while keeping physical distance,

feel oneself, and feel a partner,

let's get communication by dance!

からだをめいっぱい使って遊びます!

トンネルをつくったり、目と目を合わせて動いたり…

Simosuwa Culture Center(Meeting room) 3/29 3 Mon 29 March 11:00

ダンスでコミュニケーションしていきましょう!

下諏訪総合文化センター・集会室

Will make a tunnel, and move while matching eyes with eyes, ...

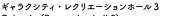
フィジカル・ディスタンスを保ちながら、自分を感じて、相手を感じて、

# Yamanekodan / Erina Nagai

There is a dance originated from oneself not being taught by others. Will gently draw out your own dance which will be born only from where your body shape, movement, habit, sense of feeling of an adult or child or beginner or experienced person

## 山猫団(長井江里奈)

もでもはじめてでもベテランでも、あなたの体のかたち、動かし方、癖、感じ 方、そこからしか生まれないダンスを優しく引き出します。



Galaxcity(Recreation hall 3)

3/25 & Thu 25 March 13:00



VN11-6



90mi

# W6

Challenge Hand Shadow Picture of "Shadow Play Theater KAKASHIZA"! (Hand Shadow Workshop) かかし座の手影絵に挑戦! (Hand Shadow Workshop)

# Shadow Play Theater KAKASHIZA / Shuichi Iida and others

Learn and perform Kakashi-za's hand shadow techniques that are demonstrated in their "Hand Shadow Show". A short performance by Kakashi-za and brief presentation by participants are scheduled.

# 劇団かかし座(飯田周一 ほか)

演劇関係者、一般の方を問わず、中学生以上を対象に、かかし座の「Hand Shadow Show」の中で出てくる、数々の手影絵の作り方を教え、体験しても らいます。ミニパフォーマンスの実演と、参加者での簡単な成果発表を予定 しています。



VN9-1

**茅野市民館・マルチホール** 1

3/30 Tue 30 March 15:00

Chino Cultural Complex(Multi-hole1)



Musical workshop  $\sim$  Let's celebrate the birthday of the king together  $\sim$ ミュージカルワークショップ ~みんなでお祝いしよう、王様のお誕生日~

#### All Staff / It' Follies

Tomorrow is the birthday of the king. In spite of this important day, how serious that the king had "smaile" stolen!

You the participants should become "ambassadors" as the players of the Follies

Let's participate in the story becoming the players of the musical together with exciting video pictures!

Will play rhyshm together, move to music, or create original dance.

Musical experience together with the actors and actress of Follies.

#### オールスタッフ/イッツフォーリーズ

明日は王様のお誕生日。なのに王様は「smaile」を盗まれてしまったからさあたいへん! 参加者の皆さんには「大使」になってフォーリーズ王国の出演者になっていただきます。 ワクワクする映像と一緒にミュージカルの出演者になって、物語に参加しよう! みんなでリズムを奏でたり、音楽に合わせて動いたり、オリジナルのダンスを創ったり。 フォーリーズの俳優と一緒にミュージカル体験。

としま区民センター・小ホール Toshima Civic Center(small hall)

VN1-1

VN11-3



3/23 Tue 23 March 11:00

下諏訪総合文化センター・あすなろホール Simosuwa Culture Center (Asunaro Hall)

3/31 Wed 31 March 13:00

# W11

# **BODY POETRY**

カラダの詩 「身体詩 /BODY POETRY」 ~お「能」の型から生まれるノン・バーバルな 不思議な動物パレード~

#### Art of prayer TAICHI-KIKAKU Yosuke Ohashi/Akira Yoshimatsu

In the first half, together with Akira Yoshimatsu KITA style performer, will play the symbolic form created by the body using the model of "O-NOU" or the model of "KABUKI". In the latter half, we enjoy "Srange Zoo" which describes the stories of the strange animals which will appear from individual body one by one using body.

This is the workshop also popular in overseas which based on the drama called "Body Poetry" play using body performed at the International Play Festival in overseas or at British Chester University by TAICHI-KIKAKU who continue performance activities of strange play "Body Poetry/SHINTAISHI" which makes you understood beyond language barrier at 100 cities in 24 countries worldwide.

We have opend the workshop for under a year-old children for 4 times since 2016 at Minami-Soma city in Fukushima prefecture(still continuing)

The finale is "Strange Zoo" which even children under a year-old are pleased with.

#### NPO 法人祈りの芸術 TAICHI-KIKAKU(オーハショースケ・吉松 章)

前半は喜多流の吉松章さんと共にお能や歌舞伎の型を使ってカラダが作る象徴的なフォルム を遊びます。後半は、一人一人のカラダから現れる不思議な動物のお話をカラダで描く「不思 議な動物園」。言葉を超えて伝わる不思議なお芝居「Body Poetry / 身体詩」をもって世界 24 か国 100 都市で公演活動を続ける TAICHI-KIKAKU が海外の国際演劇祭やイギリス・ チェスター大学で実施してきたカラダで作るドラマ「身体詩」劇をベースにした、海外でも人 気ワークショップです。私達は 2016 年からゼロ歳児ワークショップを福島県南相 馬市で年4回開催してきました(継続中)。子供も楽しめる「不思議な動物園」パレー 120mi

としま区民センター・会議室 504

Toshima Civic Center(conference room 504)

VN1-6



3/22 D Mon 22 March 17:00

Project organized and co-organized by the Japan Expo, 2020
Organized by: Agency for Cultural Affairs / Japan Arts Council / The 20th ASITEZI World
Congress Tokyo Executive Committee

令和 2 年度日本博主催・共催型プロジェクト 「日本の文化、伝統に出会う|

主催:文化庁/独立行政法人日本芸術文化振興会/ 第20回アシテジ世界大会・東京実行委員会







# Japanese sword fighting action! Workshop ドキドキワクワク殺陣アクション!

#### Takeshi Ishida (EASTONES Theatre Company)

Takeshi Ishida, the head of the EASTONES Theater Company, will give a lecture on action in an easy-to-understand manner Let's have fun with actress Hina Yamazaki!

Punch and kick in sync with your breathing!

Enjoy the fun of synchronizing and Let's experience the fun of synchronization and the importance of communication!

#### 石田武 (劇団 EASTONES)

劇団 EASTONES 座長 石田武がアクションを分かり易くレクチャー! 女優 山崎日菜と一緒に楽しもう!

シンクロする楽しさとコミュニケーションの大事さを体感しよう!



Toshima Civic Center(small hall) としま区民センター・小ホール

Tue 23 March 15:00

3/24 🔞 Wed 24 March 11:00 / 15:00



VN1-1

VN1-6

# Let's play with lion dance 獅子舞で遊ぼう

# ARAUMAZA Jananese Folk Entertainment Performance Company

60 minutes of fun watching and dancing to a lion dance (no age limit \*Small children should be accompanied by their parents)

#### 民族歌舞団荒馬座

獅子舞を観て踊って楽しむ60分 ※小さいお子様はおやこでお楽しみ下さい。



Toshima Civic Center(conference room 504) としま区民センター・会議室 504

3/26 🚱 Fri 26 March 11:00 / 15:00

3/28 Sun 28 March 11:00



# Workshop Sparkling Art

## Asako Yamada

You produce your own calligraphy art which there is no sample to follow. Do not target to achieve well written character

Draw the words coming out from yourself using unkempt brush

Draw hard as your own habit goes

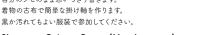
Make simple hanging scroll utilizing rag of Kimono

Join wearing black clothes or clothes you can get dirty

#### 山田麻子

お手本は無い自分しか書けない書のアートです。 上手な文字を目標にするのではなく自分から出た言葉をボサボサの筆で

自分のクセのまま思いっきり書きます。





VN11-6

Simosuwa Culture Center(Meeting room) 下諏訪総合文化センター・集会室

3/29 D Mon 29 March 13:00

3/30 Tue 30 March 11:00 / 15:00

# Japanese Traditional Performing Arts Workshop 田楽座の南京玉すだれ体験

#### Festival Entertainment Group Dengakuza

You will be able to experience some of the techniques of Nankin Tamasudare, a

Tamasudare is actually a lot more fun to try than to watch. Both adults and children will be fascinated by it. (Yosuke Nakayama, Itsue Sagara)

#### お祭り芸能集団 田楽座

日本の大道芸の「南京玉すだれ」の技をいくつか体験していただきます。 実は見るよりもやってみるのがとても楽しい玉すだれ。大人も子どもも夢中になる こと間違いなし。【講師:中山洋介・相楽逸枝】



Simosuwa Culture Center(Meeting room) 下諏訪総合文化センター・集会室

VN11-6



3/28 Sun 28 March 11:00 / 13:00

# Experience Kyogen in a groove! ノリノリ狂言体験!

Noriyoshi Okura Kyogen is a Japanese traditional play which has a theme to make you laugh While you appreciate watching Kyogen "BONSAN", you should laugh with loud voice and express yourself by jumping and hopping by fully moving your body. Let's target to become a little Kyogen player!

#### 大藏教義 (大藏流吉次郎狂言会)

・ 社言は古典芸能ですが笑いをテーマにしたお芝居です。狂言「盆山(ぼんさん)」を鑑賞し、 奇想天外な登場人物クイズ、大きな声を出して笑い、飛んで跳ねて体いっぱい動かして表現 します。 さぁリトル狂言師を目指せ! 講師:大藏教義 上田圭輔

Chino Cultural Complex(Multi-hole1) 茅野市民館・マルチホール 1

VN9-1



3/30 Tue 30March 11:00

Simosuwa Culture Center(Meeting room)

下諏訪総合文化センター・集会室



3/31 Wed31 March 11:00 / 15:00

# The workshop for KABUKI beginners 歌舞伎ことはじめ

#### Zenshin-za Theatre

"Kabuki was the most popular entertainment for common people in the Edo period. As Kabuki's kanji characters 歌舞伎 respectively represent 歌 "song"舞 "dance" and 伎 "skill", Kabuki is a ""treasure trove"" that has incorporated various theatrical devices over its 400-year history and contains all the elements of theater as a comprehensive art form. We will be acting as guides of Kabuki. We will offer introductory demonstrations and performing opportunities of Kabuki theater for a wide range of audiences, including children who are curious to try new things, adults who may assume that Kabuki is incomprehensible, sleep-inducing and difficult to approach, and foreigners who are interested in Japan's representative culture. Introduction to Kabuki : We will lecture on the origin of Kabuki, the types of Kabuki, and Onnagata (male actors specialized in playing female roles) among others.

Tachimawari (stage fight) of Kabuki : Using a wooden sword, we will demonstrate and

explain Tachimawari, and give practical instructions to perform. Take this opportunity to strike Kabuki's own unique "Mie"(theatrical pose)!"

歌舞伎は江戸時代の庶民のいちばんの娯楽でした。それは、歌(うた)・舞(まい)・伎(わ ざ)という漢字にも表れているように、四百年の歴史の中で工夫が積み重ねられ、総合芸術 としてあらゆる演劇の要素が含まれている<宝の山>なのです。

私たちはそのガイド。新しいことに興味津々な子どもたち、「歌舞伎=分からない、眠い、敷 居が高い」というイメージを抱えがちな大人の方たち、日本の代表的な文化に関心を寄せて いる外国の方たちまで、幅広く親しんでいただけるよう、実演を交えながら紹介し、実際に体 験していただきます。

歌舞伎の成り立ちや、歌舞伎の種類、女方のことなどレクチャーします。

歌舞伎の立廻り、木刀を使って立廻りの実演、解説し、実践的に指導します。歌舞伎独特の 「見得」にもチャレンジ!

Suwa-shi Cultural Center(Meeting room 1)

諏訪市文化センター・第1集会室

Sun 28 March 15:00

Simosuwa Culture Center (Asunaro Hall) 下諏訪総合文化センター・あすなろホール

3/29 Mon 29 March 11:00 / 15:00

VN11-3

VN10-1

# Open Forum Theatre and Children 公開フォーラム 演劇と子どもたち

#### Japan Theater Education Federation/Japan Association of Theatre for Children and Young People

Part 1: Lecture "Theatre Activities from the Perspective of Brain Science" Why do children need theater activities?

Part 2: Symposium "Exploring the Future of Theater Education" Enactment of the Basic Act on Culture and the Arts and Theater Appreciation Class

Why is theater education necessary for children's development? What are the important things to do and how should we put them into practice? We will have a discussion based on actual cases

#### 一社 日本演劇教育連盟·公社 日本児童青少年演劇協会

第1部:講演 「脳科学からみた演劇活動」何故子どもたちに演劇活動が必要か? 講師:塚田稔

第2部シンポジウム「演劇教育のこれからを探る」文化芸術基本法の具現化と演劇鑑賞教室 パネラー 大和滋 大垣花子 山根起己 百合岡依子

演劇教育は、子どもの成長に何故必要か? 何をどのように行うことが大事なの か? 実践をふまえた討議。 240mir

Toshima Civic Center(conference room 504) としま区民センター・会議室 504 Sat 27 March 13:00





# All our Future: Children and Culture $\sim$ KODOMO Art ACTION stating from me $\sim$

子ども、文化。それが私たちの未来 ~私からはじまるこどもあーと ACTION ~

#### KODOMO Art ACTION

"To realize a society that "leaves no one behind" (from SDGs), where there are no disparities in opportunities for children and youth to participate in cultural life and the arts, and where there is no discrimination or exclusion in doing so." ongoing COVIT-19 crisis has made us reevaluate and discuss the meaning of holding this Congress during the time of a global pandemic. What can we do to enrich out children's culture? All participants will be asked to consider what could be passed on as the legacy of the Congress. Why don't we start the next action together from

## こどもあーと ACTION

"子どもや若者の文化的な生活や芸術への参加機会に格差がなく、差別や排除のない「誰― 人取り残さない」(SDGsより) 社会を実現する。

今この大会を開催する意味を、コロナ禍においてより深く考え、語り合い続けてきました。 子どもたちの文化を豊かにするために、私たちができることは何か。

大会終了後のレガシーを参加者全員で考えます。

ここから、共に次の「アクション」を始めませんか?

Chino Cultural Complex (Concert hall) 茅野市民館・コンサートホール

3/30 **T**ue 30 March 11:00

VN9-3





55

# The Noh Play HAGOROMO 能楽公演「羽衣」



室町時代より650年以上、演じ受け継がれてきた日本を代表する舞台芸術。 能「羽衣」は、羽衣伝説をもとにした演目。

雄大な富士山、白砂青松の三保の松原、その天空に舞う天女、 日本の風土の美しさを描き切った人気の作品です。

#### 13 時公演

解説:小島 英明

「羽衣」

シテ: 観世 喜正

ワキ: 舘田 善博

笛:竹市学 小鼓:飯富 孔明 大鼓:佃 良太郎 太鼓:梶谷 英樹

後見:弘田 裕一/河井 美紀

地謡: 駒瀬 直也/佐久間 二郎/小島 英明/桑田 貴志

# 19 時公演

解説:鈴木 啓吾

「羽衣」

シテ: 観世 喜正

ワキ:御厨 誠吾

笛:八反田智子 小鼓:鳥山 直也 大鼓:柿原 光博 太鼓:大川 典良

後見:弘田 裕一/河井 美紀

地謡:中所 宜夫/永島 充/鈴木 啓吾/中森 健之介

3/25 Thu 25 March 13:00 / 19:00

# Yarai-nohgakudo

矢来能楽堂



Project organized and co-organized by the Japan Expo, 2020 Organized by: Agency for Cultural Affairs / Japan Arts Council / The 20th ASITEZI World Congress Tokyo Executive Committee

令和 2 年度日本博主催・共催型プロジェクト

「日本の文化、伝統に出会う」 主催:文化庁/独立行政法人日本芸術文化振興会/ 第 20 回アシテジ世界大会・東京実行委員会 制作協力:(公社)能楽協会







# **NIHONBUYO**

-Japanese Classical Dance-

# NAGAUTA

-Japanese Classical Music

日本舞踊×長唄

~伝統舞踊と伝統音楽の共演~



西川 大樹

藤間 涼太朗







歌舞伎から生まれ発展してきた日本舞踊と長唄。

長唄ならではの華やかな演奏を楽しめる長唄演奏「越後獅子」と親獅子が 仔獅子に与える試練と情愛をダイナミックに描く日本舞踊「連獅子」。 日本舞踊と長唄の魅力がたっぷりとつまった両演目をぜひお楽しみください。

# Performers

Japanese dance repertoire: Nagauta: Renjishi(The Father and Son lions) Performers: Daiki Nishikawa, Ryotaro Fujima Nagauta starred by Uta / Masaki Imafuji Shamisen / Chotatsuro Imafuji Hayashi / Roei Tosha

#### 出演者

日本舞踊 西川 大樹/藤間 涼太朗

今藤 政貴/今藤 政之祐/今藤 龍之右 今藤 長龍郎/今藤 龍市郎/今藤 龍十郎 二味線

囃 子 笛 :藤舎 推峰

3/26 @ Fri 26 March

小鼓:藤舎 呂英・藤舎 雪丸

大鼓:藤舎 呂近 太鼓:望月 太津之

## Yarai-nohgakudo

矢来能楽堂

VN7 19:00



Project organized and co-organized by the Japan Expo, 2020 Organized by: Agency for Cultural Affairs / Japan Arts Council / The 20th ASITEZI World Congress Tokyo Executive Committee

令和 2 年度日本博主催・共催型プロジェクト 「日本の文化、伝統に出会う」 主催:文化庁/独立行政法人日本芸術文化振興会/

第 20 回アシテジ世界大会・東京実行委員会 制作協力:(公社) 日本舞踊協会 (一社) 長唄協会







# **RAKUGO Performance** -SHOW "RAKUZA"

東洋館笑楽座



© 堀田力丸 提供:東京文化会館



イラスト字幕と曲芸・和妻で笑って驚いて免疫力も上げちゃおう!

「落語」と聞くとどんな芸能をイメージしますか?着物を着た落語家が昔の話 をしてる、日本語が分からないと難しそう…。400年以上前から伝わる日本 の芸能ですが、大衆芸能という庶民の芸だけあって実はとっても分かりやす く、今の時代にも笑える話がいっぱい!「東洋館笑楽座」では"イラスト字幕" を使って、落語を聞いたことがない方やお子様、外国の方にも分かりやすく ご紹介します。太神楽曲芸、和妻といった日本独自の芸能を加え、60分に 凝縮した公演を披露いたします!

Takemaru Katsura (Rakugo), Michiyo Kagami (Daikagura acrobatics), Kyoko (Japanese traditional magic), and other MCs

#### 出演者

桂竹丸(落語)・鏡味味千代(太神楽曲芸)・きょうこ(和妻)他 MC

## Toyokan

浅草東洋	VN8	
3/24 🚱	Wed 24 March	19:00
3/25	Thu 25 March	19:00

Organized by: Agency for Cultural Affairs, Japan Arts Council, Rakugo Arts Association 主催:文化庁、日本芸術文化振興会、公益社団法人落語芸術協会







60min



Past the entrance lies a world of fun and excitement with many activities and surprises to enjoy. Everyone from children to adults can find their smile. A warm sense of kindness awaits those who pass through.

会場に入るとそこはワクワクドキドキの空間 様々な仕掛けやあそびが楽 しめて、おとなもこどももみんな笑顔。どこか暖かくて、ほっこり優し い気持ちが育つ場所

Shimo-Suwa Cultural Centre 下諏訪総合文化センター あすなろホール

VN11-3

3/25 3 - 31 3

Thu 25 March-Wed 31 March 10:30  $\sim$  16:00



A little bit of music and a short lecture. Everyone will be a Bon dancer in one song! Like no other traditional lapanese Bon dance with a twist.

ちょこっと演奏に、ちょこっとレクチャー。 1曲終わる頃には、誰もが盆ダンスダンサーに! いつもの日本の盆踊りとは、一味違います。

Shimo-Suwa Cultural Centre

下諏訪総合文化センター あすなろホール

VN11-3

Sun 28 March 19:00  $\sim$ 



# Residence Programme

Enjoy music regardless of age, nationality, gender or disability. A dance floor that everyone can enjoy.

世代も国境も、性別も障害も、すべての垣根を超えて 音楽を楽しもう。誰もが楽しめるダンス広場。

Shimo-Suwa Cultural Centre

下諏訪総合文化センター あすなろホール

VN11-3

3/27

Sat 27 March  $13:00 \sim 16:00$ 



An eye catcher open stage you can't pass by. 誰もがふと足を止めて見てしまう、オープンステージ。

Chino City Public Hall

茅野市民館

VN9

3/27 😑 - 30 🕸



# ネクスト・ジェネレーション 〈オンライン公開フォーラム〉

アシテジでは、毎年、児童青少年演劇の若手芸術家の交流と育成を目的とした「ネクスト・ジェネレーション」というレジデンス・プログラムを実施しています。毎回、世界各国から集った若手芸術家たちが、フェスティバル開催期間中に一緒に劇を観劇したり、セミナーやワークショップに参加したり、自国の児童青少年演劇の状況を報告したり、各々が持つ専門知識や技術を紹介したり、短編の劇を共同制作したりします。今回は、そのレジデンス・プログラムをオンラインで実施しています。

今回、本レジデンス・プログラム開催期間中に、3つのオンライン・公開フォーラムが開催されます。プログラムに参加している若手芸術家たちが、フォーラム参加者とともに、現在世界の児童青少年演劇が直面している問題について考えていきます。



# The Role of Theatre for Young Audiencesduring Pandemic Times

パンデミックにおける児童青少年演劇の役割

3月25日(木) 17時~19時



# How Can Theatre for Young Audiences help to Overcome Child Poverty?

児童青少年演劇は子どもの貧困を乗り越える一助となり得るか

3月26日(金) 17時~19時



# What Do We Need in Order to Produce TYA Productions in a Way That Better Embraces Diversity?

多様性ある児童青少年演劇の作品の創作には 何が必要か

3月29日(月) 20時~22時

登壇者:ネクスト・ジェネレーション参加者

進行:飛田勘文(早稲田大学/芸術文化観光専門職大学)

言語:英語/日本語通訳

助成:公益財団法人セゾン文化財団

THE SAISON FOUNDATION

公益財団法人セソン文化財団

# プログラムネットワーク・総会など

オンライン開催

オンラインとなりました。 詳しくはオンラインサイトをご覧ください

https://assitejonline.org/



60

# **Venue** Information

# 会場案内





20-10, Higashi-Ikebukuro 1-chome, Toshima-ku, Tokyo

7 minutes walk from Ikebukuro Station (East Exit) on JR and other lines.

〒 170-0013 東京都豊島区東池袋 1-20-10 JR 他各線「池袋駅」(東口)より徒歩7分

西武池袋本店





1-3-1 Kurihara, Adachi-ku, Tokyo

3 minute walk from Nishiarai Station (East Exit) on the Tobu Railway Tobu Skytree Line and Isezaki Line.

〒 123-0842 東京都足立区栗原1丁目3-1 東武鉄道 東武スカイツリーライン・伊勢崎線「西新井駅」(東口) より徒歩3分

# Hanamaru Group Oji Fringe Theatre

花まる学習会王子小劇場



1-14-4 Oji, Kita-ku, Tokyo

5 minute walk from Oji Station (North Exit) on the JR Keihin Tohoku Line or Oji Station (Exit 4) on the Tokyo Metro Namboku

〒 114-0002 東京都北区王子 1-14-4 JR 京浜東北線「王子駅」(北口)もしくは東京メトロ南北線「王子駅」 (4番出口)より徒歩5分

# Venue Information

# 会場案内



2-20-4, Minami-Ikebukuro, Toshima-ku, Tokyo

6 minutes walk from Ikebukuro Station (East Exit) on JR and other lines.

〒 171-0022 豊島区南池袋 2-20-4 JR 他各線 「池袋駅」 (東口) より徒歩 6 分

# Tokyo 東京会場 Yarai-nohgakudo 矢来能楽堂

60 Yarai-cho, Shinjuku-ku, Tokyo

セブンイレブン

Yarainohgakudo

矢来能楽堂

2-minute walk from Kagurazaka Station (Exit 2) on the Tokyo Metro Tozai Line.

〒 162-0805 東京都新宿区矢来町60 東京メトロ東西線「神楽坂駅」(2番出口)より徒歩2分



9-10, Okubo 1-chome, Shinjuku-ku, Tokyo

8-minute walk from JR Shin-Okubo Station (Yamanote Line) or Higashi-Shinjuku Station (Tokyo Metro)

〒 169-0072 東京都新宿区大久保1丁目9-10 JR 山手線「新大久保駅」 もしくは東京メトロ「東新宿駅」 より 徒歩8分



1-43-12 Asakusa, Taito-ku, Tokyo

10 minutes walk from Asakusa Station (Tokyo Metro Ginza Line, Toei Asakusa Line), 30 seconds walk from Asakusa Station (Tsukuba Express)

〒 111-0032 東京都台東区浅草 1-43-12 東京メトロ銀座線・都営浅草線「浅草駅」より徒歩 10 分・ つくばエクスプレス「浅草駅」より徒歩 30 秒

# Venue Information

# 会場案内

Nagano

長野会場



会場を結ぶバスが運行予定



Nagano 長野会場

5-12-18, Lakeshore Street, Suwa City, Nagano Prefecture

13 minutes walk from Kami-Suwa Station on the JR Chuo Main Line

〒 392-0027 長野県諏訪市湖岸通り 5-12-18 JR 中央本線「上諏訪駅」より徒歩 13 分

# Chino Cultural Complex 茅野市民館 ThRE THRE

1-1-1 Tsukahara, Chino City, Nagano Prefecture

Directly connected to Chino Station (East Exit) on the JR Chuo Main Line

〒391-0002 長野県茅野市塚原一丁目1番1号 JR中央本線「茅野駅」(東口)直結

# Simosuwa Culture Center 下諏訪総合文化センター



VN10



4611-40 Nishitakano-cho, Shimosuwa-cho, Suwa-gun, Nagano Prefecture

7 minutes walk from Shimosuwa Station on the JR Chuo Main Line

〒 393-0087 長野県諏訪郡下諏訪町西鷹野町 4611 - 40 JR 中央本線「下諏訪駅」より徒歩7分

# Offline Ticket Sales

#### **Advanced Tickets**

Set Tickets	Price (tax included)	Note
A set	21,000 yen	15 Tickets
B set	18,000 yen	10 Tickets
C set	11,000 yen	5 Tickets

\* Ticketing fee at convenience stores is 110 yen per ticket.

Single Ticket	Price (tax included)	Note	
General	3,500 yen	Usable for	
Children and Youth (3 to18 years old)	1,000 yen	performances and workshops	

A ticketing fee of 110 yen per ticket is required at convenience stores.

# [About BABY Program Tickets]

For BABY Program tickets, please apply directly to the respective theater company.

(Contact information is listed in the remarks section of the program page on the conference website.)

The prices for some of "Baby" performances are 1,000 yen for a pair of adult and child, 1,000 yen for additional adult, and 500 yen for additional child.

# [The Same Day Tickets]

The same day tickets are available only when there are seats remained and shall be sold at the ticket center and the venue at the same price as the advanced tickets.

## [How to buy the advanced tickets]

- 1. Fill the form and select the tickets on the ticket sales website.
- Settle the payment after you receive an e-mail of application completion.
- 3. Following the instruction of an e-mail of ticketing guidance, issue the exchange tickets at Family Mart (company) Convenience Store.

## [Cancellation Policy]

Please check the website.

## For audience purchasing tickets

The ticket sales website is written only in Japanese. For more information, please contact the ticket center by e-mail.

Ticket Center mail: ticket2020miraifes@gmail.com

# 対面式チケット販売について

#### 【前売り券】

《セット券》券種	価格(税込)	備考
セット券 A	21,000 円	チケット 15 枚
セット券 B	18,000 円	チケット 10 枚
セット券 C	11,000 円	チケット 5 枚

※それぞれコンビニでの発券手数料 110 円 / 枚を含みます。

《単券》券種	価格(税込)	備考
一般	3,500 円	公演や、ワーク ショッププログラム
子ども (3歳以上~18歳以下)	1,000 円	に使用可能。

※コンビニにて発券手数料 110 円 / 枚が必要です。

#### 【BABY 作品のチケットについて】

BABY 作品のチケットは、直接各劇団にお申込みください。 (連絡先は大会 HP プログラムページ備考欄に記載) チケット販売サイトからは、購入できません。

親子1組 1,000円 大人追加 1,000円 子ども追加 500円 見学 3,500円

#### 【当日券】

公演当日、残席があった場合にのみチケットセンター窓□及び会場にて、前売りチケットと同額で販売します。

# 【前売り券購入方法】

- ①チケット販売サイトにて必要事項を記入、チケットを選択し、申込。 ②申し込み完了メール、決済案内メールに従って決済。
- ③発券方法案内メールに従い、ファミリーマート(コンビニエンス ストア)にて、各自チケットを発券。

#### 【チケットのキャンセルについて】

ホームページにてご確認ください。

#### 豊島区限定 小・中学生オンライン上映無料招待

豊島区在住の小・中学生(令和2年度)を、舞台作品のオンライン上映視聴参加(1作品分)に無料でご招待します。HPのお申し込みフォームを送信ください。 鑑賞期間:令和3年3月22日(月)~4月11日(日) ※上記期間中、オンライン上映を鑑賞いただけます。(3月31日までに要申込)



対象:令和2年度の豊島区在住・在学の小・中学生

# 長野会場限定子ども無料招待

「アシテジ楽しむサークルすわ」 対象 3 歳以上~18 歳以下

茅野市民館までご来館またはお電話にてご登録ください 受付期間:3月1日(月)~21日(日)※公演ごと先 着順(なくなり次第終了)※対象外の公演もございます。 ※詳しくはお問合せください。



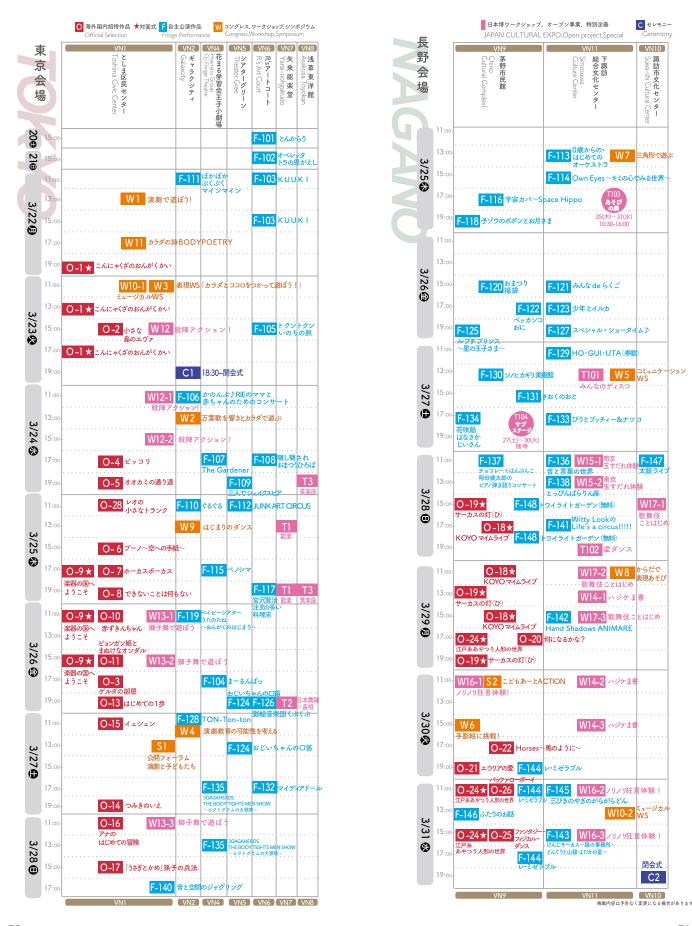
## - チケットに関するお問い合わせ

チケットセンター

TEL: 070-4135-6744

mail: ticket2020miraifes@gmail.com





C セレモニー

VN10

諏訪市文化センター Suwa-shi Cultural Cent

三角形で遊

W17-1

閉会式

C2

VN10

# 第20回アシテジ世界大会・東京実行委員名簿

```
代表
森田 勝也
副代表
石坂 慎二
プロダクションチーム:総合プロデューサー・芸術監督
プロダクションチーム:事務局長
森本 真也子
プロダクションチーム:事務局次長
太田 昭
          大谷 賢次郎
                      前村 晴奈
プロダクションチーム
           林 由佳里
                      浜渦 京子
鈴木 徹
柴田 ゆき
           野田 あさ子
片谷 茜
           星 幸恵
世界大会・フェスティバル部会別責任者
田辺 慶一
           關 秀哉
                      漆畑 栄子
宮本 健太郎
           橋本 勇太
                      石川 哲次
後藤 圭
           島田 静仁
                      辻野 隆之
世界大会部会
           百合岡 依子
                      木村 たかし(隆)
ふじた あさや
飛田 勘文
           山本 茂男
                      高橋 秀和
新井 浩介
           成沢 布美子
                      神尾 タマ子
小林 由利子
           藤崎 万喜男
                      野口 祐之
福山 啓子
           オオハシ ヨースケ
                      功刀 達哉
荒川 貴代
           大垣 花子
                      畠山 保彦
金平 純三
           林 久博
                      大和 滋
フェスティバル部会
           大森 智恵子
                      松本 則子
大澗 弘幸
大原 淳司
           大沢 直
                      渋沢 やこ
中市 真帆
           多田 純也
                      土屋 由紀子
上保 節子
           白石 武士
                      永野 むつみ
吉田 明子
           町永 義男
                      辻野 隆之
大森 ちづえ
           椛山 麻季子
                      津田 益宏
田辺 素子
           高柴 秀樹
全国展開・こどもあーと ACTION 部会
半谷 邦雄
           糸山 嘉彦
                      三澤 江津子
中村 匠子
           庄司 真咲美
                      馬路 清美
平松 隆之
           竹内 亮治
                      籾倉 靖子
           藤 英子
久保田 カ
                      宇野 京子
柳 弘紀
           吉田 まさ子
入本 敏也
           新垣 理恵
広報部会
           近藤 理恵
                      髙野 多恵子
鶴田 和
岡元 はな
           沼倉 智弓
総務スタッフ
原田 亮
           山内 朱美
                      川上 晶子
早坂 綾子
                      長谷川 直子
           遠藤 貴子
通訳翻訳スタッフ
                      中飯田 千彩
宮内 奈緒
           川村 真奈
山内 友美
           後藤 真理子
                      中根 恵梨
千代 その子
           後藤 祥子
                      仁科 太一
阪本 由貴
           湖浜 文優
                      西村 りな
加藤 智子
           符島 典子
                      信國 直理子
           佐藤 亜莉紗
関谷 敦子
                      濱野 あづさ
ウルフ 友子
           重畠 泰代
                      細貝 薫子
中林 敦子
           柴田 愛奈
                      前田 佑菜
秋元 春生
           下山 あさき
                      目取真 さち子
荒川 貴代
           高倉 瞳
                      山上 優
イ・ミヒ
           高橋 真奈実
                      山下 美穂
猪熊 由里子
           譚 振華
                      湯浅 彩子
           丹治 晴香
越前 裕美
                      吉武 萌
岡野 珠代
           角折 弘子
                      連変 零
小澤 清美
           豊島 浩嵩
                      黄 寅樹
スペシャルサンクス
           杉本 いずみ
西上 實樹
                      高柳 幸
川中 美紀
           巻島 淳子
                      井藤 あやほ
大沢 愛
           橋本 京子
                      久井 正樹
中立 公平
           乗松 好美
                      林 知一(弁護士)
望月 弘子
           野口 勝央
                      NPO 法人すわ子ども文化ステーション
大野 紀子
           長野 花奈枝
                      岡谷子ども劇場
近藤 三知香
                      茅野おやこ劇場
           高松 玲亜
森本 秀子
           新井 勝義
                      NPO 法人サポート C
水津 由紀
           市川 ひとみ
                      すわ湖市民劇場
樋口 麻子
           松澤 文子
                      長野県子ども劇場おやこ劇場協議会
                      北信越子ども劇場おやこ劇場連絡会
```

# 未来フェスについて -

# 2020 国際子どもと舞台芸術・ 未来フェスティバル

世界中の多様な子どものための作品公演が対面式・オンライン式で行わ れます。日本の子どもたちに豊かな世界を届けるとともに、世界中の関 係者や大人が鑑賞し話し合い、子どものための舞台芸術の未来をつくり

international MIRAI festival is also organised to present a selection of the world's most outstanding works in theatre for children and young people. It is the most important event for ASSITEJ and those who are involved in theatre for young audiences.

# 全国展開

日本各地での海外作品ツアーを考えていましたが、新型コロナウイルス の影響でほとんどが中止となりました。いくつかの公演は未来フェス関 連作品に振り替えて実施いたします。最後の最後まで検討してくださっ た関係者の皆様、本当にありがとうございました。

催:第20回アシテジ世界大会・東京宝行委員会 ÷

援: 文部科学省/厚生労働省/外務省/東京都教育委員会/ 後 朝日新聞社/長野県/長野県教育委員会/茅野市/諏訪市/ 岡谷市/下諏訪町/富士見町/原村

> 茅野市教育委員会/諏訪市教育委員会/岡谷市教育委員会/ 下諏訪町教育委員会/富士見町教育委員会/原村教育委員会

提 携:茅野市民館指定管理者 株式会社地域文化創造

協 力:長野サポートチーム

協 賛:豊島区 特別協力:足立区

広告協賛:パナソニック株式会社

ъ\$::







令和2年度日本博主催・共催型プロジェクト



文化庁文化芸術振興費補助金(国際芸術交流支援事業) 独立行政法人日本芸術文化振興会



芸術文化振興基金助成事業



7-kye-Tokyo 公益財団法人東京都歴史文化財団アーツカウンシル東京

THE SAISON FOUNDATION

公益財団法人セゾン文化財団

72 7.3

# 特別冊子



# こどもあーと ACTION が ここから始まったことを忘れないために

2018 年 11 月、第 20 回アシテジ世界大会に向けての準備が新しい体制で始まりました。 まず世界大会のミッションを、「子どもや若者の文化的な生活や芸術への参加機会に格差なく、 差別排除のない、『誰一人取り残さない』(SDGs より)社会を実現する」と定め、「子ども、文化。 それが私たちの未来。All our Future:Children and Culture」をテーマとして掲げました。 そのために、子どもと文化を考える 1000 のプラットフォームを作り、ネットワークを広げて、 子どもと文化の世界にレガシーを残すことを目標にしたのです。

動き出してからの1年、課題は山積み、未経験のことばかりの中、無我夢中に準備をしていました。 実施までいよいよ数ヶ月という 2020 年2月。世界中が新型コロナウイルスの感染拡大に大揺れとなり、 遂に 2020 年4月に延期という判断を下しました。

緊急事態宣言で何もかもが止まった数ヶ月。子どもも大人も迷い、怯え、苛立ち、息の詰まる日々を 過ごしました。子どもたちの成長にとって必要な人との触れ合いや密になって戯れることができなくなり、 心に落とした影響は計り知れないものでした。

「人と会いたい」「みんなと遊びたい」「もうコロナって言わないで」 そんな子どもたちの声が大人を動かしました。人との距離が心の距離にならないようにと、 子どもの生活にも活動が始まったのです。

第 20 回アシテジ世界大会も、2021 年 3月に東京と長野で開催することを決め、準備が始まりました。 アシテジ世界理事会からアシテジマニフェストが提示され、世界中の加盟国の参加で議論されました。 しかし私たちは日本と世界の事情との違いに驚き、日本版のマニフェストを作ることを目指して アシテジ未来ミーティングを始めました。立場の違う分野で語られ引き継がれてきた情報、

子どもや文化に関する情報など、専門家も含め、学びながら考えを交流してきました。

最終回では「ここから始まる私たちのマニフェスト」と題し、ミッションに掲げた SDGs の精神から、

まず一人一人が「自分のできること」を宣言することで一つの区切りとしました。

このアシテジ未来ミーティングが 1000 のプラットフォームの動きを押し上げ、

コロナ禍の子どもたちの声と合わさって、「こどもあーと ACTION」に広がって行ったのです。

2度目の緊急事態宣言とその延長により、海外の作品は来れなくなりました。

でも、2年以上に亘る私たちのこの積み重ねを、

何としても子どもと文化のレガシーにつなげたいと思います。

第20回アシテジ世界大会がスタートとなり、

各地域で様々な活動が生まれ、各自治体で新しい制度につながり、 子どもの文化を豊かにする条例や子ども文化基本法に繋げたいと思います。

子ども、文化。それが私たちの未来。All our Future: Children and Culture

# アシテジ未来ミーティング 開催概要

第一回 「アシテジとは何か? 何故世界と繋がるのか?」 2020年9月10日(木) 20:00~22:00

第二回 「子どもの文化の歴史を知る」 2020年9月17日(木) 20:00~22:00

第三回 「子どもの文化の歴史を知る第二弾~子どもについて語ろう~」 2020年10月8日(木) 20:00~22:00

第四回 「子どものあそぶを知る」 2020年10月22日(木) 20:00~22:00

第五回 「文化権を知る」 2020年11月12日(木) 19:30~21:30

第六回 「**文化権を知る・2**」 2020年11月26日(木) 20:00~22:00

第七回 第七回 2020年12月10日(木) 20:00~22:00

第八回 「アシテジ世界大会・未来フェスの魅力を知る」 2020年12月24日(木) 20:00~22:00

第九回 「世界アシテジマニフェスト日本語版を知る」 2021年1月14日(木) 20:00~22:00

第十回 「実演家アーティストの今を知る~これからの期待・希望~」 2021年1月28日(木) 20:00~22:00

第十一回 「学校・地域・施設を知る」 2021年2月11日(木) 20:00~22:00

第十二回 「未来への提案」 2021年2月25日(木) 20:00~22:00

「未来への提案 2」 6 2021年3月11日(木) 20:00~22:00 第一回アシテジ未来ミーティング・2020年9月10日(木)20:00~22:00 zoomにて



# 🗫 「アシテジとは何か? 何故世界と繋がるのか?」

講師:大谷賢治郎(アシテジ世界理事)

下山久(アシテジ世界大会芸術監督・総合プロデューサー)

# ■大谷:子どもにとって何をするべきかが常に中心に ある熱い会議。

児童青少年の演劇がどのような役割を果たすのか?舞台 芸術が、子どもたちの癒しになるのか?など。

ワーキンググループ・プロモーション:広報・プロトコール: 規則・パブリケーション:出版物。3年に1回の世界大会と、 間の年にアーティスティックギャザリングを行なっている。 初回のギャザリングは、沖縄のキジムナーフェスタ(現: <mark>りっかりっかフェスタ)が</mark>開催地。そこ<mark>で</mark>初めて「マガジ ン」(タイトルは「命藥」 = Theatre for medicine.)を 発行。初めて英語と日本語の二ヶ国語で作り、それ以降、 ホスト国と英語の二ヶ国語で作るようになった。http:// www.assitej-international.org/en/assitej-in-theworld/the-magazine/

日本語で世界の人たちと繋がれる大きなチャンスだと思 い演劇の外交官みたいな仕事がしたいと気づかせてくれ たのがアシテジだった。子どもの頃から障がいのある子 ども、支援の必要な子どもがいるという環境は当たり前 だった。その子どもたちと劇を作ったりもした。そんなこ とを世界でもやれたらという思いがある。子どものための 舞台は、当たり前。子どもの権利。これも当たり前。「当 たり前」がもう一度主導権を握るような社会を作りたい。 今日の当たり前でない世の中で、当たり前をもう一度当た り前に、そして未来のことを考えたフェスティバルに。未 来がどのようになるかわからないこの時代において、クリ エイターができることは大きい。これを現実にしたい。

# ■下山:1985年の子どものための舞台芸術佐渡大祭典 に参加し、そこで初めて世界の演劇に触れた。

アシテジフェスティバルは世界中の人が集まり作品を見 合う場だと知った。言葉を使わなくても演劇ができるの だ!と思った。日本語の中だけで演劇をやっていたから、 もっと表現を探さないといけないと思った。アジアの子ど もたちにこそ生きる力になるような舞台を届けなければな らないと思っている。フェスティバルを通して様々な国の 文化と交流したい。世界中が舞台芸術を通して繋がるこ とができたら素敵だ。

#### 質問:日本での世界大会開催に期待していることは?

- ■大谷: 今はコロナの影響、2012年のギャザリングも前 年に起きた東日本大震災を超えて開催。困難を越えて話 し合う非常に大事な機会になると信じる。
- ■下山: あらゆる人たちが世界につながっていく窓口に なりたい。観劇が中心に置かれることが多いが、アシテ ジは芸術実践者だけではなく科学者と話すなど舞台芸術 分野を超えて全ての「子どものための活動をしている人」 とコミュニケーションをとり始めている。その一つとして 「アーティスティックエンカウンター」というプログラムを 行っている。今回東京、長野両方で行う予定。創造者、 児童・青少年に関わる様々な実践者が交流するプログラ ムを考えている。「未知なる未来へ」という大会テーマに 基づき、世界理事を中心にコンテンツを考えていて日本 語通訳も入り未来に向かっての会話をしたい。

# ●フリートーク

島田 (アシテジ全国展開担当):コロナの問題は大い。ど のような公演、交流の仕方がいいか、逆境を乗り越えた い。

後藤(劇団かかし座代表):子どもをどう捉えるか、届け る作品をどうしたらいいか、3月まで劇団が続くのかとい うリアルな問題など大変な思いをしている創造者も多い。 生き延びて3月を迎えたい。

森田 (アシテジ日本センター会長):大変だからこそ記憶 に残る大会になる。子どもたちの文化体験の原点になる 話ができれば。フェスティバルでは舞台を観ること自体 が楽しかったが今回はそれ以上に意味のある大会に。

大谷:大学でもオンライン授業。本当はインタラクティブ なものにしたい。3月に向けても、オンラインでのイベン トも行いつつ、話し合う場も作れれば。

下山:一番大変な状況にある子どもたちに生きるって素敵 だなと思える舞台を1日も早く届けること。そして、世界 の様々な考えと繋がってほしい。世界と課題を共有してほ しい。ぜひ大会に参加してください。

第二回アシテジ未来ミーティング・2020年9月17日(木)20:00~22:00 zoomにて



# 🚘 「子どもの文化の歴史を知る」

講師:高坂諭(アート企画ひだまり代表)

清水 忠 (編集耕人社主宰・元子ども劇場おやこ劇場全国連絡会事務局)

# ■高坂 諭:「子ども舞台芸術佐渡大祭典 (1985 年)」の 開催に至った道・その成果と未到達点

【語り終えて】少し補足説明をしたいと思います。1948 年(昭23)発足の日本児童作家協会。10年後の58年、 日本児童演劇協会と改組。日本の児童劇の国際化も視 野に、世界の児童劇の情報収集を計る。63年、「ソビエ ト児童演劇」西郷竹彦、「ヨーロッパの演劇」(帰朝報告) 栗原一登。64年、「ソ連」村瀬幸子。「東独・西独」加 藤衛。65年、「アメリカのクリエイテブドラマテックス」(ノー スウエスタン大学製作映画)、「欧米の児童演劇」岡田陽。 この様に、85年"佐渡祭典"の20年前に、「世界の児 童劇を聞く会」を開催し、やがて来る"国際交流"の助 走をしていた先達、大先輩の志と歩みが、各祭典を経て、 今回の「第20回アシテジ世界大会/未来フェス」へと繋 がっているのだと思う。成功を願わずにはおれない。

#### ■ 清水 忠:「子ども劇場」の誕生と社会に果たした役割

【語り終えて】「子ども劇場」は、日本の児童文化にとっ てのエポックメーキング、つまりそれまでの時代とは違っ た意義・特色を持つ児童文化の先駆けとなりました。そ れまでは行政の役割だと認識されていた「子どもを対象に した文化政策」や「文化事業」の内容に影響を与え、協 同の場を生み出してきたのも事実です。また創造団体と ともに「作る側」「観る側」の枠を超えて、共に文化を作 り出す関係をもったことも児童文化史に於ける画期的な 出来事でした。 そのことは児童演劇の提供と享受の場や 機会を飛躍的に増やしましたし、そのことで作る側の創 造意欲が高まり、幅広い年齢層の子どもたちを視野に置 いた新しい手法や革新のキッカケも生まれました。その 結果として「劇団は到達しえた最高の創造を子どもたちに 届けるよう努力」し、「子ども劇場は鑑賞例会活動の成功 と発展のために努力する」という合意も生まれました。こ こまでは歴史の事実としてしっかりと受け止めたいことで す。しかし、次の、その先の展望をどう切り開いてきた のかということに私たちは目を向けなければなりません。 創造・発展とは、同時に数多くの矛盾や課題を抱え込む ことでもあります。そのとき常に自己革新性を失わないこ とが大事だと考えます。だから抱え込んだら、また手放す。 そのくりかえしの中にこそ、子ども劇場にも創造団体にも、 次の新しい姿が生まれていくのだと思うのです。

「佐渡祭典」は、子ども劇場と創造団体が児童演劇、舞 台芸術、児童文化運動の到達と課題を客観的に見つめあ い展望する場として 1985 年に開催されたものでした。し かし、成果と共にそこに映し出されたほころびや未成熟 もありました。それはとりもなおさず企画に携わった者す べての存在と関係、またその時代に生きた大人達の現実 でもあったと思います。だからこそ常に「咀嚼し、批判し、 みずみずしく討論する」。自らの現実に甘んじ、目をつぶり、 口をつぐむべきではないと考えます。それが「新しい子ど もの文化」の創造に携わる全ての大人の責任だと思うか らです。「子どものことを語る」ということ、それは「大人 のことを語る」ことでもあると思います。

# ● 広報戦略室として参加した感想

浜渦:子どもと文化の分野で、子ども劇場が担ってきた役 割について学び、正直驚きました。地元では30年も活 動が続いているのに認知度は低く、「子どもとお母さんの 会」と思っている方も多いです。今後、劇場と学校、行政、 さまざまな立場の大人が、どれだけ力をあわせていける のか、未来フェスティバルが関係を再構築していく場にな ればいいと思います。

茜:子どもたちが主体的に動くためには、エネルギーを充 電することが必要。それには大人の時間やアイディア、余 裕が必要だと感じました。ちょっと立ち止まる時間やいろ んな方向で物事を考えたりみたりすることができる舞台 芸術を拡げていきたいです。遠い遠い時代には心にも時 間にも余裕があったのでしょうね。

前村: お二人のお話を伺い、今私たちにできることは、 子どもの周りにいる様々な立場の大人たちが繋がり合い、 意見を交わし、互いに認め合いながら継続していくことだ と改めて感じました。開催後の人のネットワークや、フェ スティバルから生まれた新たな活動や文化を大切に育て ていくこと、そのことをイメージして、本番まで頑張ろう! と、密かにとても前向きな気持ちになっています。

# 明治以前の子どもの文化について

紙芝居→ルーツは絵巻物・関東大震災後人気に。芝居・踊り・太鼓→アマノウズメの「岩戸隠れ」・宗教的儀式(祭り)・政治との結びつきがあった。戦もなくなり平和になった江戸時代には、子ども文化も発展。おにごっこ、かくれんぽなどの仲間遊びが発展し、仕掛けや動きのあるおもちゃが多く作られた。

	1903		1923	1937	1941	1945
社会				1937 (昭和 12) 日中戦争開戦	1941 (昭和 16) 太平洋戦争開戦	1945 (昭 20) 広島、長崎に原爆投下・終戦
児童演劇	1903 (明 36) 川上音二郎一座、お伽芝居を 東京・本郷座で初めて上演				1944 (昭 19) 東童第 63 回公演 *戦前最後の公 演	戦後の何もかも、価値観の一変する中で、「日本の未来を考えることは、これからの日本の子どものことを考えること」という思いと視点を持ち、多くのアマチュア劇団、専門劇団、職業劇団が生まれていくことになる
子どもの文化	明治になり学制がしかれ、識 字率もあがったことから、児 童文学も発展。「赤い鳥」創 刊など		1923年の関東大震災 後、失業者の子どもた ち相手の日銭稼ぎとし て東京下町に街頭紙芝 居誕生	戦時下では、愛国 心高揚などを目的 とした童話などが 書かれた		
学校・教育	明治4年文部省設置明治5年学制	西洋・近代化を 目指した教育 (西 洋音楽・美術)	1924 (大 13) 「学校劇禁止令」通達		1942 (昭 17) 日本少国民文化 協会発足	
文化政策						
劇場						

	1946	1948	1949	1951	1952	1953
社会	1946 (昭 21) 日本国憲法公布			1951 (昭 26) サンフランシス コ条約調印		
児童演劇		1948 (昭 23) 現在の(社) 日本児童演劇協会 (児童劇作家協会) 創立・学芸会が盛んに。『脚本集』の 出版つづく。全国各地で研究会や連合学芸会が始まる。学校劇の講習会も。			1952 (昭 27) 「児童演劇協議会」創立。 俳優座・プーク・新児童・ 東童など 24 劇団	
子どもの文化				1951 (昭 26) 児童憲章制定		
学校・教育	1946 (昭 21) 前進座青年劇場第 一回学校巡回 (都下) 『レ・ミゼラブル』	1947 (昭 22) 新学制 (六·三制)	1949 (昭 24) 人形劇なかま座、教祖 と共同で夏休み子ども 会巡回公演 (東京)			1953 (昭 28) 都教委 主催「児童演劇コンクール (東京都優秀児童演 劇選定)」開始
文化政策						
劇場						

	1960	1961	1962	1964	1965
社会	1960 (昭 35) 安保闘争·三池闘争			1964 (昭 39) 東京オリンピック	
児童演劇	1960 (昭 35) 「カレドニア号出帆す」(風の子)上演東京都児童演劇コンクール奨励賞、 NHK 脚本賞受賞・日本芸能実演家団体協議会 (芸団協) 発足・西日本児童演劇協議会創立 (関芸・クラルテ・人形京芸等7劇団)		1962 (昭 37) 前年度に設定された 「斎田喬戯曲賞」(第 一回は受賞作なし) に多田徹作『ボタッ 子行進曲』(風の子)	国際青少年演劇 会議。落合聰三郎・岡田陽ら8名	1965 (昭 40) 世界アシテジ発足
子どもの文化	60年初め、「母と子の20分間読書運動」60年代後半、「親子読書運動」「文庫活動」60年代、「紙芝居運動」、幼児保育者中心の研究会にとどまる1966年、共同映画社「人形劇映画・竜の子太郎」学校・幼稚園・保育所・教祖・母親による巡回映写会を皮切りに「親子映画推進運動」として始まる60年代後半に入り大劇場・高料金・大動員を目指すファミリー劇場方式の児童劇公演増える。木馬座ブーム、日生・朝日・東宝・民音等。リベート、園、学校丸ごと公演固定化など問題も浮上。子供会年々増加傾向に。その8割は年数回の催し物を開くことで維持。自然発生ではなく、子どもの発意でもなく、人為的に増加。青少年健全育成、スポーツ体育普及、奉仕連帯の市民教育、を目的に行政官庁の強い指導、指示、支援で増加。こうした実態から、後に子ども劇場発足では子どもをとらえる視点として「子供」でなく「子ども」と表現。				
学校・教育	1960 (昭 35) 「児童演劇地方巡回公演」(文部省助成)開始	1961 (昭 36) 新教育課程小学校 に実施	1962 (昭 37) 新教育課程中学校に 実施		
文化政策					
劇場					

	1973	1974	1975	1977	1979	1980
社会	1973 (昭 48) オイルショック					
児童演劇	1973 (昭 48) 「宝のつるはし」 (風の子)	1974 (昭 49) 第1回児童演劇の現状と未 来を話し合う会、日本青年 館、130 名/全国子ども劇 場おやこ劇場連絡会発足、 94 劇場、128,909 人	1975 (昭 50) 日本児童演劇劇団協議会 (代表幹事・多田徹) 発足、 53劇団/子ども劇場例会 作品紹介全国パンフ発行		1979 (昭 54) アシテジ日本センター創立 /日本青少年音楽団体協議 会発足/児童演劇にかかわ る5団体による「政党に文 化政策を聴く会」	
子どもの文化	1973 年、ミヒャエルエンデ「モモ」 灰色の男たちによってがんじがらめのされて いく大人、子どもたちの姿をリアルに描いた 「時代が変わったんだ」「何もかも変わった んだ」「何か役に立つことを覚えさせるため のものばかりで」「時間をけちけちすること でうしなってしまったもの」それは「楽しい と思うこと、夢中になること、夢見ること・・・」					
学校・教育	1973 (昭 48) 中児審 「子どもの遊び場確保 について」 通達				1979 (昭 54) 国公立大学共通一次学力 試験実施	1980 (昭 55) 小学校新教育課程 スタート 「ゆとり」
文化政策		1974 (昭 49) 文化庁こども芸術劇場発足		1977 (昭 52) 音楽議員連盟発足	1979 (昭 54) 児演協と子ども劇場が合意 書「例会企画に関する申し 合わせ」を締結/子ども劇 場47都道府県236劇場 29万人	
劇場						

1966	1967	1970	1972		
1966 (昭 41) 中国文化大革命		1970 (昭 45) 日本万国博覧会 (大阪)	1972 (昭 47) 沖縄県発足/ 日本列島改造 論・光化学ス モッグ発生		
戦後のこども達に平和と民主主義を希求する新しい文化をという啓蒙的な視点を持ちながら、児童演劇人と教師が提携して様々に努力してきた中でも乗り越えられなかったことが、子ども劇場の誕生がキッカケになり初めて越えられたことや、またその緒に就いたという実感が生まれた		1970 (昭 45) 日本児童演劇協会、社団法人認可/西児演が全 国児童演劇協議会」(全児演)に。 20劇団加盟	1972 (昭 47) 東京児童演 劇劇団協議会 設立、首都圏 25劇団参加		1970 年代の終盤に鉄の時代から文化の時代へと経済企画庁が文化産業論」を展開。1980 年台半ばには「行政の文化化」の動き。1986 年には文化庁による「芸術活動振興のための新たな方途」。1988 年を起点に企業メセナ」の台頭
子ども劇場・活動の 2 本の柱 「直接体験」→自主活動 体と五感をフルに働かせ、心身を躍動させ、 好奇心や想像力を育むナマの体験 「間接体験」→鑑賞活動 人類が長い間築いてきたすぐれた文化・芸 術に触れ、芸術活動に参加し享受する体験	1967年10月現在の管制 少年少女組織→ポーイスカウト、ガールスカウト、ガールスカウト、海洋少年団、日本青少年赤十字、スポーツ少年団、少年消防クラブ、子供会連合会に小中学生1500万人中897万2169人(59%)が組み入れられている。			コンクリート建造物が日本中を 席巻し子どもの遊び場が激減。 加えて教育環境、生活環境の 変化も手伝って子どもの中から 遊びの3要素「場所(空間)・時間・友達(仲間)」が姿を消して いった。「コマ切れのサンマ](3 つの間)と言われた。それは日 本の大人たちのはかり知れない 大きな責任	
「期待される人間像」世の中に見合った子どもと考えるのか、世の中を創っていくことができる子どもと考えるのか	1968 (昭 43) 小学校学習指導要領告示				
	1968 (昭 43) 文化庁発足				
1966 (昭 41) 福岡市に全国初めての子ども劇場が発足					

1981	1983	1984	1985	1985	1986
	1983 (昭 58) 東京ディズニーランド開園			1985 (昭 60) 日航機事故	1986 (昭 61) チェルノブイリ原子力発 電所事故発生
	1983 (昭 58) 「子どものための舞台芸術 家による核兵器廃絶の会」 発足	1984 (昭 59) 「第 1 回全日本子ども のための舞台芸術大 祭典」の実行委員会 発足	1985 (昭 60) 「第 1 回全日本子どものための舞台芸術大祭 典」(8月・佐渡島) 出演団体 65 団体、舞台 劇 32、人形劇 9、影絵 5、音楽 15、古典 4 (記 念公演 8、巡回公演 69、小型 20、アマチュア 7、 野外 6) 参加数延 3 万 3300 人		
	1983 年 かこさとし→ [三ずの川] を渡った子どもがあふれ たと警告 「遊ばず・学ばず・手伝わ ず」任天堂ファミリーコン ピュータ 発売			1985 (昭 60) 渋谷「こどもの城」 開場	1986 (昭 61) 青山こどもの城にて 「子どもの本世界大会」
1981 (昭 56) 青音協と子ども劇場が合意 書「例会企画に関する申し 合わせ」を締結		1984 (昭 59) 文化庁 「中学校芸術 鑑賞教室」 開始 (「本 物の」 に発展していく)			

	1988	1989	1990	1991	1992	1993
社会		1989 (平元) 消費税実施/ベルリン の壁撤去			1992 (平 4) WHO エイズリポート発 表	1993 (平 5) 地球環境サミット開催
児童演劇	1988 (昭 63) 子どもの未来を考える集い 「小豆島演劇祭」 規模を縮め 26 作品、38 公 演、海外2 組、参加延べ数 15,246 人 以後 (両津、吹田、 岸和田など) 地域祭典増える		1990 (平2) 「第10回アシテジ世界大 会」で、土方与平氏が最高 点で理事に選出	1991 (平3) 「第2回子どものための 舞台芸術大祭典」80 団 体 100 作品 (佐渡島)		1993 (平 5) 「北海道こども舞台祭典」開始
子どもの文化		1989 (平元) 国連総会子どもの権 利条約採択		1991 (平3) 世界子どもサミット開催		
学校・教育			1990 (平 2) 芸術文化振興基金創設、政 府五百億円、民間百億円、 計六百億円/「企業メセナ 協議会」発足・芸術文化振 興基金創設・自治体基金各 地区で創設		1992 (平 4) 学校週五日制開始、9 月 より毎月第二土曜日、学 校休日	
文化政策					1992 (平 4) 文化経済学会 (日本) が 発足	
劇場			合意書見直し論議始まる。 ① もれなく対象 ② 二つの望ましい ③ 劇場運動協力費		1992 年 神戸にて子ども舞台芸術 新作フェスティバル 「キッ ズ&アーツ」 開催	

	2001	2002	2003	2005	2007	2009
社会						2009 (平 21) 新型インフルエンザ大流行
児童演劇		2002 [第 14 回アシテジ・ソウル 世界大会] 日本から 466 名参加 (風の子九州・青年 劇場・キオ・ともしびが公演)	2003 (平 15) 児童青少年演劇生誕 100 年	2005 (平 17) 沖縄 「キジムナーフェス タ」開始・「EU児童青少 年演劇日本縦断招聘公演 2005」開催	2007 (平 19) 協会主催 「中国児童青少年 演劇優秀舞台公演」 4劇団 5作品を招聘	2009 (平 21) アシテジ日本センター 創立30周年事業
子どもの文化	「商業主義文化」「情報メディア文化」の支配により子どもの生活行動と生態系は変質し、自然体験、自主的な遊び、仲間文化が姿を消した					
教学を		2002 (平 14) 学校完全週五日制実施				
文化政策	2001 (平 13) 12月 「文化芸術振興基本法」 公布・施行	2002 (平 14) 『文化芸術に関する基本的な方針について(基本方針)』 閣議決定。 文化庁による、 子どもの文化政策として学 校派遣事業開始	2003 (平 15) 文化芸術推進フォーラ ム発足			
劇場		2002 (平14) 協会・児演協・青音協・全 人協・演教連・子ども劇場 で「子どもと舞台芸術推進 会議」を設立。要望書提出				

1994	1995	1996	1997	1998	1999
	1995 (平7) 阪神大震災/地下鉄サリン 事件				
1994 (平 6) 「'94 国際児童・青少年 演劇フェステバルおきな わ」海外 17 作品	1995 (平 7) 児演協 20 周年記念 「'95 夏・こどもたち・未来」 76 劇団参加			1998 (平 10) 「1998 旭川児童演劇フェ ステバル」風の子 17、海 外 2 作品	1999 (平 11) 「'99 国際児童青少年演劇アジア大会」 13 都道県、海外含む 14 作品 /「子ど もと舞台芸術一出会いのフォーラム」開 始 (舞台芸術フェア)
	1995 (平 7) インターネットが一般に普 及しだす				
	1995 (平 7) 4月から、学校週5日制、 月2回	1996 (平 8) 協会主催 「児童演劇全 国離島巡回公演」 開始 (日本財団助成) ※平成 17年度まで 10年間実施	1997 (平 9) 同「「盲・聾・養護学校」児童 青少年演劇巡回公演」開始(同) ※平成18年度まで10年間実 施	1998 (平 10) 「総合的な学習の時間」発表(14 年度開始、12·13 は移行年度)	
1994 (平 6) 音楽文化の振興のため の学習環境の整備等に 関する法律 成立					

2010	2011	2012	2013	2017	2018
	2011 (平 23) ※ 3月11日、「東日本大震災」				
2010 (平 22) アシテジ日本センター創立30 周年事業「2010 アジア児童青 少年演劇国際会議」 (パングラ デシュ・中国・韓国・ネパール・ フィリピン・スリランカ・ベトナ ムが参加。大阪市立旭図書館 ほか)	2011 (平 23) 5月、第17回 「アシテジ世界大会」がデンマークのコペンハーゲンとスウェーデンのマルメで開催/5月頃から、「東日本大震災」の被災地ための公演等が活発化	2012(平24) 第1回[アシテジミー ティング] 沖縄 「キジ ムナーフェスタ」で開 催			
芸術文化、 (開・5年70元) 瀬文化 地域社会文化、 学校文化、 (中間・あそび文化 保育文化 子育て(生活)文化	情報・メディア文化・消費文化 芸術文化 世域社会文化 学校文化・ (2011年) ← 参考 文献・渕上総雄著 [子 に中間・ あそび文化 保育文化 -			2017 (平 29) スマホ普及率急増。 2019 には小学生の 約5割が所持。高校 生は9割	2018 (平 30) 保育指針改定。[表現] の領域に言及。[豊かな 感性と表現」が乳幼児 期の子どもの育成目標 のひとつになる
		2012 (平 24) 劇場音楽堂等の活性 化に関する法律 成立	2013 (平 25) 音楽議員連盟から文 化芸術振興議員連 盟に改称	2017 (平 29) 文化芸術基本法改正	

# 佐渡宣言

# - 21 世紀をまぢかに控えて佐渡ヶ島で考えたこと

21世紀はまぢかです。子どもたちは大きく育って、この世紀を迎えるでしょう。

子どもたちのために、今、大人はなにを伝え、なにを創り、なにを残すべきでしょうか。

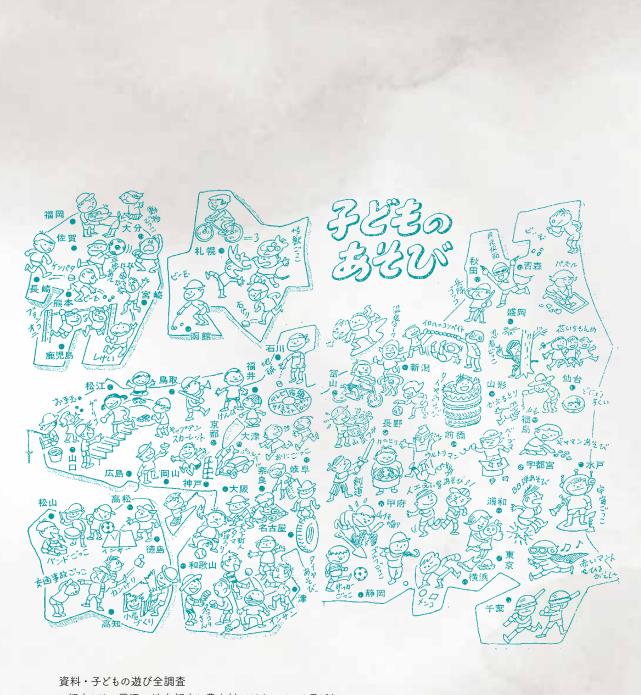
紺碧の海に浮かんだ自然と伝統芸能の島、佐渡に集まった私たちは、子どもたちのために文化のあり方について考えました。劇団は劇を持ちより、音楽家は曲を奏で、子どもたちは、佐渡の風土につつまれながら、さまざまな生活を体験しました。大人たちは地域、地域の経験に学び、海外十二カ国からも参加を得て、五日間の祭典を創りました。とりわけ、佐渡ヶ島のみなさんは、労苦をいとわず、祭典を支える大きな柱となってくださいました。私たちは今、だれも、みんな、お互いに離れがたい気持ちになっています。それこそが、この祭典の願いであったのです。ともすれば、ひとりひとりが、個々に、バラバラに、ひきさかれる現代、人と人との心が通い合うためには、あえて努力の必要な時ともなっています。

今、急がなければならないことは、子どもたちの幸せを願うものの連帯です。そのむずかしい山にいどみ、ようやくひとつの峰につきました。するとまた、次の峰が向こうに見えます。 息つく間もなく私たちは、そこへむかって、歩き出すことでしょう。今、子どものための舞台 芸術を語るとき、「戦争」のことを抜きにしては語れません。半世紀前の経験を、もうくり返してはなりません。

今、私たちは、人間の人間による人間のための芸能を、私たち自身の手で創り育てたいと 思います。二十一世紀は間もなくやってきます。人と人、心と心を撚り合わせ、結び合わせ て本当に「人間の世紀」と言える時代を創りましょう。

築き上げたこの連帯を、深め拡げて、新しい道を拓いていきたいと思います。

(第一回全日本子どものための舞台芸術大祭典実行委員会 一九八五年八月二三日)



・都市とその周辺、地方都市と農山村ではやっている子どもの遊びから一般的な野球、ソフトボールなどを除いた遊びを収集(毎日新聞 1968 年 5 月 22 日号 記事)より 日本子どもを守る会が 1968 年版「子 ど も 白書」で図案化したもの

第三回アシテジ未来ミーティング・2020年10月08日(木)20:00~22:00 zoomにて



## **── 「子どもの文化の歴史を知る** | 第二弾 子どもについて語ろう

講 師:山本茂男 (森村学園初等部教諭 日本児童劇作の会会長 日本児童演劇協会理事)

### ■山本茂男:「学校の今」の現状

ちょっと前まで子どもたちと表現活動を楽しみ、触れ合 い、演劇を取り入れて活動し、学芸会もやった。2020 年3.4月コロナの流行で休校。4月6日に緊急事態宣言。 学校が再開したのは6月1日。その間は自宅謹慎でオン ライン授業。昨年は1年から6年まで集まり卒業式を祝っ たが、今年は在校生なし、歌なし、保護者は卒業生一人 につき2名だけの卒業式。学芸会もなくなった。 入学式 が出来ずオンラインで子どもと初対面。新任の先生も画 面でクラスを担任することに。やっと6月30日に入学式。 初めて直接子どもたちに会った。40人ずつ三回に分けて 15 分間、保護者のみ参加。学校が再開するも感染防止 ガイドラインによる分散登校。1日にクラスの半数ずつが

今は、自宅で健康チェック、校門で消毒、検温、マス ク着用。体調がいつもと違ったら二日間お休み。授業中 の大声、触れ合い、話し合い禁止。窓を全開にしマスク をして音読。理科の授業で話し合いが必要な時はビニー ルカーテンで仕切り。笛や合唱は壁を前に立ててその中 で歌う。学校参観はオンライン参観。全学年が集まる全 校朝会はない。外遊びはマスクを外していい。サッカー、 バスケットは禁止。遊具はソーシャルディスタンスを保っ て順番に使用。運動会は学年ごとのスポーツ大会に変更。 徒競走、全員リレー、ダンスを保護者はオンラインで見る。

遠足はグループ行動なし。列を作って全体行動のみ。お やつ交換は禁止。一人1シートに座り一方向を向いてお 弁当。それでも子どもはキャッキャ言って喜んでいる。

音楽会は、以前はホールを借りてやっていたが中止。展 覧会は、体育館での展示はなく廊下に置いて何人かずつ 予約した保護者が見るだけ。学芸会は今検討中。「やっ たほうがいい」という先生と「やめるべきだ」と言う先生 で真っ二つ。劇の練習は子どもが関わりあいガイドライン に反するので不適切だという先生もいる。私はなんとか やる道を探りたいと思っている。 宿泊行事も全て中止。 鑑賞教室も毎年やっていたが体育館に集まると密になる からと中止。今できることは何なのか手探り。三密回避 で触れ合えない、大声を出せない、動けない子どもたち。 私は授業の中で笑わせたり声を出させたりやっている。 でも劇的状況を作り出す取り組みは難しい。学校教育以 外の場での実施に期待するしかないのか、と思っている。 今は苦しい状況だが指をくわえて批判ばかりしていても埒 が明かない。学校が子どもにとって価値のある場である こと、生身の人間に触れ、体温を感じることの重要性を 訴えていこうと思う。主語は「子ども」。子どもが安心して 笑えること、自己肯定感を持てること、他者を尊重するこ と、主体性を持つこと、そのきっかけをくみ取ることの楽 しさ、それを与えられるのが学校だと思う。

### ●グループセッション

- ・子どもたちの学校生活の実態を共有し、共通認識ができ たことが大きい。子どもには遊びが大切。安心できる環 境を作る大人を増やすにはどうしたらいいか。今日の話を 次に繋げたい。
- ・個を強いられる困難が自分を見つめたり考える機会になる こともあるが、やっぱり「生がいい」ということを押さえ たい。単純に「元に戻ればいい」ではなく、未来へつな がることをみんな考えてこう。そこには創造と想像が大事。
- ・三密は子どもに必要。地域が子どもに寛容でなくなった。 子どもは意外と元気でそれなりにしたたか。大事にされ ることと疎外感を感じることは背中合わせ。大人の在り 方を語り合う必要性を感じる。
- ・子どもの今の環境は大人の対応次第で決まる。プールも

- うちではやるが隣の学校はやらない。子どもたちが自分 たちで活動を選択し大切さを伝えれば、共感する人も増 えていくと思う。
- ・友達に会えなくなり緊張で体が反応しおもらししてしまっ た中1の女の子がいた。放課後の子どもがどう過ごして いるか。「うちの学童では密になってるよ」という声も。 少しでも触れ合う環境があるのは救い。
- ・文化と暮らしは会話から生まれる。荒れた子は親が変わ ると変わる。今の30代の父母は携帯を高校から持ち始 めた世代。体を使った遊びなどの実体験が少ない。大人 が楽しむと子どもは自由になる。実体験を大人も子どもも 共有することが大事。そこを周りの大人が仲介できると いい。食べたこともないものを食べたいとは思わない。「一 緒に体験しよう」という場が必要。

第四回アシテジ未来ミーティング・10月22日(木)20:00~22:00 zoomにて



## ➡「子どものあそぶを知る」

講師:嶋村仁志(TOKYO PLAY代表理事)

### ■嶋村仁志:(前半の話)

「遊ぶ」は提供者と受け手が固定しているエンターテイメ ントと<mark>は違い、一人の人間として思うように</mark>想像し、感じ、 探求し、出会い、表現し、生み出し、生きていることを 歓ぶという根源的で本能的なものです。 主体性と自己決 定により自然にやってしまうことの中に発達要求がありま す。遊ぶことで手に入れるものは社会性、身体、知性、 創造性、情緒です。子どもの権利条約が基づいている「遊 ぶ」の定義は「子どもたち自身が主導し、コントロールし、 かつ組み立てる振る舞い、またはそのプロセス」というこ と。いま子どもたちの遊びに不可欠なサンマ (時間・空間・ 仲間)が無いと言われて久しいが、コロナの禍中で「時間」 だけが戻ってきた。その中でを子どもたちがどう過ごして きたのか子どもたちの「遊ぶ」について皆さんで語りあっ てみましょう。

### ●グループセッション

- ・痛みが出てる子、出ていない子がいる。入院した 子もいる。ストレスを持っている子どもの様子が、 聴力検査に出ている。自由に遊びに行けないなか で、子どもは近くの大人を見ている。子どもはたく ましいと思う部分と、守らなきゃという両輪。
- ・公園で遊んでいたら通報されることに驚き。子ども も大人も振り回された。
- ・本当に辛かったことを周りがどれだけ見れたのか。 高校生になる子が、中学時代に不登校で、ゆっく りゆっくり高校生になれた。ということがあった。
- ・2 学期のイベントに参加する承諾書があるようだ。 密になってもいいよという承諾書があるのはよ かった。

### ■嶋村仁志:(後半の話)

大人も頑張っていたけど子どもも頑張ってた。緊張の糸が 切れた瞬間涙が止まらなくなったことも。気持ちを抱きし めるということをやらないといけないと思った。自分自身 も含めて、こんなことしたらどう?という発信をする大人 は多かったけれど、一方で大人はどれだけ子どもの気持 ちを受信できていただろうか?大人が居てもいなくても、

手を貸しても貸さなくても、その子が手作りできる瞬間に なっているかが大事。時代に応じて、子どもの横にいる 大人の役割が変わっていると思う。一回の失敗もなく最 短の時間で出来る「体験」パッケージがたくさん出回って いる。今の時代だからこそ、失敗できる時間を守れる大 人が必要。

「遊ぶ」は子どもの言語。言葉にはならない発達欲求。 遊ぶことで、子どもは自分の今を掴み、表現し、乗り越 えていく。子どもが遊べるようになることで大人も楽に なる。大人同士がつながることで可能にすることもある。 私たちは、発信者でもあり、受信者でもある。遊ぶのは 子ども自身。その子がどうありたいかを受信できる人に。 子どもたちがその言語を表現できる機会を暮らしの中に 作れるか。舞台芸術は、遊ぶという人の根源的な部分と どのように繋がれているか。

汐見稔幸さんは「私にとって、遊びは人生を手作りする練 習そのものでした」と言い、尾木直樹さんは「遊びは未 知との遭遇。習い事の悪口ではないけど、習い事は大人 の用意したことしか学べない」と言う。大人自身も遊ぶ ことの中から自分を支える軸を作る。遊んでる大人を見 ると、子どもは安心する。失敗する大人を見るのも好き。 この大人、失敗してるぞ!というところから伝えられるこ ともある。先は見えないけど、面白そうだからやってみよ う!という子どもが増えたらいい。本気で大人が動かない と、取り戻せない。コロナ禍で唯一取り戻せた自由な時 間。自由裁量の時間。自分で使っていいんだと思える時 間。そういう意味でも遊ぶことは、社会の基盤の一つに なってないといけない。

後半の話に絡ませて紹介された IPA の活動は多くの示唆 に富んだものでした。

(共有した資料) https://drive.google.com/file/d/1s kTcPVKZTok5Zh8wLPsVjMHdTThl8lhk/view .IPA (International Play Association)

国際 NGO。危機的状況における子どものくらしに関わる

世界本部で4月に出したもの。遊ぶ権利を入れるのが必 要だと呼びかけた団体。

17

人のためのガイド。

IPA 危機的状況における遊び 子どものくらしに関わる人のためのガイド

## 家でのうるさい、または破壊的 に見える遊びに対応する



### 子どもは時として、

- つらい感情と向き合う
- ・大人がどんな反応を示すかを試す
- 満足感を得る
- ・ものごとをコントロールする感覚を得る

ために遊びを使います。

子どもは今までにない混乱と恐怖を伴う、まったく新しい経験とともに生活しています。これは、大人にとって も同じですね。

遊びは、子どもにとって、聞いたことや見たこと、感じたことを自分自身で理解し、受け入れるためのとても大切な手法です。そのため、選択肢が奪われたように感じたり、この状況がどれくらい続くのかを知る術がほぼないというのは、つらいことだと思います。

### 子どもたちが恐怖や混乱の感情を持ったとき、遊びはどのように見えるのか?

遊ぶことは、子どもたちが変化に適応する方法のひとつです。そのため、子どもたちの遊び方はうるさくしたり、破壊的になったり、静かで穏やかになったりというように変化することがあります。 ここに、そうした遊びの例を紹介します。

・とてもうるさくなる

例:叫ぶ、大声で歌う、たいこを激しく叩く、 騒々しくものを打ち付ける

・おもちゃや物で欲求不満を解消する

例:枕にパンチする、そこら中にぬいぐるみを投げるをする

・子どもが作ったものを自分で壊す

例:絵を引き裂く、積み木などで作ったタワーを壊す

・小さな空間に引きこもる

例:段ボール箱の中、ベッドの下、シーツや枕で 作った隠れ家

・あなたや兄弟(姉妹)と戦いごっこやじゃれつき遊びをする

年長の子どもたちや 10 代の子どもも、このように遊ぶことがあります。私たちが心に留めておきたいのは、年 長の子どもたちにとっても、まだ遊ぶための時間と場所が必要だということです。 IPA 危機的状況における遊び 子どものくらしに関わる人のためのガイド

### 家でのこうした遊びをどのように見守る?

子どもはこのようにして今までにない状況への対処方法を学ぶということを、知っているだけでも役に立ちます。けれども、子どもを自宅に閉じ込めてしまっている時には、扱いが難しい場合もあります。

- 遊びの音によるご近所への影響が心配なときは、近所の人と話してみましょう。
   子どもの遊んでいる声に喜びを感じる人もいますが、そうではない人にとっては睡眠や活動の妨げでしかないと感じることもあります。その場合には、お互いの許せる範囲を見つけたり、配慮したりすることが必要になります。
- 子どもが引き裂いたり、めちゃくちゃにして遊んでもかまわないものを見つけておきましょう。例: 古いシーツ、段ボール箱、クッションなど。
- ・何度も叩いたり、押しつぶしたり、つついたりできる子ども用粘土や造形用粘土を用意してみましょう。いらない小麦粉と油があれば、自家製の粘土を作ることができます。
- ・子どもが十分に年長であれば、うるさくしてもよい時間と静かにした方がよい時間について話し合ってみましょう。
- 大きな音を立てられるものを用意してみましょう。

例:ゴミ箱のふた、ドラムスティック、鍋、フライパンなど。

みなさん自身やご近所の人が許容できる範囲の一定時間で、子どもに好きなだけ音を立てさせてあげましょう。 そして、子どもたちには、終わった時の片づけの説明もしておきましょう。

大人も「子どもは遊ぶことが必要」と理解していることを子どもに伝えましょう。
 子どもたちには、みなさんが「不必要なダメージを自分自身や他人、家財に与えることなく遊べるように手助けしたい」と思っていることを伝えてください。









世界で起きている 新しい変化を理解しよう



困難または恐怖の気持ちと うまく付き合おう



PAの「危機的状況での遊び」シリーズでは、コロナウイルスの感染 の流行期間にも子どもが遊び続けられるように、分かりやすいアド バイスや提案を提供していきます。 ipaworld.orgipa\_worldinternationalplay

第五回アシテジ未来ミーティング・2020年11月12日(木)19:30~21:30 zoomにて



## 🧫 「文化権を知る|

講 師 : 中川幾郎(帝塚山大学名誉教授・日本文化政策学会初代会長(顧問))

### 【講演の主旨にそって要約】

地球温暖化や環境破壊が進み、子どもたちは、単独親 の子ども50%が貧困家庭という経済的貧困をはじめ、 時間的貧困、機会的貧困、チャンスの貧困からの閉じこ もり、健康面の貧困、食生活の偏り、発育、知的発達の 遅れのなかで HGS の子どもが増えているという現実に 直面し、それは社会的貧困にも直結している。そんな中、 文化的な権利がなかなか認識されないのはなぜか?それ は国が文化的権利の基本法を作ってこなかったから。国 際的基盤となる世界人権宣言 (1948年)、実体的条約と して採択された国際人権規約(1966年)とその発効(1976 年)、遅れること半世紀 2001 年に日本で制定された文化 芸術振興基本法、さらに 2017 年文化芸術基本法への改 正までの変遷の歴史。人権とは、文化とはという考え方、 哲学。初めて知ることの多い学びでした。なかでもテー マに沿って特筆すべきことは

- ■憲法で言う文化権とは、25条にある最低限度の生活 を形容した言葉ではなく13条の幸福追求権である
- ■文化的人権とは「より豊かに自分を表現する権利」で あり「表現」と「交流」と「学習」が確立されること
- ■文化は教育の ト位概念であり文化の中に教育が含まれ る。教育が文化を包含するというのは日本の逆転した文 部科学省型の社会教育行政に合致させようという乱暴な 解釈である。ということでした。

お話の中で、「今から悪口を言います。気に入らない方は 耳をふさいでください」と言いつつ話された「余暇社会 対応型思考から脱却する」は、歯に衣を着せない痛快な 語り口と共に心に残るものでした。図書館は、単なる無 料貸本屋か?博物館は、公設見世物小屋か?公民館は、 安上がりのカルチャーセンターか?公立文化ホール(劇 場・音楽堂)は、公設演芸場か?。「暇」「金」「健康」「家 族」という四つの豊かさを持つ人ばかりが得をする施策 は果たして社会的公正に沿うのか。今迄の文化政策が余 暇社会対応と言われてきた。暇と金と体力と家族に恵ま れた人たちがお楽しみになるような生涯学習は果たして 社会の再生産に役に立つのか。金のない人にどう供給す るか、暇がない人にどうチャンスを作りめぐり合わせてあ げるか、家族もない社会関係にも恵まれない一人暮らし や高齢者に演劇や音楽に触れてどう勇気を持ってもらえる

か、それを考えることが公共政策じゃないのか。と話され、 「悪口」とおっしゃった自らの問いかけにこう答えられま した。図書館は市民のための生活の研究所。博物館はそ の街の歴史を理解しアイデンティティーを確認し市民の誇 りを立て直す場所。公民館はただ住んでいる人や住民が ほんまもんの市民になっていく場所。公立文化ホールは 芸術的文化的人権が保障される場所である。

そしてこの日最後の自治体文化行政と条例づくりのお話 は、今後私たちが、それぞれの地域で成すべきこととし て多くの示唆に富んだものでした。

■ 「法定(外)自治事務としての自治体文化行政の根拠 | これを担保するには自治体が頑張らなければならない。

自治体こそが子ども、障害者、市民に向けた文化行政の 一番の担い手。文化庁予算の80倍、不景気になってか らでも 40 倍が地方公共団体の現実の文化事業投資総額 で一番は市町村、次に都道府県。しかし全都道府県の半 分くらいしか「文化条例」を持っていない。市町村に至っ てはわずか10%前後くらい。文化条例が何故必要か。文 化行政は自治事務であり国から頼まれている法定受託事 務ではない。国がやっているのは国のための文化行政。 ほんとの文化行政は市町村がやっている文化行政で、出 来ないことを県が保管文化行政としてやる。基礎自治体 第一主義というのが日本の地方自治の原則。だから市町 村との対話が大事。そのためには自治事務としての文化 条例が無いとダメ。文化基本法は国のための法律で自治 体が仕事をするための根拠にはならない。自治体の文化 条例に基づいて基本計画を立て、そのなかで子どもの文 化的人権保障を重点的に取り上げ、条例に謳い、基本計 画に謳う。継続していくためには「備品」としての「条例」 が必要。市長、議員は地方自治というシステムの中で通 過していく人。備品は半永久的な装置。

備品に基ずく行動の基本計画をもつ。子どもの、障害者 の文化的人権を位置づける。社会的資本に恵まれない人 たちを応援する文化政策を謳う。そして条例通りの計画 が進んでいるかを定点観測し政策評価をして返していく 市民参加組織の審議会を持つ。審議会メンバーはアーティ スト偏重ではなく障害者団体、保育所、小学校の先生、 中学校芸術科の先生の代表、地域の代表のような人こそ が入るべき。

第六回アシテジ未来ミーティング・2020年11月26日(木)20:00~22:00 zoomにて



## ➡「文化権を知る・2」

講 師:中川幾郎 (帝塚山大学名誉教授・日本文化政策学会初代会長 ( 顧問 ))

50 分間のグループセッションのあと、グループごとに内 容を絞って報告。その内容から中川先生がお感じになっ たこと、また質問へのお答えなど1時間にわたりお話を 頂きました。

### ●グループセッション

大人自身が、自分のこととして文化権があることを 意識できている人が少ない。それが分かる大人を増 やさないと子どもにも伝えられない。全ての人が持 つ人権としての文化権。紛争地域の子どもたち、貧 困地域の子どもたちも、たくましく表現している。経 済、体験、格差が大きい。格差の問題をどう考える のか。

文化という言葉の捉えられ方。概念を言語化する大 事さ。文化を身近な事で言えば、子どもたちが育っ ていくために必要な地域の行事、祭り、役割を持つ こと、大人と関わること、地域に自分がいるってい うアイデンティティー、子どものことを知っている顔 見知りの大人を作ること。

### 中川先生のお話:

- ■大人自身が文化権の自覚が不足している背景は、性別 役割分担の思想、組織の階級を上がっていくことが出世 だという縛り、偏差値型教育、主要5科目が重要という 信仰、そういったものが生み出した社会人。民藝運動を 思い出す。芸術の生活化。ありとあらゆる自己表現を試 してみる。絵、歌、作曲、造形、舞踊、文学。自分の表 現の可能性を試す。他者とのコミュニケーションの中で試 していく。その評価を得ることで社会性を獲得していく。 それはまさに子どもの権利条約31条の精神、自己決定 権がスタートであり、ゴールである。あそぶことは自分で 仲間を作りルールを作る。ルールがなきゃ遊びにならな い。自分たちの秩序を作る。自立性の獲得と社会性。楽 しくたくさんの遊びを実践する。年上の人との付き合い方 を学ぶ。自由裁量時間。自由と自立性。
- ■人権としての文化をどのように保障するか。本人が何を したいかという気づき。何をやったら楽しいのか?喜びに つながる行動なのか?=自己実現。その自己実現体験を

積むこと。作詞するのが好き?絵を描くのが好き?一つで ある必要はない。二つも三つもその体験を積ませてあげ ること。自分が自分であるための自己形成。アイデンティ ティ。偏差値型という消去法ではなく、加算法の考え方、 評価方法。

戦闘状態のパレスチナの貧困地域で、民間で芸術教育を している。若者は戦闘に行くとき詩を作る。人生を謳う 詩をみんなで演奏し送り出す。豊かだからアートがあるん じゃない。命が限界にあればあるほどアートに深い欲求 を持つ。貧しいからこそアートが必須。追い詰められた子 どもたちこそアートが必要。不登校の子どもたちにこそ必 然性がある。

- ■経済、体験の格差をどう埋めていくのか。イギリスが ロンドン五輪の時ベネズエラのシステマからアーティスト を招いて地域に子どもオーケストラを創ったレガシー。貧 しいものほど提供されるべき。日本も同じく多民族国家。 多数決の前に少数派価値観の考えを入れるプロセスが大 切。包容力、多様性、感受性、受容力が大事。
- ■ハイカルチャー、サブカルチャーの区分もあるが私は 日常型文化、非日常型文化。と言っている。文化とは価 値の体系であり価値観の体系。日常型文化・・・衣食住、 物質的価値、儲かる、美味しい、役に立つ。

非日常型文化・・・芸術、学術、宗教、すぐ役に立つも のではない。価値観は真善美。

子どもたちのために真善美に投資すること。より安定的 に自己改革可能な世代を育てることになる。美的体験、 芸術体験、偽悪的体験をしていない子どもは弱い。自分 たちの暮らしと関わるようなアートをどのように生み出せ るか。自分の暮らしのテーマ音楽を作ってみるとか。作 詞をしてみるとか、僕のための行進曲とか、お姉ちゃん のためのマーチとか、お母さんのキッチンが楽しくなる音 楽とか。自分にとって楽しいスタイルをダンスでやってみ るなど。指導できるコーディネーターが必要。芸術の素 養がなくても、つないでいくコーディネーターはできる。 アイデンティティ形成。自信の回復は並大抵ではないが、 そこで認めてくれる大人がいることが大切。国数社理英 重視の教育ではなく、「真善美」も大事にする教育に代わっ ていくように、私たちができることは何か・・・。そんな ことを考えた学びでした。

第七回アシテジ未来ミーティング・2020年 12月 10日(木)20:00~22:00 zoomにて



## 🧫 「学校公演を知る」

講師:大澗 弘幸(劇団風の子) 智春(Cheeky\*Park)

下山 久(ACO 沖縄代表/アシテジ世界大会芸術監督・プロデューサー)

### ■大澗:日本の学校公演

仕込み3.5h。1st75分休憩なし。観劇料1名800.850円。 経済的理由で公演班6名に絞った。

全学年で鑑賞し共有する良さと、自分の選択や意志とは 関係なく見せられることの背反性。子どもが本当に見た いものの追求が劇団の責任

### ■智春:海外の学校公演(イギリスを中心に)

多い時で 1ヶ月に 35 校回ったことも。生の文化が行くこ とが難しい離島も多い。主催者側の動機はセレモニー、 英文学に触れる機会と様々だが、ワークショップを含む 公演希望が多い。観劇を多様なジャンル、人物、世界に 触れ、そこから学習に繋ぐカリキュラムとしての位置付け が多い。

### ●グループから出された感想、意見

- ・日本の学校公演は教師が何のためにどういう位置づけ でやるのか。監視されながら見るのではなく、文化体験 として例えば地域の人と一緒に見るとか、ありかたを工夫 する必要がある。
- ・ワークショップとセットの可能性。長い間鑑賞教室の 担当をやってきた経験から学校での学びにコミットした 学校公演がもっと増えればと思う。いま学習指導要領の 改定時期でその内容の中心は「主体的で対話的で深い学 び」。演劇鑑賞はまさに有効。劇団と教師でともに展開し たい課題。

### ■下山:日本の学校公演のこれから

1992 年にシェフィールドで初めてイギリスの学校公演を 見た。会場は普通の教室で子どもの人数は50人。日本 の学校公演との違いに驚いた。1994沖縄キジムナーフェ スタに呼んだ海外劇団には120人以上入れたら演劇が 成立しないと言われ、2005年にフランスから初めて呼ん だベビードラマでは観客は30人と言われた。自国での 公演は成立するのか尋ねると経費は行政が出すのが当た り前だと言う。日本との大きな違いを思い知った。それ はサポート体制の違い。日本では500人集めないと成立 しない。一人500円でも本当は赤字です。これからの学 校公演がどうあればいいのか。ヨーロッパのように少人 数での公演が成立する支援も必要です。デンマークで4 月に開かれる演劇祭には全国から学校、保育園教師、図 書館司書など関係者が集まり作品を決める。カンパニー はそこで1年中の公演スケジュールが決まります

私たちに何ができるか。アシテジ世界大会を日本でやる ことで何を残すか。全ての子どもたちに舞台を届けること がレガシーにならなくてはいけない。イスラエルには全て の学校で年1回子どもの芝居を上演しなければならない という法律があります。ノルウエーにも同じような法律が あります。日本でも子どもの観劇に国の支援が必要です。 その時に学校公演の意味は大きいと思います。そのスタ イルは?そのやりかたは?地域や行政に働きかけ実現して いくことが大事だと思う。

### ●全体討論

- ・劇団の経済状況は非常に苦しいが行政の支援の道は見え てこない。入場税撤廃運動と同等の課題。国の意識が変 わらない限りはダメ。実現に向けて具体的な話がしたい。
- ・児童演劇の若手養成。基礎として学べる場を確立してい く必要があるのでは。
- ・子ども観。子どもの捉え方。子どもの人権をどう保証して いるか。そこに世界と日本の差がある。日本は人権小国。 日本の中では真の市民革命がない。そのことと文化をど う重ね合わせていくのかが課題。
- ・全部の子どもに舞台を見せなきゃいけないって法律があ る国があるんだから。国民運動を起こさないといけない。 それが 1000 のプラットホームであったり、アシテジの世 界大会だったりするのでは。
- ・それを誰がするのかという主語が大事。佐渡祭典で届か なかったこと、入場税撤廃以後の課題、劇団のナショナ ルセンターの問題等々、誰が次の時代へ、次の高みへ引 き継いでいくのか?

22

第八回アシテジ未来ミーティング・2020年12月24日(木)20:00~22:00 zoomにて



## ▶ 「アシテジ世界大会 / 未来フェスの魅力を知る」

### ■(1) 作品

▼招待作品

国内招待作品:5作品海外招待作品:日々変動

▼国内フリンジ作品

東京都と長野県の2会場に分かれて参加

気になるアーティストはどちらの参加か要チェック!

※海外フリンジ作品はなくなりました。

### ■(2) セレモニー

### ▼開会式

日本の伝統的なパフォーマンスで幕開け

**▼**開会式

次回の世界大会へ旗を渡すセレモニーなど

### ■(3) 世界大会

### ▼プログラムネットワーク

▼オンラインプログラム

総会 / オンラインワークショップ / アワード プログラムがオンラインへと変わり、世界から日本に来る ことができない人でも参加することが可能な機会を作り ます。アシテジ世界大会初の試みであることから今後に も繋がる記念すべき年となるでしょう。

### ■(4) 特別企画

### ▼あそびの広場

長野県の会場にて開催

地域の子どもたちにお手伝いいただき、

未来フェスのロゴでもある鳥をたくさん作る予定

### ▼盆ダンス

盆踊りならぬ盆ダンス。

ちょこっと演奏にちょこっとレクチャー

▼みんなのディスコ

国境を越えて、性別を越えて、世代も越えて、

全ての垣根を越えて音楽を楽しむダンス広場

- ▼矢来能楽堂企画
- ▼東洋館企画
- ▼日本博 WS
- ■(5) こどもあーと ACTION
- ▼ 1000 のプラットフォーム
- ▼子どもの声を聞く!そして作品へ クラウドファンディングを始めました。

ぜひ支援お願いいたします。

- ▼定期ミーティング
- ■(6) チケット ■(7) 宿泊

### ●コロナで来年3月に延期

困難な状況を克服し、魅力ある世界大会にするために、 日々新たな可能性を追求し準備を重ねる日々です。多く の出会いと深い感動と未来へのレガシーを!

- ●今回の大会は対面式とオンライン併用のハイブリット 式大会です。
- \*ライブストリーミング
  - ⇒ zoom 会議、ライブ中継ワークショップ、
- \*アーカイブ
  - →シンポ記録映像、芸術公演の録画、日本に来られ ない人も参加できるし繰り返し見ることが出来ます。
- ●舞台芸術作品
- \*海外招待作品
  - →イタリア、セルビア、フランス、 ボツワナ、カナダ、カンボジア、中国
- ・残念ながらアイスランド、スペイン、中国の3作品が不 参加
- \*国内招待作品
  - →こんにゃく座、江戸糸あやつり人形、 パントマイム TORIO、ロバの音楽座、 道化師ラストラーダカンパニー(5 作品)
- \*国内フリンジ参加
  - →延期で一旦リセット後、現在58作品
- \*舞台芸術はライブで観たい。映像参加作品もパブリックビューイングのように大画面で共有し、現地から演出家にオンライン参加をしてもらいアフタートークをするなどの方法を検討中。
- ●セレモニー
- \*開会式→前進座狂言、荒馬座獅子舞を披露、
- ライブ映像を海外配信
- \*閉会式→(長野県創造団体)くすのき燕、
- ましゅ &Kei、笛師九兵衛、吟遊打人
- ●コングレス (国際会議)
- \*観客、演技者、研究者が児童青少年演劇の可能性と役割、その新たな方向性を求めて、様々な角度からオンラインによる公開討論、シンポジウムを開催し、その模様をライブ配信します。
- \*アシテジネットワークには劇作家、障害者演劇、乳幼児作品、次世代関連、ダンス関連など6つの分野別のグループが存在します。それぞれの主催によるシンポジウムが計画される予定です。

(内容は12/24 現在のデータで今後に変更の可能性有)

第九回アシテジ未来ミーティング・2021 年 1 月 14 日 (木)20:00 ~ 22:00 zoom にて



## ➡「世界アシテジマニフェスト日本語版を知る│

### ■アシテジ日本センター事務局長 宮本:

世界アシテジが昨年の春に作成した「マニフェスト」は、 文化芸術を巡る環境、子ども文化に関する権利など世界 の事情との大きな違いに驚きました。そこで私たちは「翻 訳日本語版」ではなく「日本版・私たちのマニフェスト」 を作成したいと考えました。そうした動機から重ねてきた 準備作業がこの「アシテジ未来ミーティング」です。今日 はその翻訳された「日本語版」を皆さんで共有し、意見 交換をしたいと思います。

- ■青年劇場 福山:最初は「政党」が第1項だった。政党 は国民の代弁者だから当然かとも思ったが風の子大澗氏 が「市民」が第1項に来るべきと言った。今回日本の意 見が反映されそうなっていた。1項「世界の子どもと繋が り・・・」はとても大事なこと。マニフェストは「理想」。 一つ一つを確かめ議論し深めて日本版にしていくこと
- ■風の子 大澗:各項文末の「・・・行う」が気になる。 学校現場にどうしたら演劇がもっと入っていけるか課題。 子どもの権利条約が日本ではまだ浸透していない。さら に努力が必要。こうして作ったマニフェストを、誰が、誰に、 何を訴えていくのかという参考例が欲しい。この世界大 会のレガシーになればいいと思う
- ■アシテジ 宮本: 行動指針を作るだけでなくそれをどう

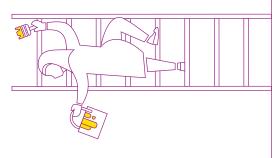
達成していくか、行動を起こしていくかが大事

- ■青年劇場 嶋田:芸術文化基本法の教育現場、行政へ の浸透と実際も身近なものになっていない。マニフェスト が謳い文句で終わることなく、文化権、子どもの権利、アー ティストの保障が当たり前に実現実行される制度を創っ ていく大きなうねりの一つ、ステップになるように願う。
- ■アシテジ世界大会芸術監督 下山:日本版マニフェスト をアシテジ世界大会の中でどう実現していくか、その内容 をレガシーとして残していけるか、どう行動していけるの かと思い描いている。
- ■広報戦略室 片谷:日本では「市民は」「政府は」という 環境すらまだ作られていない。3月11日ば日本版マニフェ スト」を作成する場合には「今からできること」をたくさ ん宣言したい。例えば「海が好きならビニールをやめよう」 など誰にでも分かり易い内容と表現をで、広くムーブメン トを起こす。
- ■広報戦略室 浜渦:これまで子ども劇場での観劇のよう に「演じる人と観客」という関係の中だけでしか「舞台芸術」 を捉えていなかった。「メディア」についても子どものこと を一緒に考える相手と意識していなかった。広範ないろ んな人たちと一緒にやっていくことなのだと発見でき学べ

### ●全体討論

- ・小心ズ:マニフェストを、若い人にも子どもたちにも、わ かりやすく興味を持って分かってもらえるように方言やコ ントにして伝えるのはどうか?
- 広報戦略室 前村:誰に向かってアピールするかも大事だ が、SDGs のように「わたしはこれをする」のように主語 を明確に分かり易く
- ・角笛 白石: イギリスの草案では誰に対して要求するかの 観点で「政党」が1項にきたのかもしれない。市民にとっ ては当たり前のことで、その辺が日本との感覚の違いの 気がする
- ・森本:大事な観点だと思う。日本では、市民が生まれて いない。本当の市民とは?私たちが、誰と共に何を発信 していくか。私たちが何をしたいのかという意思を固める ことが文化関係者のうねりになればいい。

- ・ロバの音楽座 大宮: 率直に力が湧いてくる。 コロナで公 演がなくなって、不安な気持ちでいっぱいだった。その 後に、何ができるだろう?といつも考えている。
- ・子ども劇場西多摩 沼倉:SDGs は、目標とゴール設定が わかりやすい。子どもたちも参加できやすい内容になる といい。絵本のような内容にするとか。北極星のような 日指す場所が具体的に見えたらいい。
- ・サザンクス筑後 久保田: アシテジが日本にどれくらい影 響を与えうるかということ。これ程の事をやってるのを国 に認めてもらうこと。子どもの権利条約は外務省のウェ ブに出ていてあくまでも外交でしかない。
- ・広報戦略室 前村:第8項の4にある「子どもたちが意思 決定に立ち会う」は衝撃的だった。子どもの意見を計画 や条例に反映することは日本ではまだそんなにはできて いない。子ども自身が参加し自分で意思決定するという当 たり前」もゴールの一つに加えたい。



アシテジ国際児童青少年舞台芸術協会は、すべ ての国が国連子どものための権利条約第13条 に多くの行動をとることが必要であると考えま ならびに第31条を敬意をもって遂行すべく、更

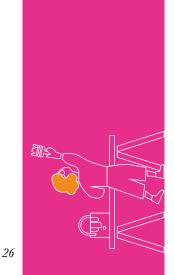
ために直ちに必要なものです。 芸術と文化は、 いて、さらにその重要性を増し、子どもたちが持 続可能な健全なる世界に生きる平等な権利の 子どもたちのために、子どもたちと共に創る世 これら条約の遂行は、現況のパンデョックに於 界を想像することを可能にします。だからこそ、 我々の社会をより良いものにするために、極め て重要なのです。 芸術は、新型コロナウィルスの多大な影響、また します)には、芸術活動のアクセスならびに参加 それに伴う経済状況により、現在極めて脆弱な の権利があります。危機的状況下であっても、む 状態にあります。芸術(そしてそれを創造する芸 す、そして人間の健康かつ幸福感のための重要 表記は「CHILDREN AND YOUNG PEOPLE (児 理解の現況を踏まえ、以下「子ども(たち)」と記 術家)は人間性を表現し、批評眼と共に映し出 な役割を担っています。子どもたち(訳注:英語 童青少年)」となっておりますが、日本の文脈的 しろ危機的状況であるからこそ、その権利の重 要性は更に増します。

制度、ならびに懸念事項の違いを考慮した上で 芸術活動への関わりによって元気づけられるた アシテジは、各国・各地域に於ける環境や状況、 めの必要な行動を普遍的に表現したものです。 マニフェストを作成しました。これは、子どもが

ている文化的文脈に基づき、言語の表現を適合させることを整動にするのよう。例えば、標準を持つた児童」を「障害した」と、自知の文化の文数を必要とする児童」にするなど、各国の文化的文脈に次いて最も適している表記に変えて頂いて構いません。もし、イングリー・シピティ(包含ナショナルセンターより、IIAN(国際イングルー・ブアーツネッドワーク)にお問い合わせください。 アシテジは、各ナショナルセンターが、各国の実践され

> 加、ならびに彼らの意見や視点を取り入れることを奨励します(国連子どものための権利条約 で、協議や共同作業を通しての子どもたちの参 アシテジはその活動において、あらゆるレベル 第12条)1。





マニフェス

# 市民は

中央政府は

7.

すべての子どもたちが芸術文化活動 に参加し、世界中の子どもたちと繋が る権利の普及・促進活動を行い、 :

1 子どもたちの発育、幸福に欠かせない 芸術活動を奨励するために各省庁(文 化、健康、教育、環境、社会的発展、観 光、産業ならびに経済発展などを担当 する省庁)と協力し、各行政担当の域 を超えた戦略を立て、

芸術家と様々な機関との連携を構築 し、障がいを持った児童青少年や、難 民、入院児童、孤児、介護を必要とする 児童、青少年犯罪者など、あらゆる文 脈に於いて脆弱かつ(もしくは) 危険な 立場に置かれている子どもたちが芸術に触れる機会が与えられることを保障 7.

し、それぞれの環境に応じてマニフェストを応用して用いることを このマニフェストを様々な場所で共有

推進する。

惟進する

政党は

# 自らのマニフェスト、政策、優先課題( 於いて第13条ならびに第31条に対し て詳細かつ具体的に言及し <u>۳</u>

- 第13条ならびに第31条に関連づけた継続的、包摂的、かつ長期的な政策を打ち出し、その政策を支えるための経済援済援助を行い、済援助を行い、 3.5
- 芸術に触れる機会をカリキュラムに取り入れた、教育機関のためのガイドラ インを作成し、 3.3

子どもたちのための文化的な権利をあらゆる幸福、復興、社会的回復を中心とした政策に積極的に取り組むことをを

2.5

決議ならびに政策を展開させるにあた り、子どもたちが参画することを 3.4

推進する

教育を担当する省庁は

# 創造活動、遊び、そして芸術を、未就学児、障がい児なども含むすべての子どもたの子どもためなどまないになどもの子でもたらための教育課程に於いて、不可欠かつ極めて重要なカリキュラムの 一職にし、 1.4

教育に関わる芸術家、芸術実践者を、 学校の教育課程に必要とされる価値 あるプロフェッショナルとして認め、 4.3

教員研修プログラムに芸術が確実に 組み込まれるようにし、

4.2

文化活動に触れる機会の、経済的、社 会的、地域的、その他の原因による格 差をなくすことを 4.4

推進する。





9

# 文化を担当する省庁は

- すべての子どもたちが、完全かつ平等 に芸術に触れる機会を持つために、継 続的、長期的、かつ十分な経済的なら びに戦略的支援を提供し、 5.1
- 子どもたちのための質の高い、包摂的 な教育課程の提供を確立するよう努 Ŕ 5.2
- 子ども向け、大人向けにかかわらず、芸術プログラムに関わるすべての人の報酬の平等を保障し、 5.3
- 人口動態に照らし合わせて、相応の子 どもたちのための芸術への助成を行 5.4
- 子どもと家族による。また子どもと家族になる。また子どもと家族のための芸術を支援する国際的模範をリナーチ 探究・そして共有し、段略的に世界的に最も優れた実践を国略的に世界的に最も優れた実践を国 家的基準にすることを 5.5

惟進する。

# 女化振興協議会> (があ アーシカウンシア< 芸術 る国に於いて)は

**訓造団体、ならびに(** 帰など) 賍術施設は

> 文化的な多様性豊かな活動を奨励し、 7.1 そのプログラムに於いて、包摂的かつ

すべての子どもと家族が、芸術活動に 参加できるべく施策を持ち、機関、公共 施設を提供し、

6.2

学校と芸術活動を行う組織の連携を 奨励、支援する。

6.3

地域に住むすべての子どもたちのため

6.1

地方自治体は

の芸術の価値を認め

子どもたちのための芸術作品において 可能な限りの最高水準を目指し、

8.1

子どもとその家族のための芸術作品 を重要プログラムとして位置付け、

8.2

- 子どもとその家族のための芸術作品 が大人のための芸術作品と平等の地 位を持つことを保障し、 7.2
- 0~18歳の子どものための芸術を推進 する具体的な政策を打ち出し、 7.3
- 児童青少年のための芸術を、地方自治体、国家、地域、そして国際レベルに於ける連携の主な焦点とし、 7.4

子どもたちが意志決定に立ち会うこと を(訳注:「子ども委員」を意訳)を保障

8.4

8.3 教育を担う官庁が創造活動のための パートナーならびに聞き役であること

を保障し、

子どもと家族のためのプログラムなら びに施設へのアクセスの隔たりをなく

8.5

を維持するため、子どもと家族のため の芸術作品に対し、各国の人口動態に 相応しい、十分な助成を提供すること 品質基準の高さ、チケット料金の低さ 7.5

推進する。 ずことを

推進する。



28



# 学校ならびに乳幼児の

ための施設は

- 芸術と文化が、学校カリキュラムの重要な位置に含まれるための支援を、政府や地方自治体に求め、 6.7
- 子どもたちの遊ぶ時間、創造活動に参加する時間を保障し、 9.5

10.2 子もと家族のための番組に、すべての人がアクセス可能であることを保障し、それらが、最高品質であり、彼らの生活、言語、文化の多様性を反映して

いるものであることを保障し、

子どもたちに可能な限り幅広い、文化 的体験に触れる機会を提供し、 9.3

10.3 公共放送が、子どもとその家族のため に担っている特別な責任を自覚するこ

> 両親ならびに子どもの養育に責任を持つ人に、子どもの芸術的な達成感や体験が価値あるものであるということ の認知を推奨し、 9.4

推進する。

創造活動ならびに芸術をすべての教 育課程のカリキュラムに組み込むこと 9.5

推進する。



アシージ

- 少年の芸術に携わる役割を担うすべて の人と議論し、協力していくために彼ら のため、プロの芸術家ならびに児童青 11.1 児童青少年の芸術を各国、各地域、そ して世界的に支援する具体的な行動 と連携を図り、
- 11.2 様々な国で実践されている芸術、教育、行政間の体験ならびに最善の実践方法を多く集め、政治的かつ独立性のある成功例の事例集を作成し、
- 11.3 芸術と幸福感ならびに精神的健康の 関連性を実証しているものを提供し、

10.1 子どもと家族が芸術に触れる機会の必要性を喚起するため、全国的報道を

メディアは

積極的に行い、

- 11.4 様々な分野に於いて、芸術がどんな効果をもたらすのか(例:社会性の発達、教育、医療など)を学ぶために、分野を超えた事門家によるパネルディスカッ ションを開催し、
- 要請書の雛形を作り、このマニフェストを促進する文書、アシテジの各会員(ナ ショナル・センター、ネットワーク、そし て個人メンバー)を支援する文書を作 11.5 政府ならびに各関連機関に提出する
- の子ともが芸術そして文化に触れる 権利の保障に努めることをサポートする。 11.6 会員がこのマニフェストを広め、すべて



# United Nations

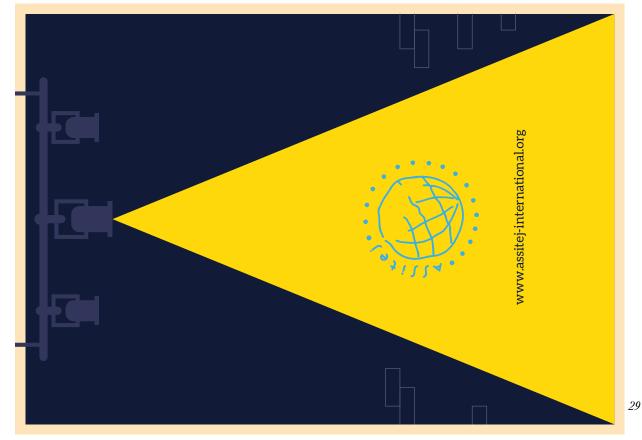
# 第13条

国連子どもの権利条約

は印刷、芸術の形態又は自ら選択する他の方法により、国境とのかかわりなく、あらゆる種類の情報及び考えを求め、受け及び伝え 児童は、表現の自由についての権利 を有する。この権利には、口頭、手書き若しく る自由を含む。

## 第31条

- 児童の権利並びに児童がその年齢に適した 遊び及びレクリエーションの活動を行い並 びに文化的な生活及び芸術に自由に参加する権利を認める。 締約国は、休息及び余暇についての
- 促進するものとし、文化的及び芸術的な活動が立にレクリエーション及び余暇の活動のための適当かつ平等な機会の提供を奨励 な生活に十分に参加する権利を尊重しかつ 締約国は、児童が文化的及び芸術的



第十回アシテジ未来ミーティング・2021年1月28日(木)20:00~22:00 zoomにて



## 「実演家アーティストの今を知る これからの期待・希望」

講師:高橋志野(こんにゃく座) 松本 山本光洋(パントマイム) 上条

楠原竜也(演出振付家)

松本雅隆(ロバの音楽座) 上条 充(江戸糸あやつり)

智春(Cheeky\*Park) 後藤 章

後藤 圭 (かかし座)

コロナ禍が社会問題化し2020年3月には非常事態宣言。 2021年1月13日には緊急事態宣言。

何が変わったか。講師の方にまずお話し頂き、その後参加者も含めフリートークをしました。

- ■こんにゃく座 高橋: 公演は 2019 年より 30% 減。 2020 年 7 月公演開始。嬉しい反面、感染者が出たとき のリスクの不安が多かった。しかし1つ1つのことを丁寧 に取り組め、作品としてもいいものを届けられた。
- ■ロバの音楽座 松本: 第一回目の緊急事態宣言の時に キャンセルが相次いだ。毎日集まって今までになかった ディープな練習をした。2020年7月公演再会。文化を 途絶やしてはいけないという思いで開催することができ た。失ったものを考えるよりも何を得たのかを考えるよう になった。充電時期だと思った。
- ■パントマイム 山本:動画リレーのネットが回ってきたのでやってみた。一生懸命作ったら評判良かった。その後も配信を続けた。4ヶ月ぶりの公演は体力が心配だった。接触シーンを減らした。コロナ禍前とお客さんの熱意が違う。見たい気持ちが伝わってきた。
- ■江戸糸あやつり 上条: 普段から籠っているので自粛生活は元々。お客さんの間を1m開けるようにというルール

に「それは大道芸なのか?」「自分の作り出したい空間なのか?」と思い公演をしていない。時間ができたので糸あやつり人形の歴史を辿っている。歴史を残す手伝いになればと思っている。

- ■ダンス振付家 楠原:他者と触れ合うということがワークショップの内容の半分なので、コロナ禍でのワークショップは難しかった。体は離れていても、繋がっていることを大切にしている。人類が経験したことがないことが起きる時に新しいものや変えるべきことが変わるのだと思う。
- ■チーキーパーク 智春:マニアックな作品などを作っていた。コロナウイルスの影響は、感性に関しては、いい影響を与えていくのではないかとも思う。日常からちょっと離れた空間を作ることができるのがアートの力。大事なことから目を離さないようにしていきたい。
- ■かかし座後藤:皆さんと同じように、春先~夏は全く公演はなかった。動画配信が直接お金になることはない。 youtubeも焼け石に水状態。給料制で劇団員を抱えて、会社として70年近くやっているので、それは変えようがない。体制を崩してしまうと、今やっていることができなくなってしまう。なにくそ!です。

### ●フリートーク

- ・リモート合唱をやった。干からびた心に染み渡る感じ。 心がカラカラに乾いている事に気づいた。
- ・文化、芸術、が大切であることを今更のように感じた。
- ・新しいアイディアが浮かぶ時期だった。新しい表現方法も 同時進行でやって行こうと思う。普段は聞こえない音や 聞き逃していた音が聞こえる時期だった。
- ・オンラインは、息遣いや生気や気配を肌でつかみにくい。 五感を刺激できない。生の芸術は生の人間と出会う場。 生のお客さんの前でやるのが最も大事なことだと改めて 思った。
- ・命は熱だと書いてある本があって、生でやることは熱を交換することだと思った。
- ・大道芸は蜜の空間を作り上げていくこと。久々に大道芸 をやった時にお客様の集中力が増していた。本能的に生

- のものを求めている。ショーを見たいという気持ちが強くなっている。もしかしたら、今回のことは人間の感性の 覚醒、掘り起こしにとっては良い影響になっていくのでは と感じた。
- ・笑うことがどんだけ大事か思い出したと言われ、やっぱり そういう実感を届けたいと感じた瞬間でした。
- ・受け取り下手が生じてきている気がする。受け取る感覚は 見たり聞いたりで育まれる。表現者、アーティストも受け 取る人がいないと独りよがりになっていってしまう。劣化 しないようにどう対峙していくか・・・。
- ・今まで通りの公演スタイルだけではなく、人が行きかう大道に出ないといけないかな?とも思っている。それも新しい活路かもしれない。さらに工夫しないと生きていけない。

30

第十一回アシテジ未来ミーティング・2021 年 2 月 11 日 (木)20:00 ~ 22:00 zoom にて



## ➡「学校・地域・施設を知る」

講 師 : 乗松好美(子ども劇場東京都協議会) 黒田裕子(金沢21世紀美術館) 藤英子(鹿児島子ども劇場協議会)

早川七海(ココキク) 橋本勇太(青音協) 久保田力(サザンクス筑後)

- ■乗松 (子ども劇場東京都協議会):地域と学校を繋ぐ 教育活動のスクールコーディネーターをしている。子ども たちはこれまでに経験したことのない大変な環境の中で 我慢を強いられストレスを抱え、家庭でも不安定な状況 が日常。共働きの家庭が多く、不安を抱える子、不登校 も出る中、クラスみんなが楽しい思いを共感し共有でき る活動、レジリエンス=心の回復力に必要な外部刺激が 今こそ必要だと思っている。
- ■早川(ココキク):プレイパークや冒険あそび場で遊び 環境を作る仕事をしている。子どもがポロリとこぼす声、 子どもならではの発想など子どもの声をできるだけキャッ チし、伝え、大人に聞いてほしくてこの活動をやっている。 休校や自粛など決められた環境の中で子どもは生きてい く。そういった中だからこそ子どもの声にきちんと耳を傾 け、一緒に社会を作っていきたいと思う。
- ■黒田 (金沢 21 世紀美術館):交流課という部署でアー トと地域をつなぐ活動、舞台芸術と地域をつなぐ仕事を しいる。市内の小学生を招待する「ミュージアムクルーズ」 というプログラムがある。今年はコロナ対策をして開催し 4500人の子どもを受け入れた。「学校行事減少のなか 実施できてよかった」と先生たちも感謝。継続した学校 との協力・信頼関係、加えて日頃からの地域との密着が 成功のカギ。学校、家庭だけでなく、環境の刺激が子ど もの力を引き出す。その機会をどう作るか、その為に親、 大人同士がどう繋がるか大人の知恵と工夫が試されてい る。学校と施設、小さいプライベートな関係性、その両 方が大切です。

- ■橋本 (青音協理事):学校公演は延期でなく中止が多い。 学校が申請すればコンサートを開く用意があることを伝 え、19 名のオケをくみ生徒を密にせず、クラス、学年単 位でコンサートを行った。10月から2月末まで55ケ所 やっている。音楽はスコアがあれば身軽に動ける。この 時期に生の音楽に触れてもらえるチャンスをどう生み出す か。子どもたちからそんな環境がなくなれば日本の文化 水準が落ちることになる。
- ■藤 (鹿児島子ども劇場):離島も含め昨年は91ステー ジ中 61 ステージ実施。不要不急ではないという確信か ら当たり前にやってきた。周りで行事がなくなり野外遊び や演劇を求める声は多く、遊び会にはいつもよりいろん な人たちが多いのが現状。乳幼児作品を作っている。作 品の中身も変わってきた。表現や技術も進んできた。地 域のアーティストとどんな作品を作れるか、少人数で地域 でやれる可能性、自然の中で、地域で文化を暮らしの中 に入れていくことが大切。コロナ禍の中、子どもにとって 大切なことがわかってきた。
- ■久保田(サザンクス筑後):福岡で20歳の頃から子ど も劇場の青年事務局を15年。その後、筑後市の公立文 化施設に勤め17年。今は事務局長ですが、破天荒で異 端児なことをやっている。施設では大きく分けて一般的 にいう貸し館事業と、自らが主催する自主文化事業をやっ ている。特徴は4つの活動(1) 自主制作でミュージカル づくり(2)表現教育事業を22年間(3)筑後市内の合 同観賞会を17年間(4)10年前からアウトリーチ事業。

### ●全体討論

- ・禁止禁止の中で誰かと会うこと自体がイベントになってい
- ・子どもの日常に溶け込むことの大事さ。今まであった地域 のお祭り、行事がなくなることは、子どもだけでなく、住 人にとっても大問題。
- ・「日常」が何もなくなっている。お祭り、生活音、喧噪、 運動会、花火、数えればきりがない。「やりたいね」と言 うだけじゃ広がらない。街自体をそういう風にしていくに は継続した大人同士の関係が必要。
- ・日頃の繋がりがない限り、何かをやろうとか、求めている

- 当たり前が成立しない。アウトリーチを 10 年続けたこと が大きい。初めは、説得、納得の繰り返し。
- ・コロナによる1年間の空白は、2歳の子にとっては人生の 半分。人に会わずに育った子どもたちがどうなるのか。そ れは幼児だけでなく、小、中、高、各世代にも言えること。
- ・地域だけでもない、学校だけでもない、創造団体だけで もない、組織だけでもない、個人、小規模の大人の関係、 それがこの未来ミーティングのように、お互いを知ること から始め、そして共有する。そのネットワークが次のクリ エイティブに繋がっていく。と、そう思えた学びとセッショ ンでした。

第十二回アシテジ未来ミーティング・2021年2月25日(木)20:00~22:00 zoomにて



## ──「未来への提案」

講師:中川幾郎(帝塚山大学名誉教授・日本文化政策学会初代会長(顧問))

### ■グループセッション:「子どもの文化を豊かにするため に私たちにできること」

意見発表では、地域で大人が繋がるということは、親た ちだけ、団体だけ、では間に合わない。全く知らな人、 文化が大事だと思っていない人にも、もっと働きかけをし ていく必要があるという意見に共感が集まりました。 セッションの後、子どもの文化政策の大事な押さえどころ について中川先生にお話しいただきました。昨年11月の 「文化権を知る」の内容と重なる部分は割愛し、文化政 策を考える時の視点に絞り、お話を整理しました。

### ■中川樂郎:

- ◆東大阪市に新しい文化政策の基本計画ができる。第3 次計画となるこの政策の中には、SDGs が全て配列され ている。各章の行動計画は全て SDGs に位置づいた内容 になっていて、まず政策の柱である「文化芸術に親しむ 環境づくり」は SDGs の(3) に該当するというように位 置づけられている。特に大切なことは、(1)貧困の克服、(5) ジェンダー、(4) 教育、(10) 社会的不平等の克服、(17) パートナーシップの推進という内容。これらは全て地方公 共団体の文化計画に深く関係し重要。自分の住んでいる 自治体の総合計画の中に「文化」がどのように記載され ているか是非チェックすべき。47都道府県のうち文化条 例が制定されている自治体は33。全くないのが14県。 実に惨憺たる状況。自分の自治体の文化条例の有無を確 認してみよう。
- ◆神戸市では市民活動として居場所を作るという動きが 盛んに取り組まれている。特に子どもの居場所作り。ま た誰もが溜まれる出会いの場所が地域共生拠点として灘 区の公園の中にできた。さら高齢者が地域の赤ちゃんや 子どもを看るという前提で6階建ての介護付シェアハウ スが商店街にできた。母親は買い物、子ども達が遊びに 立ち寄り、若者たちがフリースペースで Wi-Fi を利用した り。お年寄りは子どもや若者と触れ合い元気になる。し かし子どもの出会いの場があまりにも無い。これからば文 化の子ども食堂」。テレビゲームではないゲームを教えた り、一流の演奏を聞かせたり、芸術家との触れ合いがあっ たり。制度化された枠の中でしか供給するスタイルを描 けない思考の貧困に陥ってはいないか。子どものところに

こちらから出向いていく必要がある。そのためにアーティ ストをバックアップしたりサポートするコーディネーター など中間人材資源もまた必要。「居場所づくり」「出会い づくり」を制度化する条例や基本計画を作らせる。その 中にもっと乗り込んでいく必要。

- ◆子どものための文化政策をつくるために、押さえておき たい5つの視点。前提として「児童のための文化条例」よ りも、まず全体としての文化条例を作りその中に子どもの ための条例をつくるのが良い。
- 1. 基本理念は文化的人権の保障である 「文化的人権」は「表現」「伝達・交流」「学習・創造」の サイクルが保障されること
- 2. 文化の範囲は、あらゆるジャンルが必要
- 3. 高齢者、障害者、子ども、外国人などあらゆる人を対 象にする
- 4. 地理的偏差、経済格差を越えて
- 5. 都市文化政策ではなく市民文化政策を
- ◆ 「青少年に特化した施設が欲しいというような要求が正 しい方向なのか、もっと幅広い意見と考え方の中で再検 討すべきなのか・・・」という質問に、中川先生が示し て下さったのが「40の戦略」という事でした。
- Conversion →目的別施設の転用。老人施設センターだっ たところを、老人と子どもの交流センター にするなど転用し合う。
- Complex →青少年だけのための政策はない。様々複 合的な効果のある政策でないと通らな い。教育、コミュニティ、再就職にも役 に立つ!みたいな。
- Co-product →協働する。市民と行政、企業と行政、企 業と市民。とか、様々な協働関係。
- Crossover →一つの部局だけの仕事ではなく、複数部 局が協働するような、させるような市民 力が必要。典型的なのが災害時の避難 所。障害者専門の避難所などありえない。 女性、子ども、お年寄り、年齢、性別、 国籍、すべての人々が集まる場所。その 在り方の為に何を考え何をするのか。

第十三回アシテジ未来ミーティング・2021 年 3 月 11 日 (木)20:00 ~ 22:00 zoom にて



### 参加者による全体討論

■前回のミーティング後、参加者に呼びかけ 30 人近くの人から提出していただいた「私のマニフェスト」を「私たちのマニフェスト」として集計したものを共有し、意見、感想を出し合いました。

2020年9月10日に始まったアシテジ未来ミーティングも、いよいよ今回が最後となりました。

タイトルは「未來への提案」。

それは、「私たちのマニフェスト」を創ることです。子どもの文化を豊かにするために、私たちに何ができるか。

その問いかけを胸に、私たちはこの「未来ミーティング」 という学びを重ねてきました。

文化団体、創造団体、学校、公共文化施設、実演家、アーティスト、専門家。

立場やジャンルの違いの中でそれぞれに引き継がれてき た子ども、文化、に関する実践の積み重ね。

密度の濃い語りつくせないほどの情報。

私たちはたくさんの発見と驚き、感動、共感と出会うことが出来ました。

そこにはたくさんの学びと気づきの喜びがありました。

「私たちに何ができるか」

その問いかけに向き合うとき、私たちは大人として子ども のことを考えるだけではなく、

自分自身をも置き去りにしないで考えることの大事さ<mark>と覚</mark>悟を迫られる気がします。

でもそのことで、あらためて心が希望に向かい躍動する 思いがします。

そんな思いを「私は」で始まる言葉にしましょう。

言語化することで、始まり、広がる共有の輪。

さあ、家庭で、地域で、街で、生活圏で、

市民力を発揮しコミュニケーションできる権利を謳歌しま しょう。

そこからまた新たな自分を作り上げていくことができる権利を手に入れましょう。

文化的人権。

共感と頷きの多い今日のミーティングでした。



## 私たちのマニフェスト 2021.3/13

ひとりひとりの言葉を大切にして、あえてテーマ別などにまとめていません。「~する」という表現の中に自分がやっていくという主体性が感じ取れます。 SDGs の精神で、まずは自分から

### \マニフェストを考えるにあたっての5つのポイント/

基本理念は「文化的人権の保障」 文化の範囲はとても広い。あらゆるジャンルが必要 高齢者、障害者、子ども、外国人などあらゆる人を対象にする 地理的な偏りや格差、経済的な格差を越えて 都市文化政策ではなく市民文化政策を!

- ・だれもが夢を語り、実現にむかえる場を つくる。地域で子どもを育てる
- ・子どもらしく自由に表現してもいいんだよ、 という文化的な活動の場を日常的にある ようにする
- ・子どもたちの未来のために、自分の立っ ているところから、活動をはじめる
- ・個人、法人を越えたネットワークを企業 とタイアップしてつくる
- ・生活基盤である地域の文化行政に、「文 化的人権の保障」を満たすよう提案し続 ける
- ・地域のちいさなところから、表現すること、 関わり交わること、学ぶこと、わたしたち サイズで創る
- ・大人対象の舞台公演の入場料の1%を、 子どもアーツカウンシルを立ち上げそこに 集め、子ども向けの舞台公演を地域でこ まめにできるよう支援する。
- ・子どもたちが、映画やアニメのような身近 さで舞台芸術に触れられるようにアーチ ストへの支援をする

- ・ご近所で顔見知りを増やし、語り合える 場づくり・日常の環境づくりをする
- ・地域で困った家庭に出会ったときは少し でも話を聴いてあげる。
- ・日頃から大人は近所の子どもに声をかけ、 そして子どもの声を聴く地域の環境づくり をする。
- ・のびやかな遊び心あふれる大人がいることが、子どもたちが心豊かに育つために大切。大人にこそ遊び心が必要なので、童心にかえって遊べるワークショップなどを行う。
- ・いつでもどこでもポケットに指人形とか目 玉シールを持ち歩いて、泣いている子や 退屈して騒いで怒られる子にちらっと出す ^^
- ・子どもたちの未来のために、企業や非営 利団体に、政治や行政に、協力を積極 的に働きかける
- ・子ども達の文化の格差を無くすために、 すべての子ども達に人形劇公演を届ける 枠組みを劇団内に構築する

- ・町内の活動に参加する住民も減っている し、子ども会も入会しない世帯も多いと聞 くが、新たに「文化部」(世代を超えたつ ながりをつくる楽しい活動)を立ち上げる。
- ・文化芸術はだれにとっても大切だというこ とを周りの人に伝え理解を広げていく
- ・歩いて行ける地域の公民館などに、子どもからお年寄りまで誰でも遊ぶことができる、遊びの広場を作る。(手遊び、マンカラ、トランプなどの遊びや料理など)
- ・日常生活および隣接領域に根付いた祭 り、催事、玩具、伝承遊びなどの表現者 と技術者を登録する。登録メンバーは、 送り手として積極的にその技術と到達点 を伝える。要請に応えて出かけることは 勿論、自ら企画する活動を通して、地域 にお年寄りから幼児迄を含めた異年齢自 治集団作りを目指します。
- ・子どもたちが自然の中で遊ぶ機会をつくる
- ・子どもと大人たちが、学校や地域の施設 などで年一回以上プロのアーティストとふ れあう体験を作る
- ・0 才からアートに触れる時間は必要、子どももお年寄りもあらゆる人を対象にする。
- ・施設や病院での生活を余儀なくされている子どもたちがアートに触れる機会を作る
- ・発達障害の子も含め、いわゆる社会的弱 者に文化的に貧困な生活をさせない

- ・街の文化に関わる人達や子どもに関わる 人とネットワークを作り、文化的人権について学び合う
- ・東京都内などの都市部だけでなく、地方 都市や離島など、さまざまな場所で公演 活動やワークショップを行っていく。また、 地域の団体や個人などと継続的に連携し ていけるように、つながりを丁寧に構築 する
- ・人と人が繋がれるようにするために地元 のことや行政、学校教育など色んな方面 にアンテナをたてる。
- ・既存の文化政策を市民政策に変えてく
- ・経済の格差が体験の格差にならないよう に、文化体験の場をたくさんつくりだす。
- ・公共文化施設に子どもと文化のプラット フォームになるよう呼びかける
- ・「豊かな文化」の必要性を、自分の体験 としてだけでなく、伝えられる言葉を言 語化する
- ・笑顔の渡し合い。知らない人と笑顔で関わる
- ・自分の故郷をつなげる
- ・みんなで頑張る、確認する、発言する!
- ・経験や歴史などの「宝物」を惜しみなく 分け合う
- ・生まれて良かったと、うれしく感じる私になる



### 私たちのマニフェスト 賛同者名簿

青木 奈都子 麻川 ふゆこ 垣 理 恵 新 荒 Ш 安 藤 恵 入 本 敏 也 子 崎 裕 岩 宇 野 京 漆 畑 栄 子 遠 藤 恵 沢 大 直 太  $\oplus$ 昭 賢 治 郎 大 山 菜穂子 岡田 健太郎 岡 野 珠 代 澤 江 織  $\oplus$ 潤 子 美 小 原 片 谷 茜 加 藤 直 神尾 屋 仮 祐 Ш 上 典 子 河 野 康 北  $\oplus$ 尚 桐 原 裕 子 工 藤 あ 久 保 田 5

熊 坂 会 美 桑原由美子 ケンノスキー 圭 近 藤 和 美 桜 井 直 美 佐々木  $\oplus$ き 渋 沢 島  $\oplus$ 仁 忠 清 水 下 Ш 久 庄 司 真咲美  $\dot{\Box}$ 石 武  $\pm$ 須  $\blacksquare$ 美 和 ミキコ 住 裕 3 柴 秀 高 樹 Shoji Takesako ただじゅん 辺  $\blacksquare$ 素 子 種本真砂美 土 屋 友 紀 子 純 子 さとみ 永野むつみ 西 陽 3

沼

倉 智

3

橋 勇 太 浜 京 子 里 和 平 寿 枝 啓 3 福 Ш 富士川 佳余子 ふじたあさや 前  $\oplus$ 前 村 晴 奈 馬 路 清 美 まつもとぎんこ 本 MOCO 三澤江津子 静 水 上 淳 原 健太郎 3 勝 也 本 真也子 紀 Ξ 茂 づ み 浅 彩 子 明 3 吉  $\blacksquare$ 

2021年3月16日時点



### こどもあーと ACTION

経 簿 20回アシテジ世界大会 /2020 国際子どもと舞台芸術・未来フェスティバルは「子ども、文化。それが私たちの未来。All our Future: Children and Culture」をテーマに掲げています。日本の子どもの文化の未来をより多くの人たちと作っていくこと、そのために子どもと文化を考える1000のプラットフォームを作り、ネットワークを広げ、子どもと文化の世界にレガシーを残すことを目標にしました。2020年に入り新型コロナウイルスの感染拡大に伴い子どもたちの日常は一変。「がまんの生活」がはじまりました。時を同じくしてアシテジ世界理事会からアシテジマニフェストが提示され、日本でも日本版マニフェストを作りたく「アシテジ未来ミーティング」をスタートしました。子どもの文化状況などが語られる中、がまんの生活を強いられる子どもたちから聞こえてくる言葉や言葉にできない思いを何らかの形で表現し、多くの大人たちに知ってもらいたいとの熱い思いの高まりから「こどもアート ACTION」へ広がっていきました。

概要 こどもあーと ACTION ~すべては子どもの笑顔のために~

目的: 「日本に暮らす全ての子どもたちの文化的権利を保障する社会の構築」

### あなたの一歩が社会を変える

私たちは、今を生きる子どもたちが、文化豊かな日常で暮らすことで、やがては自分の地域や人を愛することのできる社会の主体者となれると信じています。そしてこのことが大事と思う大人の輪を広げ行動します。多くの場所で語られている SDGs のように、「私は〜」で語り合い、それを集めて「私たちは〜」とそれぞれのプラットフォームで語る。そして、「私の街は〜」「私の国は〜」と行政の政策にしていく。そのスタートのチャンスにするためにも、みんなで作ったマニフェストを発表し、子どもの状況を変えるチャンスにしたいと考えています。

3つの ACTION



2

SCTION 3

1000 の力を集めたい! 1000 のプラットフォーム をつくる 1000 の声を集めよう! 子どもの声を聴く

定期ミーティング の開催

# 1 1000 のプラットフォーム



### 目標は、子どもの笑顔あふれる地域にすること

あなたの街の子どもたちは、どのように過ごしていますか。

文化や芸術に親しむ機会を持ち、自由な時間を過ごしているといえるでしょうか。学校や家以外に、子ども たちがあつまり、あそべる場所があるか、ご存じですか。

子どもの現状をまずは知ること。そして、語り合うためのプラットフォームを構築することが目標への第 1 歩です。プラットフォームを拠点におこなう小さなアクションの積み重ねが、子どもを取り巻く環境をゆたかにします。全国さまざまな地域でアクションが起こり続けると、それは大きなムーブメントになります。子どもの文化環境がゆたかになることは、大人もふくめた地域の環境がゆたかになることです。地域の変化は、街から市へ、市から県へ、そして国へと波及していくでしょう。

文化や芸術は上から与えられるものではなく、私たちの暮らしの中から生まれてくるものです。1000のプラットフォームから上げられる声をもとに、子どもたちの未来のために「子ども文化基本法」を策定し、政策提言することも検討しています。

### プラットフォームとは

さまざまな列車や人が訪れては去っていく鉄道のプラットフォームをイメージしてください。私たちにとってのプラットフォームは、対象地域の「子どもの文化」について、現状を語り合い、どうしたらいいか、何ができたらいいかを考え、計画し、行動するグループだと考えています。メンバーは流動的でも期間限定のグループでも、また1日だけのイベントのために集まった仲間でもよいでしょう。「子どもの文化」について子どもを中心にさまざまな立場の人が関わり、ワイワイガヤガヤにぎやかに語り合うところです。



## \*2 子どもの声を聞く



### 概要

### 子どもの想いを"受信"し"発信"する大人でありたい

新型コロナ感染拡大で、人との距離をとらなければならなくなった子どもたち。本当ば密」になってつながり、 たわむれ、お互いの存在を皮膚感覚で感じながら人は成長するもの…。今大切なのは「人との距離が心の 距離にならないようにすること」です。

私たちは、そんな日常に暮らす子どもたちの声に常に耳をかたむけ、子どもの想いを"受信"する大人でありたい。そして"発信"することで伝えられる存在でありたいと考えます。子どもに寄り添い、受信と発信の両方に取り組むのが今回の企画です。

### 子どもの声×アート~新しい形での発信を~

アートにはそのメッセージをより強く、効果的に伝える力があります。1 人の子どもが発した声が、アーティストに伝わる、そして作品を通じて多くの人に届く。1 人の声から始まるこのプロジェクトは「誰一人取り残さない」SDGs の考えにつながります。このプロジェクトではプロ・アマチュアを問わず広く作品を募集し、その作品はすべて公開されます。演劇・人形劇・ダンス・歌・写真や絵画など、様々な手法で表現された「子どもの声」が作品となり、広く発信されます。

### ココキクとのコラボ

「子どもの声を聞く」、このアクションではすでに子どもの声に耳を傾け、社会にアピールする活動をされていた「ココキク」との連携が大きな力になりました。



### ココキク

"こどものこえ"が大切にされる社会を目指して活動している団体

こどものこえ"を、大人へ、社会へ、伝える「子どもの声プロジェクト」と「てくてく企画」と名付けて、各地でこどもたちの"こえ"と写真の展示をしています。

\*\*

こどもたちにも意志があり、それを発しています。こどもたちが自分で選び、自分で決め、自分の 人生を手づくりしていく。そのためには、周りの大人がこどものこえに耳を傾け、こどもたちも含め た社会を、こどもとともにつくっていくことが必要だと考えます。

だから、こどもたちの何気ない "こえ"に、耳を傾ける人が増えてほしい。 こどもの "こえ"をちゃんと聴き、こどもを含めての社会をつくっていきたい。 そう思って、こどもの "こえ"を大人や社会に届ける、このプロジェクトを始めました。

そう思って、こともの『こえ』を大人や住会に届ける、このフロシェクトを ´ホームページより)

ココキク代表 早川七海

大学で社会教育について学び、小学校教員として2年間勤務 世田谷プレーパークにて常駐プレーワーカーとして3年間勤務 こどもの声プロジェクトを始め、ココキクを設立 現在、フリーランスプレーワーカーとして、複数の遊び場や居場所づくりに関わる

ココキク HP 紹介 https://kokokiku.org/artaction/

### 子どもの声を作品に! 受信者でもあり発信者である大人たちのプロジェクト



「今はマスクしてない人が こわい、マスクが安心」

この作品は 2021/3/31 アシテジ世界 大会閉会式でのみ上映となります。



大藏流吉次郎狂言会 **大藏 教義** 

コロナ禍にある全国の子どもたちが発した声を集め、その中から言葉を選びアーティストが作品を制作。様々なジャンルの作品ができ、WEB上で発信をしました。





「学校も、学童も、かわっちゃったんだよ。 もうー!なんでー! 前はみんな優しかったのに、 学校も、学童も、うるさい、 みんなイライラしてる。 ぶっ殺したくなる。 わかんないけどなんかぶっ殺したくなる。」



Cheeky\*Park 智春 (CHEEKY!!)



「いつもどおり笑っているよ」



蒼い企画 ブッチィー



「ぶっ殺してやる!!



岡田音楽事務所 岡田 健太郎

# \*3 定期ミーティング

### 経緯・概要

1000のプラットフォームに登録した団体同士の交流と更なる広がりを目指し、2021年1月より月に一度、定期的にミーティングを開催。団体の活動紹介、地域の子どもの様子、団体の課題などをざっくばらんに楽しく会話する中から共通の課題へのヒントや新たなつながりも生まれ、ネットワークの広がりを見せています。

第 🕽 回

2021年1月13日(土) 9:30~10:30 ZOOM 参加者: 22名

### 活動紹介

\*特定非営利活動法人かごしま子ども芸術センター 入本 敏也氏

\*ウタノホシ

松本 MOKO氏

\*木楽舎つみ木研究所

荻野 雅之氏

第2回

2021年2月20日(土) 9:30~10:30 ZOOM 参加者:34名

### 活動紹介

\* 365 にんのこどもアーティスト

\*街のえんがわプロジェクト

ウィリアムズ ハンナ氏 水津 由紀氏

第3回

2021年3月13日(土) 9:30~10:30 ZOOM

### 活動紹介

- \*青梅市文化交流センター あそびばコーディネーター 須崎八洲治氏
- \*小心ズ

ヤノミ氏

\* JT フェニックス

近藤麗子氏

## アシテジ世界大会 / 未来フェスのレガシー 「こどもあーと ACTION の今」

こどもあーと ACTION 代表 久保田 力

"すべての子どもたちに豊かな文化環境を"。アシテジ世界大会後、こどもあーと ACTION において、2021 年 8 月に開催した初のシンポジウム。 9 月、11 月、2022 年 1 月、3 回連続のオンライン講座のテーマでもあります。そして、月 1 回の定期ミーティングを重ね、こどもあーと ACTIONは、1000 のプラットフォームづくりの歩みを着実に進めています。

「誰かがやるのではなく自分が ACTION を起こす、行動する」 「子どもたちと共に遊ぶ、創る、体験する」 その大切さを…。

そして「文化を語ることが出来る市民になる」ことこそが、子どもたちの文化権、大人の文化権の獲得につながり、人が生きていく上で欠かせない当たり前に生活の中にある「文化的人権の保障」のへと昇華、「人がより人らしく生きる社会」へと回帰し、"誰ひとり取り残さない社会"の実現につながるのです。

子どもたちの笑顔が溢れる地域になった時…。その時は、全ての市民の 顔にも微笑みが戻り、地域は幸せに満ち溢れるのです。各地域で自分発信 の様々な ACTION が起こり始めています。

地域発信の「学び、語り、行動する」大人たちのつながり。それが、大会後、間もなく1年を迎えようとする、こどもあーと ACTION の姿であり、「子ども、文化。それが私たちの未来」を体現している今の姿です。

## こどもあーと ACTION 活動概要

### こどもあーと ACTION 代表 久保田 力

### 目標は、誰一人取り残さなない、全ての子どもたちが笑顔あふれる地域にすること

あなたのまちの子どもたちは、どのように過ごしていますか?

文化や芸術に親しむ機会を持ち、自由に自分を表現したり、自由な時間を過ごしたりしていますか?

「文化」や「あーと」には、これからの未来を生きる子どもたちに欠かせない表現力や感性(非認知能力)を育む力があります。 全ての子どもたちに、文化や芸術の体験を。

子どもに関わる多様な立場の大人が知恵を出し合い、時に協力し合える、ネットワークを構築すること。 これが目標への第一歩です。



### オンライン定期ミーティング

こどもあーと ACTION にご登録いただいた団体・個人の方々と月に1回のミーティングを重ね、ネットワークの構築を図ります。



### オンライン講座

様々な分野の専門家を招いたオンライン学習会を2ヶ月に1回開催し、 学びを深める場を作ります。(一般参加も可・有料)



### 1000 のプラットフォームの拡大

私たちは、皆さんが活動されている各拠点を「プラットフォーム」と呼んでいます。 全国の小学校区は約 20.000。

日本全国全ての小学校区にプラットフォームが出来れば、社会は少し変わるかもしれません。

そのために、まずは、1000のプラットフォームと繋がることを目指しています。 地域の変化は、まちから市へ、市から県へ、そして国へと波及していくでしょう。

### あなたと世界をつなぐ「こどもあーと ACTION! 魅力のタネ!

- ・"子どもの文化、生活、遊び等"に関する実践を地域で行っている、全国各地のコーディネーターが登録しています (地域文化団体・公共施設・福祉施設・学校・幼保園関係者等多数)。
- ・"子ども"に関する多くの専門家と連携しています(文化・芸術・教育・まちづくり・福祉・医療等、様々な分野)。
- ・日本、世界各地の実演家やアーティストと繋がり、世界規模で、子どもや国や地域の状況を考え合います。

### 

• • • • • • • • • • • 編集後記 • • • • • • • • • •

「文化や芸術は、人々、とりわけ子どもたちのすぐそばにあるべきなのではないか」

自分には何ができるかを模索し続けている中、アシテジ世界大会・未来フェスティバルに出会いました。ミッションを読み、プロジェクトに参加させていただけることになった時の高揚感は、今でも忘れられません。

それからの毎日は、朝から晩まで頭の中はフェスティバルのことでした。

延期が決まった日。事務所にはちょうど仲間たちが頑張って申請した約 200 名のビザが届いた時でもありました。これもまた、忘れられないことです。

ハイブリッド型での運営、海外勢のいない世界大会、国内 2 ヶ所開催、感染症対策の徹底等々・・・。 全てが初めてのことで、手探り。諦めそうになった時は、ミッションを読み返し、本番まで走り抜けました。

そして大会が終わり、報告集を作る間に私も母になりました。

報告集を作成する中で、改めて、この大会とミッションの元に、世界中から多くの仲間たちが集結したことを感じました。私たちが繋がりあい続けること、知恵を出し合い、アクションを起こし続けることが未来を作っていくと信じています。これから、です。 (前村 晴奈)

初めての100ページを超える報告書を作成し、わからないことだらけでしたが、皆さんのご協力のもと完成しました!本当にありがとうございました。

2019年の6月からノルウェーへ下見に行ったり初めての人たちにあったり、若者で広報戦略を考えたりした時に新型コロナウイルスが拡がり延期。オンライン式と対面式でどうにか開催しようと最後の最後まで海外作品を諦めずに取り組みました。来日はできませんでしたが、あのオモイは刻まれています。

あっという間に2年半が経ちました。その間、妊娠・出産を体験し人生で心と体に変化がある時期をアシテジと共に過ごしてきました。夜の会議はつわりがつらくて休ませてもらったり、当日はお腹が大きいために軽作業ばかりで皆さんには本当に助けてもらいました。

この世界大会 / 未来フェスに関わることができ、新しい視点を学びました。終わりではなく未知なる未来へのはじまり。これからが楽しみです。 (片谷 茜)

### **ノノノノノノノノノノノノノノノノ**

### 第 20 回アシテジ世界大会 / 2020 国際子どもと舞台芸術・未来フェスティバル 報告書

内容量: 140ページ

発 行 日 : 2022年3月30日第二版発行

発 行 所 : 第20回アシテジ世界大会・東京実行委員会

発 行 者 : 前村晴奈・片谷茜

デザイナー: 髙野多恵子

↓ 連絡先:https://assitej-japan.jp

